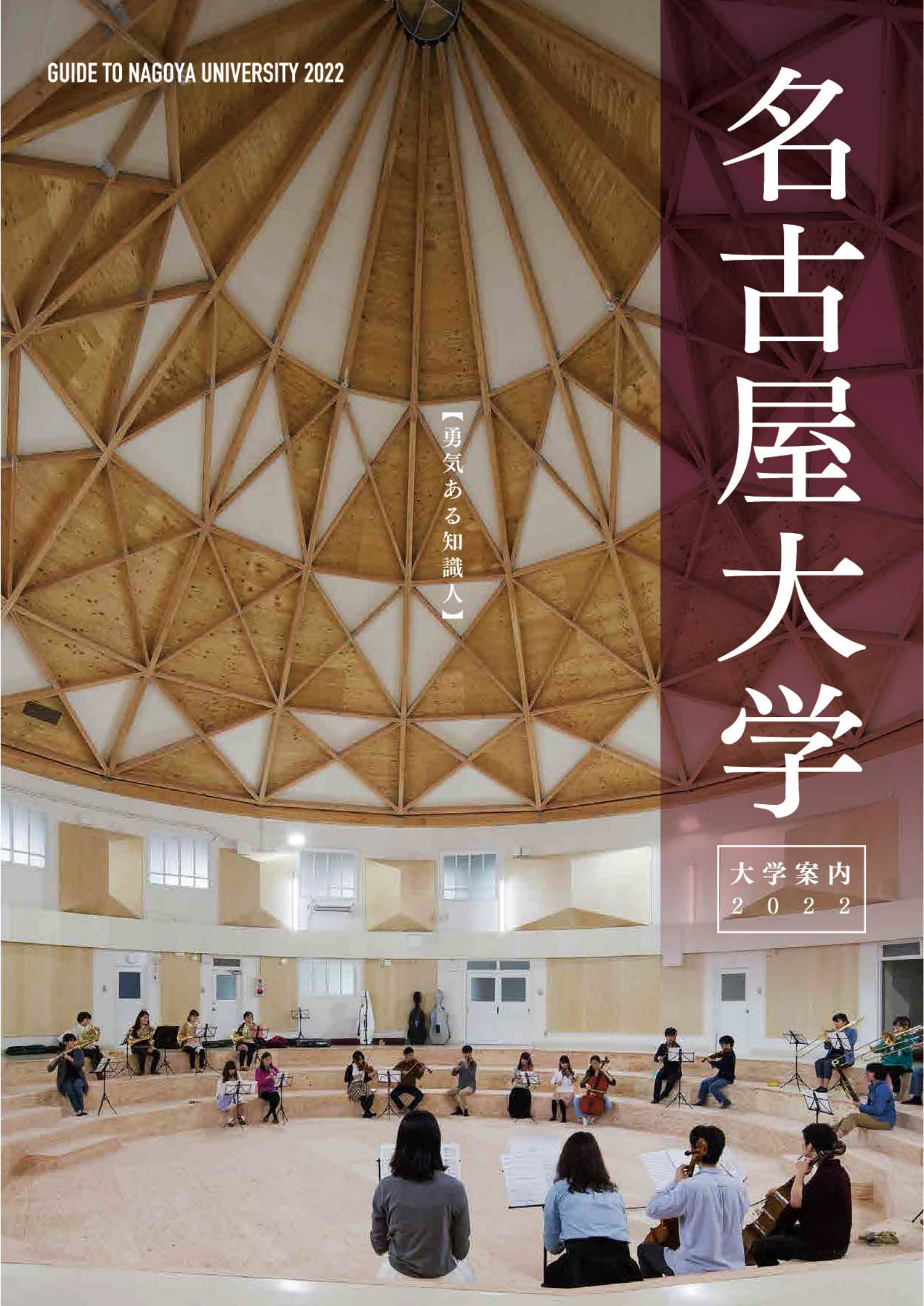


GUIDE TO NAGOYA UNIVERSITY 2022

【勇気ある知識人】

名古屋大学

大学案内
2022



NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学は、世界の基幹総合大学として、
各分野の先頭を走る人材を輩出。

豊田講堂

1960年に横文彦氏の設計で名古屋大学東山キャンパスの中心に建てられ、大学のシンボルとなっている。1962年には日本建築学会賞を受賞しており、横文彦氏の代表的な建築物の一つとして建築学会では大きな評価を得ている。また、1993年に名古屋市の都市景観重要建築物に指定、2003年にはDOCOMOMO JAPAN選定 日本におけるモダンムーブメントの建築に選定、2011年には国の登録有形文化財にも登録されており、日本を代表するモダン建築の一つとして評価されている。

表紙：音楽練習共用施設(音楽系サークル用の練習施設として、宇宙線望遠鏡実験施設を改修。通称：音楽ドーム)

■名古屋大学学術憲章

名古屋大学は、学問の府として、大学固有の役割とその歴史的、社会的使命を確認し、その学術活動の基本理念をここに定める。
名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。
とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学とともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する。
このために、以下の基本目標および基本方針に基づく諸施策を実施し、基幹的総合大学としての責務を持続的に果たす。

1. 研究と教育の基本目標

- (1) 名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。
- (2) 名古屋大学は、自覚性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる。

2. 社会的貢献の基本目標

- (1) 名古屋大学は、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成とを通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに世界の産業に貢献する。
- (2) 名古屋大学は、その立地する地域社会の特性を生かし、多面的な学術研究活動を通じて地域の発展に貢献する。
- (3) 名古屋大学は、国際的な学術連携および留学生教育を進め、世界とりわけアジア諸国との交流に貢献する。

3. 研究教育体制の基本方針

- (1) 名古屋大学は、人文と社会と自然の諸現象を俯瞰的立場から研究し、現代の諸課題に応え、人間性に立脚した新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備し、充実させる。
- (2) 名古屋大学は、世界の知的伝統の中で培われた知的資産を正しく継承し発展させる教育体制を整備し、高度で革新的な教育活動を推進する。
- (3) 名古屋大学は、活発な情報発信と人的交流、および国内外の諸機関との連携によって学術文化の国際的拠点形成する。

4. 大学運営の基本方針

- (1) 名古屋大学は、構成員の自律性と自覚性に基づく探究を常に支援し、学問研究の自由を保障する。
- (2) 名古屋大学は、構成員が、研究と教育に関わる理念と目標および運営原則の策定や実現に、それぞれの立場から参画することを求める。
- (3) 名古屋大学は、構成員の研究活動、教育実践ならびに管理運営に関して、主体的に点検と評価を進めるとともに、他者からの批判的評価を積極的に求め、開かれた大学を目指す。

P.02 名古屋大学学術憲章 P.04 国立大学法人 東海国立大学機構 P.05 総長からのメッセージ P.06 沿革

P.07 名古屋大学の研究者たち

<p>P.07  細胞間コミュニケーションの 実体や動作原理を明らかにする 大澤 志津江 大学院理学研究科生命理学専攻 遺伝学グループ 教授</p>	<p>P.10  新しい薬としての細胞を作る 再生医療のものづくりテクノロジー 加藤 竜司 大学院創薬科学研究科 准教授</p>
<p>P.08  貧困問題を抱える開発途上国の政策評価分析や 経済モデル開発に貢献 オチア・クリスチャン 大学院国際開発研究科 国際開発協力専攻 准教授</p>	<p>P.11  最先端技術を適用し動物が持つ巧みな 生存戦略の謎に迫る 吉村 崇 トランスフォーメティブ生命分子研究所 (ITbM) 大学院生命農学研究科 教授</p>
<p>P.09  科学技術史・社会思想史を紐解き アクチュアルなテーマにも踏み込む 隠岐 さや香 大学院経済学研究科 教授</p>	<p>P.12 ノーベル賞受賞者とその功績</p>

P.13 教育方針／組織図 P.15 全学教育についてお話しします P.19 英語教育について

P.21	文学部 School of HUMANITIES	文学部は、1学科4コース21分野・専門(研究室)で構成され、少人数教育に重点を置いており、学生の個性を尊重したき細かい指導体制が特徴です。	
P.25	教育学部 School of EDUCATION	教育学部は、入学定員65名の比較的小規模な学部ですが、専任の教員は40数名を擁し、更に外部からの兼任教員も加わって、5つの特色あるコースごとに斬新なカリキュラムを開設しています。	
P.29	法学部 School of LAW	法学部は自由・関連・進取の気風の下、少人数教育を実施しています。教員1名当たりの学生数は、1学年3名程度になっており、学生間および学生・教員間で親密な関係性を構築できるとともに学問的探求度合いを高めます。	
P.33	経済学部 School of ECONOMICS	経済学部は、経済学科と経営学科からなり、経済理論、経済政策、経済史、経営学、会計学などの分野で多数の優れた教員を擁し、これらの分野の様々な問題の研究と教育に取り組んでいます。	
P.37	情報学部 School of INFORMATICS	情報学部は、情報科学技術に関する基礎知識・通用能力と、自然や社会をシステムとして普遍的に理解する能力を涵養することにより、システム思考に基づいて人類の直面する課題を解決し、新しい価値を生み出せる人材を育成します。	
P.41	理学部 School of SCIENCE	理学部では、自然の諸原理を追求する基礎自然科学の推進に向けて、「知の創造：研究」と「知の継承・教育」を重要な使命としています。	
P.45	医学部 <small>医学科</small> School of MEDICINE	医学部はその源を尾張藩校に発し、140年有余の歴史と13,900人をを超える卒業生を誇る日本でも最古の医学部の一つであると共に、21世紀の日本を支える医学・医療の拠点として活動しています。	
P.47	医学部 <small>保健学科</small> School of MEDICINE	医学部保健学科は平成9年に開設され、平成14年から大学院博士前期課程(修士)を、平成16年から大学院博士後期課程(博士)を有する基幹大学として、21世紀の医学・医療を支える高度医療専門職を育成すべく教育・研究に励んでいます。	
P.49	工学部 School of ENGINEERING	工学部は7学科からなる、名古屋大学の中で最も大きな学部です。工学における全ての科学技術分野に対応した学科構成としており、入学するとまず数学・理科の基礎を根本から学び、社会・人文系の学問にもふれます。	
P.53	農学部 School of AGRICULTURAL SCIENCES	農学部は、生物および化学関連分野を基軸に、生命科学分野の基礎研究を行い、「食・環境・健康」の3本柱を支える研究・教育を推進しています。	

※各学部案内は、モバッチから請求できます。QRコードは各学部HPへリンクします

<p>P.57 入試情報</p> <p>P.59 編入私費</p> <p>P.60 学部・学科別卒業テーマ</p> <p>P.63 大学院</p> <p>P.70 名大生の研究発表</p> <p>P.71 学部情報 Q&A</p>	<p>P.73 施設紹介</p> <p>P.79 名古屋大学のグローバル化</p> <p>P.86 名古屋大学の卓越した構想・プログラム</p> <p>P.87 就職支援と実績</p> <p>P.91 取得可能な資格</p> <p>P.92 就職活動と資格取得に関する Q&A</p>	<p>P.93 受験生情報</p> <p>P.95 名古屋の町を知ろう</p> <p>P.97 年間行事／サークル活動</p> <p>P.99 Café 情報</p> <p>P.100 学生募集要項</p> <p>P.101 キャンパスマップ</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

国立大学法人

東海国立大学機構

Tokai National Higher Education and Research System



HPはコチラ



国立大学法人東海国立大学機構設立

2020年4月1日 国立大学法人岐阜大学と国立大学法人名古屋大学の法人統合により、国立大学法人東海国立大学機構を設立。地域貢献を使命とする岐阜大学、世界の研究大学を目指す名古屋大学のそれぞれの叡智を共有して、東海国立大学機構は世界有数の経済圏にふさわしい新たな大学モデルを構築します。

教育をデザインする「アカデミック・セントラル」の設置

勇気をもってともに未来をつくる

新たな価値を創造して社会課題に対応できる人材を送り出すために、両大学は大学の枠を超えて連携する「アカデミック・セントラル」を形成し、地域や企業等と連携した教育や、サイバー空間での学びを活かした教育を推進します。

異分野への開かれた態度と協調を通じた創造性を身につけ現代社会が抱える問題に挑むための リベラル・アーツ教育の推進
実社会の課題に触れることにより、その課題に対する理解を深め、新しい発想を生み出すことができるようになるための 起業や社会と連携した教育の推進
現在の若しくは将来予測される課題の発見や解決に挑むための 数理・データ科学教育の充実
社会が抱える課題の本質を理解するとともに、その解決策を世界の人々とともに導くことができるようになるための 英語教育の充実
他者と協働して実行する力を身につけるとともに、より深い学修成果を得ることができる学生主体の教育への転換を進めるための アクティブ・ラーニングや学生の学修成果の可視化の推進



名古屋大学総長
松尾 清一 Seichi Matsuo

私たちが生きている現代社会はいま、これまでにない規模とスピードで大きな変化を遂げつつあります。そしてこれから10年、20年先には、私たちが今持っている常識が大部分、通用しなくなる社会に変貌してゆくと予想されます。科学技術の進歩はめざましく、AIやロボット、そしてデジタルトランスフォーメーション(DX)は、様々な産業やビジネス、そして私たちの社会生活を一変させていることでしょう。またそれに伴い、対面とオンラインを組み合わせた仕組みが進化し、国境や言葉の壁はどんどん低くなって、国際化は今よりはるかに進むことでしょう。このような変化は当然、経済や法律、さらには我々の価値観をも変貌させるインパクトを持っています。一方で人類社会の急速な発展は負の側面、すなわち、地球温暖化とそれに伴う様々な異常現象の進行、貧困や格差の拡大、国家間の軋轢などをもち、多くの人類課題を産みだしています。私たちが生きている時代は、人類社会の発展そのものがもたらした様々な地球環境の破壊による課題と向き合う時代、人新世ないしアンソロポセンの世紀であり、私たちは、これら人類自らが作り出した社会を脅かす諸課題の解決のために、地球規模で理解と協力が必要な時代に生きています。ここでは狭い意味での専門性、サイエンスやテクノロジーだけでなく、人文社会科学系も含めた広い意味での人類の英知の結集が求められています。

大学で何を学ぶかは、学生諸君にとっては大切な問題です。また大学で学ぶのは学生だけではなく教員や職員も同様です。現代社会において知の源泉である大学は、人類が直面している課題の解決のために、知的成果を拡大再生産し、それを社会に還元してゆく、崇高な使命を持っています。名古屋大学の教育目標はまさにこのような人材を育てることであり、「勇気ある知識人」の育成をその教育理念で謳っています。名古屋大学では2000年(平成12年)に学術憲章を制定して、その使命と目標を明確に社会に示し、私たちの日々の活動のよりどころとしています。名古屋大学の特徴は、自由闊達な学風と学問領域の垣根を越えた連携であり、最近では最先端研究の一層の推進、教育の国際標準化、欧米・アジアとの積極的な国際交流によるキャンパスの国際化、男女共同参画の推進、産学官連携活動の充実、附属病院における先端医療の開発と高度で安全な医療の実施、等に取り組み、人々の幸福に貢献すべく、日々励んできました。

また2018年には世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる大学として、国から「指定国立大学法人」に指定され、大学改革を加速しています。改革の目的は、地域や産業界と一緒に輝かしい未来社会の創造に貢献できる大学になることであり、このことは、社会から強く求められています。それにはより大きな規模と多様性をもって大学のミッションを達成する必要があります。このような考えの下、名古屋大学は岐阜大学との法人統合により次世代に向けた新たな大学のカタチ、「東海国立大学機構」を設立し新たなチャレンジを開始しました。一つの法人の下、両大学が一步も二歩も踏み込んだ連携

を行い、それぞれの大学を一層発展させると共に、地域創生への貢献と国際競争力の強化を機構全体ですすめて行きます。

名古屋大学の源流をたどれば、1871年(明治4年)に仮病院、医学校が設立されたことにさかのぼり、150年の歴史を刻んでいます。この間にさまざまな変遷を経て、1939年(昭和14年)には医学部と理工学部からなるわが国で7番目の帝国大学となりました。第二次大戦後の学制改革により、1955年(昭和30年)には8学部・研究科からなる総合大学となり、その後さまざまな改革を経て、現在は学部9、研究科13、附置研究所3、共同利用・共同研究拠点4、学内共同教育研究施設19、中央図書館・分館(蔵書数335万冊余)、教員数約1,700名、学部学生10,000名、大学院学生6,300名、留学生2,500名、等を擁する中部圏の中核大学であるとともに、わが国屈指の総合大学に成長してきました。

このような歴史の中で、名古屋大学の卒業生からは、これまで特に学界、産業界等において、輝かしい活躍をしている人材が数多く育ち、日本と世界を牽引するリーダーとして人類社会に貢献しています。研究面では、2001年以降、日本国籍を有するノーベル賞受賞者6名を名古屋大学関係者から輩出したということで大注目を浴び、名古屋大学の研究の質の高さが証明されました。名古屋大学ではすばらしい先達に続く若手研究者の育成を積極的に進め、最先端の研究成果が次々と挙がるよう、対話を通じて様々なチャレンジをしています。教育面では、英語教育や教養教育を全学挙げて取り組み、専門教育とあわせて、高度の知識技術を幅広い視野で生かすことのできる人材、そして様々な分野でリーダーとして活躍できる国際的な人材、を育成することを目指し、独創的なプログラムを実施しています。また海外にも数多くの拠点を有し、国際的に活躍する人材育成に大きな力を発揮しています。名古屋大学ではすでに、様々な領域を包含して学生が自由闊達に勉学や研究に励めるインクルーシブな環境を整えています。これからの激動の時代において、東海国立大学機構のもと、岐阜大学と力を合わせて未来社会を創造してゆくリーダーシップを発揮できる人材、「勇気をもって、共に未来を創る人材」の育成に適した環境を整備するため、未来型教育システム「アカデミック・セントラル構想」を掲げています。

現代社会はまさに激動しており、我々人類社会の前途には数多くの困難な課題が存在しています。名古屋大学はこれらの課題解決に積極的に挑戦し、未来を切り拓いてゆく人材、すなわち次世代を担うリーダーたる「勇気ある知識人」そして「勇気を持って、共に未来を創る人材」の育成に力を注いでいきます。名古屋大学は、夢と希望に満ちた若い皆さんが、学問に取り組み、鍛えられ、切磋琢磨しながら成長してゆく、そのような素晴らしい環境を提供します。

未来を創る若者たちよ。進化し続ける名古屋大学で学び、世界へと一步を踏み出そう!

前身校期	1871(明治4)年 1872(明治5)年 1873(明治6)年 1875(明治8)年 1876(明治9)年 1878(明治11)年 1881(明治14)年 1901(明治34)年 1903(明治36)年 1908(明治41)年 1920(大正9)年 1931(昭和6)年
帝国大学(旧制大学)期	1939(昭和14)年 1942(昭和17)年 1943(昭和18)年 1944(昭和19)年 1945(昭和20)年 1946(昭和21)年 1947(昭和22)年 1948(昭和23)年
新制大学期	1949(昭和24)年 1950(昭和25)年 1951(昭和26)年 1953(昭和28)年 1955(昭和30)年 1961(昭和36)年 1963(昭和38)年 1971(昭和46)年 1973(昭和48)年 1977(昭和52)年 1990(平成2)年 1991(平成3)年 1992(平成4)年 1993(平成5)年 1995(平成7)年 1997(平成9)年 1998(平成10)年 2000(平成12)年 2001(平成13)年 2002(平成14)年 2003(平成15)年
国立大学法人期	2004(平成16)年 2006(平成18)年 2009(平成21)年 2012(平成24)年 2015(平成27)年 2017(平成29)年 2018(平成30)年 2020(令和2)年

- 仮病院 仮医学校開設
- 義病院設置
- 仮病院 医学講習場設置
- 愛知県病院設置
- 公立医学講習場 公立医学所設置
- 公立医学校設置
- 愛知医学校設置
- 愛知県立医学校設置
- 愛知県立医学専門学校設置
- 第八高等学校設置
- 愛知医科大学設置
- 名古屋高等商業学校設置
- (官立移管)名古屋医科大学設置

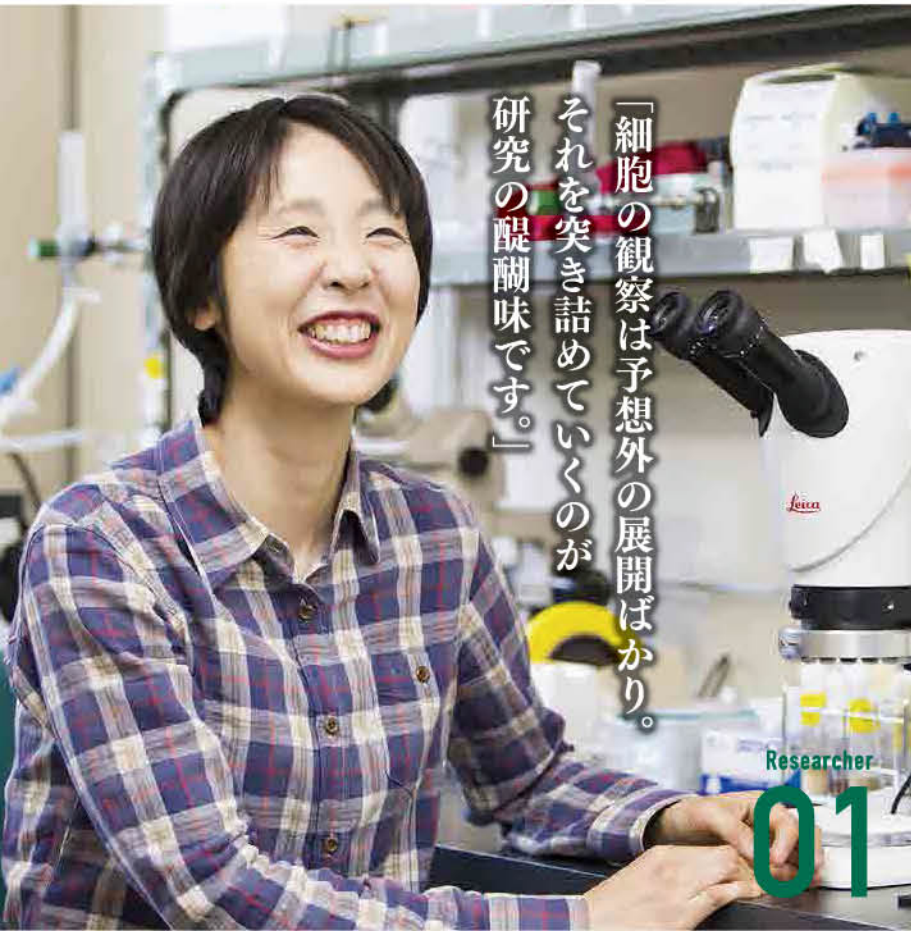


名古屋大学の創基にあたる、1871(明治4)年に設置された医学校・病院は、1877(明治10)年に天王崎(現在の名古屋市中区栄1丁目)のおよそ18,800㎡の敷地に移転した。
堀川河畔の街路に面した表門を入り、植え込みに囲まれた瓜先あがりの道を右へ登ると病院が、左へ向かうと医学校があった。和洋折衷の建物は、出入口や窓枠にアーチが取り入れられ、白漆喰にガラス窓の二階建て建物は、堀川河畔の高台にその雄姿を誇った。当時「河の病院」と呼ばれ、人々に親しまれた。
1914(大正3)年に現在の鶴舞キャンパスへ移転し、その跡に建てられた愛知県立医学専門学校の正門等が現存しており、国の登録有形文化財として2007(平成19)年に登録された。

- 名古屋帝国大学創設(医学部と理工学部の2学部)
- 名古屋帝国大学臨時附属医学専門部設置
- 名古屋帝国大学理工学部を理学部と工学部に分離
- 名古屋帝国大学航空医学研究所設置(1945年廃止)
- 名古屋工業経営専門学校設置(1946年廃止)
- 名古屋経済専門学校設置
- 名古屋帝国大学附属医学専門部設置
- 岡崎高等師範学校設置
- 名古屋帝国大学環境医学研究所設置
- 名古屋大学(旧制)と改称
- 名古屋大学文学部、法経学部を設置

- 旧制名大、医専部、八高、名経専、岡崎高師を包括
- 文、教育、法経、理、医、工の6学部及び環境医学研究所で新制名古屋大学として発足
- 空電研究所、附属図書館、分校(教養部)を設置
- 法経学部を法学部と経済学部に分離
- 農学部設置
- 文学、教育学、法学、経済学、理学、工学の6研究科を設置(文学研究科2017年廃止)
- 医学、農学の2研究科を設置
- プラズマ研究所設置(1989年廃止、核融合科学研究所へ発展)
- 教養部設置(1993年廃止)
- 大型計算機センター設置(2002年廃止)
- 水圏科学研究所設置
- 名古屋大学医療技術短期大学部併設(2001年廃止)
- 空電研究所を太陽地球環境研究所に改組
- 大学院国際開発研究科設置
- 大学院人間情報学研究科設置(2003年廃止)
- 情報文化学部設置(2017年廃止)
- 水圏科学研究所を大気水圏科学研究所に改組(2001年廃止)
- 大学院多元数理科学研究科設置
- 大学院農学研究科を大学院生命農学研究科に改称
- 大学院国際言語文化研究科設置(2017年廃止)
- 大学院教育学研究科を大学院教育発達科学研究科に改称
- 大学院環境学研究科設置
- 地球水循環研究センター設置(2015年廃止)
- 情報連携基盤センター設置(2009年廃止)
- 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
- 大学院情報科学研究科設置(2017年廃止)

- 国立大学法人名古屋大学設立
- 大学院法学研究科実務法曹養成専攻(法科大学院)設置
- エコトピア科学研究所設置
- 情報基盤センター設置
- 大学院創業科学研究科設置
- 太陽地球環境研究所等を宇宙地球環境研究所に改組
- エコトピア科学研究所を未来材料・システム研究所に改組
- 情報学部設置
- 大学院人文学研究科設置
- 大学院情報学研究科設置
- 「指定国立大学法人」に指定
- 国立大学法人東海国立大学機構設立(岐阜大学と法人統合)



「細胞の観察は予想外の展開ばかり。それを突き詰めていくのが研究の醍醐味です。」

Researcher
01

細胞間コミュニケーションの実体や動作原理を明らかにする

細胞間コミュニケーションに着目

多細胞生物は、発生の過程で環境の変化や遺伝子の突然変異などの影響を受けても、最終的には決められた形・大きさを形成するロバストな仕組みがあると考えられていますが、その実体はほとんどわかっていません。私たちはこれまでに、ショウジョウバエ幼虫の発生が遅れると、翅原基(将来、翅を形成する幼虫期の組織)では、細胞死と細胞増殖がさかんに起こることを見だしました。つまり、「細胞が死んで、その分、周りの細胞が増える」ことで、組織の正味としての発生速度を遅らせて、それにより、個体の発生速度と足並みを揃えていると考えられます。

このように、細胞同士が協調する、あるいはときには生存を競い合う、いわゆる細胞間コミュニケーションは、発生に限らず、がんの発生・進展にも重要な役割を果たしています。

名古屋大学で新たな知見を広げる

名古屋大学は物理、数学、農学、創薬など幅広い分野が集まり、異分野融合を目指す研究も活発です。同じモデル生物を用いても新たな視点が得られるため、異分野の研究者との共同研究も積極的に今後進めていきたいと考えています。同じ生物学でも植物、魚、昆虫など多種多様なモデルが使われている

のも魅力です。さらにITbM(トランスフォーマティブ生命分子研究所)での顕微鏡の活用、化合物スクリーニングの実施予定など、高度な最先端研究を展開する大学で新たな知見を広げていくことは大きなメリットだと感じます。

名古屋大学の理学部は最初から専攻を定めずに、約1年間広範囲を学んだ上で興味をもった分野に進むことができます。私自身、学生時代に化学から生物へと専攻を変えましたが、当研究室にも生物をやっていたり、物理も生物も興味があるなど、いろいろなバックグラウンドを持った人が在籍しています。また、研究を進める上で大事なものは、愛着の持てるものがあることです。私はもともと細胞死に興味を持ったことがきっかけとなり、現在も細胞死が絡んでいるような現象を研究しています。顕微鏡で細胞を観察していくと、自分の頭では予想もしなかったことばかり起こります。筋書き通りにはいかない展開を、どんどん突き詰めていくプロセスが生物学の面白いところ。さまざまな視点から発想が生まれてこそ良い研究ができるので、皆さんも積極的に考え、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。



大澤 志津江

大学院理学研究科生命理学専攻 遺伝学グループ 教授

PROFILE

専門は生物学、遺伝学。東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了 薬学博士。日本学術振興会特別研究員DC2(三浦正幸研究室)、神戸大学大学院医学研究科グローバル COE 研究員、日本学術振興会特別研究員SPD、京都大学大学院生命科学研究所 准教授(井垣連史研究室)を経て、現在に至る。

貧困問題を抱える 開発途上国の政策評価分析や 経済モデル開発に貢献

開発途上国の貧困をなくすために

アフリカは資源が豊富で堅調な経済成長を遂げているにもかかわらず、労働者の生活は不安定であり、特にサハラ以南の地域は深刻な貧困問題を抱えています。さらに人口は2050年にはアフリカ全体で約21億人に膨らむと予測されています。このような状況を踏まえ、私は開発途上国における貧困削減を目的とし、産業政策が経済成長と構造変化との関係に与える影響や、それらを明らかにする経済モデルの開発を研究しています。また、産業連関分析、フィールド実験の手法の1つであるRCT(ランダム化比較試験)、人工知能の学習の根幹をなす機械学習・ディープラーニングなどさまざまなユニークな手法を取り入れ、世界の国々の政策評価をおこなっています。ビッグデータを活用した詳細でインパクトのある分析結果に基づき、政府など関係機関へ新たな政策の提案もおこなっています。

私は、名古屋大学のアフリカ産業人材育成における技能評価「SKY」プロジェクトのメンバーとしても活動しています。その例として、エチオピアの縫製業労働者を対象に日本で生まれたカイゼン教育(5S)導入によるRCTを行ったところ、労働生産性や給与の上昇に効果が見られました。このようなボトムアップの改善モデルは、日本などアジア系企

業が多数進出する東南アジアでも見られ、経済発展に貢献してきました。私は今後、東南アジアにおける産業パークの研究を進め、アフリカの産業パーク開発にも生かしていきたいと考えています。

自国に貢献できる実践的プログラム

本学の大学院国際開発研究科は、留学生比率が70%、授業はほぼ100%英語です。将来自国に戻ったらすぐに役立つ実践的プログラムが組まれているため、私が日本へ来た当時から留学生に高い人気を誇ります。教員が国連など国際機関と連携して研究活動を行い、海外フィールドワークも盛ん。私のゼミでは政府で就業経験のある人やTVETを受けた政府の人もあります。自国に貢献したい気持ちが皆強く、研究へのモチベーションが高まっています。

今、世界中でCOVID-19が問題となり、途上国では今後さらに経済的問題が深刻化するでしょう。私は現代の人々が抱える問題を減らすための研究に取り組んでいきたい。肝心なのは、研究結果をシェアし、すぐ役立つようにすることです。政府と現場の課題をリンクさせ、NGO、企業、国際機関なども含めた開発パートナーと一緒に発展させていくことが大事だと考えています。



オチア クリスチャン

大学院国際開発研究科 国際開発協力専攻 准教授

PROFILE

専門は経済統計、経済政策、理論経済学、地域研究。キンシャサ大学 経済学部(コンゴ民主共和国)卒業後、日本に渡る。名古屋大学大学院 国際開発研究科 博士課程修了。Lawrence Klein Award(2016)、Thomas Rutherford Award(2016)、Flash Session Winner Price(2013)受賞。

「プラクティカルな研究テーマに挑み、開発のパートナーと一緒に 途上国の成長を支えたい。」

Researcher
02





「18世紀の科学技術史を研究。今後は女性の思想家についても考えていきたい。」

Researcher
03

科学技術史・社会思想史を紐解き
アクチュアルなテーマにも踏み込む

社会の中の科学の位置づけ、学問の分岐に関心

科学技術史と社会思想史の2つを中心に研究しています。特にヨーロッパの科学政策の始まりとなる18世紀から19世紀にかけて、科学が社会の中でどのような位置づけを与えられてきたか、つまり科学者という職業がいかに構想され、誰がお金を出して活動ができたのかを歴史的な手法で研究しています。年に1、2回はフランスの古文書館を訪れ、18世紀当時の帳簿やメモ書きなど細かい記録を一つひとつ確認し、科学に関するお金の流れを調べています。

また、自然科学と社会科学の分岐など、諸科学間の役割分担の様子にも関心を持っています。最近では現代にも目を向け、著書「文系と理系はなぜ分かれたのか」を執筆しました。本書では欧米や日本の学問の歴史を遡って確かめるところから始め、受験や就活、ジェンダー、研究の学際化などの問題にも踏み込んでいます。この本を書き終えた時もそうでしたが、研究の醍醐味は、自分の思い込んでいたことは違った事象が見えてくる瞬間など、想定外の出会いが多々あること

です。思想史研究では、広い視野を持ちながら自分の価値観を保てられるかといった考える喜びや挑戦があり、一つの語りとして、いかに編纂していくかが研究者の腕の見せ所にもなります。

名古屋大学は、西洋社会思想史研究で日本の第一人者となる水田洋先生(名大名誉教授)の貴重な蔵書が収蔵されているなど、思想史研究の伝統が息づく場所です。ここで研究できることはうれしいことですし、科学史を専門とする私が経済学研究科に所属しているように、幅広い分野での研究が行われていることも本研究科のユニークな点だと思います。

女性の社会思想史研究を目論む

今後は、科学技術史の研究をさらに進めていくとともに、社会思想史における女性の思想家について、さまざまな研究者と一緒に考えていく予定です。今までの社会思想史は、ヨーロッパ系白人男性の思想家がメインストリームとなり、女性もしくは非ヨーロッパ系の人たちの思想がその語りの中に入っていないませんでした。見直してみる作業がこれから必要になります。また、日本語で読めるものを作ることが一つの課題。例えば「社会」という言葉は、日本で現在当たり前のように使われていますが、江戸時代にはその概念がありませんでした。言語ごとの違いを意識しながら日本語で考えていくことが大事になってきます。時代が大きく変わりつつある中、物事の変化を捉える上でもこれらの過去の事象を確かめておきたいと思います。



隠岐 さや香

大学院経済学研究科 教授

PROFILE

専門は科学技術史・社会思想史。東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学。博士(学術)。著書「文系と理系はなぜ分かれたのか」(星海社新書)が中央公論新社主催の新書大賞 2019 にて第2位に入賞。

新しい薬としての細胞を作る
再生医療のものづくり
テクノロジー

再生医療を支える工学的な技術開発

再生医療では、体の中にある細胞を人工的に体外で培養し、活性化や機能を高めるなどして治療に使います。体の修復や再生パワーの源である細胞を治療に使うと、従来の薬では治らなかった病気や怪我が治ることが昨今の研究で次々と明らかになりました。特にiPS細胞が発表された2006年以降、再生医療は急速に発展し、生きた細胞は治療に使うための最も新しいジャンルの薬として広がりつつあります。私たちの研究室では、再生医療で使う治療用の細胞を製品として良い品質で作るため、工学的なものづくり技術の開発をしています。特に注力するのが細胞の品質管理技術の開発です。

再生医療で使う治療用の細胞を世界中の患者様に届けるには、高品質な細胞を大量かつ安定的に作るためのテクノロジーが必要不可欠です。患者様から採取したわずかな細胞を体外で長期間培養し、生きたままの品質評価は大変難しく、培養熟練者による高度な目利きと手作業に頼るのが現状でした。1品はまだ数千万円にも及びます。そのために私たちは、画像解析とAIのテクノロジーによる品質判定技術を開発。細胞を傷つけることなく定量的に評価するとともに、品質を事前に予測できる画像診断プログラム開発により、安全かつ効率的に品質管理が行え

る技術の実用化に成功しました。またこの技術をWebで使えるようなツールとして、システムの製品化と支援サービスの提供を開始しています。

次の目標は、細胞の品質評価技術における国際標準化を作ることです。メイド・イン・ジャパン品質の細胞として、より安心で効果のある日本の細胞医薬が世界に広がることを願っています。

多分野融合で再生医療・創薬開発を

医療や創薬の研究は、医学や薬学の領域と考えられがちですが、私が所属する創薬科学研究科は、薬学、理学、工学、農学、医学と多分野が融合して研究開発を行っています。そして今、再生医療分野には、細胞医薬の産業化に向けて、自動車、カメラ、家電など、ものづくり産業の企業研究者が多数参入しています。本研究科でもさまざまな企業との共同研究開発が進められ、海外の研究者や研究員との国際交流も活発です。融合型の研究だからこそ新しいパワーが生まれ、より多くの患者様を救うことやライフサイエンスの発展にも貢献できます。多分野の学びに興味がある人は、私たちとぜひ一緒に挑戦してもらえたらと思います。



加藤 竜司

大学院創薬科学研究科 准教授

PROFILE

博士(工学)。専門は細胞分子情報学分野。再生医療での功績が認められ、日本再生医療学会 The Johnson & Johnson Innovation Award 2017 受賞、島根大学発ベンチャー企業との研究チームが NEDO「AIベンチャーコンテスト」最優秀賞受賞(2018)。

「メイド・イン・ジャパン
品質の細胞が世界に広がる
ことを目指しています。」

04
Researcher





「生き物の洗練された能力を引き出し、人類が知らないことを解決したい。」

Researcher
05

分子、細胞レベルから体内時計の謎に取り組む

冬になると渡り鳥が飛来し、春には繁殖期が訪れ、朝にはニワトリがコケッコーと鳴くなど、動物の営みは昼夜や季節の変化にさらされながら正確に繰り返されています。私たちは鳥類、魚類、マウスなど洗練された能力を持つ動物をモデルとして、体内時計を使って動物がどう季節を感知し、環境変化に適応しているのかといった謎の解明に取り組んでいます。そして究極的には、ヒトの気分が季節で変わることを理解したいとも思っています。メダカを使った研究を例にあげると、夏は活発に泳ぎ回り配偶行動をしますが、冬は水底でじっと息を潜めています。この仕組みについて、メダカは冬と夏では光感受性や色覚が変化することを発見、季節によって世界の見え方が異なっている可能性を示しました。ヒトにおいても色覚に季節変化があることが報告され、共通する仕組みである可能性が考えられます。またメダカで社会性を調べるテストを行ったところ、冬と夏のメダカでは、うつ病と関係する神経伝達物質や遺伝子が増えていることも明らかになってきました。冬にも関わらず社会性が向上するような分子の発見に成功したので、ヒトのうつ病治療にもつながられるよう、研究を進めています。



吉村 崇

トランスフォーメティブ生命分子研究所 (ITbM)
大学院生命農学研究所 教授

PROFILE

博士（農学）。専門は生物時計、システム生物学、動物生理学、医薬関連分子。主に脊椎動物の体内時計の制御機構と季節感知機構の解明に取り組んできた。数々の画期的な発見は ITbM のコアプロジェクトの柱の一つとなっている。

ロボットを導入し、ホタルの発光遺伝子によって1日に一度光るヒト由来の細胞を用いて、ほ乳類の体内時計を調節する薬の探索も行いました。約1,000個の薬のうち約5%が細胞レベルで体内時計の周期を変えることを見出し、その薬の一つがマウスの時差ぼけを軽減することを発見しました。この研究はドラッグリポジショニング（既存薬再開発）のアプローチから行われたのですが、将来、既存薬を使ってヒトの時差ぼけを軽減することが期待されます。

世界トップレベル研究拠点での挑戦

私は生き物が好きで、研究室ではいろいろな生き物を飼ってきました。誰も知らないことを世界で初めて明らかにする瞬間、私たちに新しいことを教えてくれる生き物ってすごいと改めて思いますし、研究活動が楽しくてしょうがないですね。また、世界的な研究拠点であるITbMが発足したことにより、計算科学者、合成化学者の方々と一緒に研究できる機会が生まれました。海外からの研究者や研究員も多数所属し、産学連携や他研究機関との共同研究も盛ん。異分野融合など新しいことが勉強できるということは何歳になってもワクワクします。今後も動物の生産性の向上やヒトの健康増進、創薬にも貢献できる分子の開発に取り組むとともに、他の研究者がやらないようなことに挑戦していきたいと思っています。

最先端技術を適用し 動物が持つ巧みな生存戦略の謎に迫る



ノーベル賞受賞者とその功績

© Nobel Media AB 2014 Photo: Niklas Elmehed

2001



野依 良治

(受賞時63歳)

ノーベル化学賞

「キラル触媒による不斉水素化反応の研究」

世の中には、手袋をかざぐるまの羽根のように、鏡に映した形（鏡像）がもとの形と重ならないものがあります。これらは、各々が単独に存在するときには同じですが、何かと相互作用すると大きな違いが生じます。例えば、右手同士の握手はしっかりと握りますが、右手と左手では妙な握手になります。この右と左の違いは目に見える世界に限らず、「分子」の世界でも重要です。特に生命現象に関わる医薬のような分子では、右手形分子は優れた鎮静剤であるが、左手形分子は毒になるといった具合に、作用が大きく異なることがあります。分子の右と左を作り分ける方法、「不斉合成反応」が絶対に必要な所以です。しかし、つい40～50年程前まで、鏡像的に純粋な分子の供給は酵素反応や微生物を使ったバイオテクノロジーに頼っていました。酵素を越え、多様な分子の右左の作り分けを自在に行える不斉合成法の創出は、化学者の長年の夢でした。野依博士はその夢を現実のものとしたのです。

2008



下村 脩

(受賞時80歳)

ノーベル化学賞

「緑色蛍光タンパク質GFPの発見と開発」

下村博士は、1962年、オワンクラゲから緑色蛍光タンパク質GFPを発見しました。GFPのもつ大きな特徴は、GFPの遺伝子をクラゲ以外の生物に導入すると、作られたGFPがひとりでに蛍光を発するようになることです。生物が生きたままGFPの蛍光を観察することができるので、体の中でのタンパク質や細胞内の構造、細胞自身の動きを調べるための目印としてGFPを使うことができるようになりました。現在では、遺伝子工学を用いて、アルツハイマー病により神経細胞がどのように壊れていくのか、発達中の胚のすい臓でどのようにしてインスリンを産生するベータ細胞が作られるのかなどを観察できます。下村博士の発見は、現在の生命科学研究のスタイルを大きく変えたと言ってもよいでしょう。

2008



益川 敏英

(受賞時68歳)



小林 誠

(受賞時64歳)

ノーベル物理学賞

「クォークが少なくとも3世代(6種類)存在することを予言する(CP)対称性の破れの起源の発見」

137億年前の宇宙誕生において粒子と反粒子は対で生まれましたが、現在の私たちの世界は粒子だけでできており、粒子と反粒子の対称性(CP対称性)がどこかで破れている必要があります。1972年、小林博士と益川博士はこのCP対称性の破れの起源の問題に取り組む、素粒子物理学の基礎となる「小林・益川理論」を提唱しました。当時、物質の最小単位であるクォークは3種類しか知られていなかった中で、両博士はクォークが6種類以上あれば移り変わり過程を表す小林・益川行列にCP対称性の破れが現れることを示しました。この大胆な考え方ができたのは、二人がクォーク模型の元となる「坂田模型」を生み出した名古屋大学の坂田研究室(E研究室)で育ったからにはほかにありません。残りの3種のクォークは、その後次々と発見され、さらに2001年には名古屋大学も加わっているBファクトリー実験で小林・益川行列によるCP対称性の破れも確認されました。こうして、両博士が提唱した「小林・益川理論」の予言は見事に証明され、2008年のノーベル賞となりました。

2014



赤崎 勇

(受賞時85歳)



天野 浩

(受賞時54歳)

ノーベル物理学賞

「明るく省エネルギーの白色光源を可能にした高効率の青色発光ダイオードの発明」

赤崎博士、天野博士は、「20世紀中の実現は困難」と多くの研究者がその実現を諦めた、高輝度青色発光ダイオード(LED)の開発を行ってきました。粘り強い研究活動により、1985年に高品質な窒化ガリウム(GaN)単結晶の作製に成功、1989年には世界で初めて青色LEDを実現しました。この成果をきっかけに、世界中で青色LEDの研究が盛んになり、ディスプレイのバックライトや信号といったさまざまな用途で幅広く用いられるようになりました。また、Blu-ray Discやレーザーディスプレイなどに用いられる青色半導体レーザーも開発されました。LEDは白熱灯や蛍光灯よりも高いエネルギー効率を有するため、照明器具としても使われており、両博士の研究は、省エネや環境保護の面においても、大きく貢献したと言えるでしょう。

名古屋大学の教育を支える 3つの方針

名古屋大学の教育の基本理念と育成する人間像

名古屋大学は「学術憲章」(2000年制定)で、「名古屋大学は、自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献することを、その使命とする。とりわけ、人間性と科学の調和的発展を目指し、人文科学、社会科学、自然科学をともに視野に入れた高度な研究と教育を実践する」と、その使命を定めています。さらに「学術憲章」では「研究と教育の基本目標」として、「(1)名古屋大学は、創造的な研究活動によって真理を探究し、世界屈指の知的成果を産み出す。(2)名古屋大学は、自覚性を重視する教育実践によって、論理的思考力と想像力に富んだ勇気ある知識人を育てる」という基本理念を掲げています。

この「学術憲章」に示される基本理念の下で、名古屋大学は日本における基幹総合大学の一つとして、創造的な教育・研究活動を通じ、豊かな文化の構築と科学・技術の発展に寄与してきました。21世紀に入り6名のノーベル賞受賞者を輩出するなど世界屈指の研究成果を生み出すとともに、既存の権威にとらわれることのない自由闊達な学風の下、多数の進取

の気性に富んだリーダー人材を育成してきています。名古屋大学はこれらの人材や知的成果を広く社会に提供するための開かれた大学づくりに努めています。冒頭で述べたように、「勇気ある知識人」を育成する人間像として示しています。

「勇気ある知識人」とは、責任感をもって社会に貢献しようとする高い志とグローバルな視野をそなえ、幅広い教養と高い専門性を身につけ、人々の幸福や持続可能な社会の発展を妨げる諸問題の解決に積極的に寄与できる人材を言います。このような真の勇気と知性をもち、未来を切り拓いていける人が、名古屋大学が育成しようとしている人間像なのです。

この「勇気ある知識人」を支える力となるのが、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心です。こうした優れた資質・能力を持った人を、名古屋大学は、多面的な学術研究活動と自覚性を重視する教育実践によって育成しています。

3つの方針に基づく大学教育の質の向上

名古屋大学では、このような教育を適切に実施するため、①卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、②教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)、③入学者受入れ・選抜の方針(アドミッション・ポリシー)という3つの方針を学士課程及び大学院課程において定め、広く学内外に向けて公表しています。

これらの方針は、名古屋大学の教職員にとっては、大学がめざす教育を実現するための指針であり、つねに立ち戻って教育のあり方を点検するための指標でもあります。名古屋大学への入学を志望する者にとっては、入学後に期待できる教育のあり方や、入学までに身につけておくべき素養について知るための情報源となります。また、名古屋大学に在学する学

生にとっては、本学で提供されている教育が何をめざしているのかを普段から意識するための手がかりとなります。さらに卒業生や修士生の活躍の場となる社会にとっては、名古屋大学がどのような資質・能力をそなえた人材を育てているのかを理解する拠りどころとなります。

これら3つの方針は、相互に密接に関連してこそ、その真価を発揮します。名古屋大学では、教育の基本理念と育成をめざす人間像を起点として、3つの方針を一体的に定めています。そして、このように一体的に定められた3つの方針に照らして、本学の教育のあり方を自己点検・評価し、教育の質を向上させていく取組を積極的に進めています。

01

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

【学士課程】

名古屋大学は、各学部の教育目標と基準に沿った資質・能力の卒業資格を満たした者に、卒業を認定し、学士の学位を授けます。名古屋大学の学位は、真の勇気と知性をもち、未来を切り拓いていく「勇気ある知識人」として、それぞれの学術分野で、十分な知識・技能、主体的な創造性、立ち向かう探究心が培われたことを証します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに、学術分野の特徴に基づき、社会からの期待に応えるために育成する人間像を教育目標として設定しており、それに基づく基準を定めています。学士の学位は、各学部・学科のカリキュラムの履修を通して、その基準に対応した資質・能力を身につけた学生に対して授与されます。

02

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

【学士課程】

名古屋大学は、高度で幅広い教養を育むための教養教育と、飽くことなき探究心の涵養と新たな知の主体的創造につながる専門教育との二本柱からなる体系的な教育課程により、学生を育てます。多様な授業形態の組み合わせによる教育課程の展開と自発的な学修の促進を図り、学術分野の特徴を活かした、教育実践及び学修指導を適切に実施します。

名古屋大学では、学部・学科ごとに教育目標として設定した、育成する人間像に対応する資質・能力を培うためにふさわしい教育課程を編成し、実施しています。

03

入学者受入れ・選抜の方針 (アドミッション・ポリシー)

【学士課程】

名古屋大学は、未来の「勇気ある知識人」を目指す人を国内外に求めます。各学部・学科の学術分野の特徴に基づき、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を適正に評価して選抜する入試を実施します。

名古屋大学では「学術憲章」に掲げているように、「勇気ある知識人」の育成を目指しています。「勇気ある知識人」として必要な資質・能力は、大学教育での学びだけで培われるわけではありません。中等教育で身に付けた土台の上でこそ、勇気ある知識人への成長が可能になります。そのため、名古屋大学では、基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人を国内外に求めています。

各学部・学科の特徴に基づき、多様な評価方法を適宜組み合わせ入試を実施し、ひとりひとりの学生を選抜します。

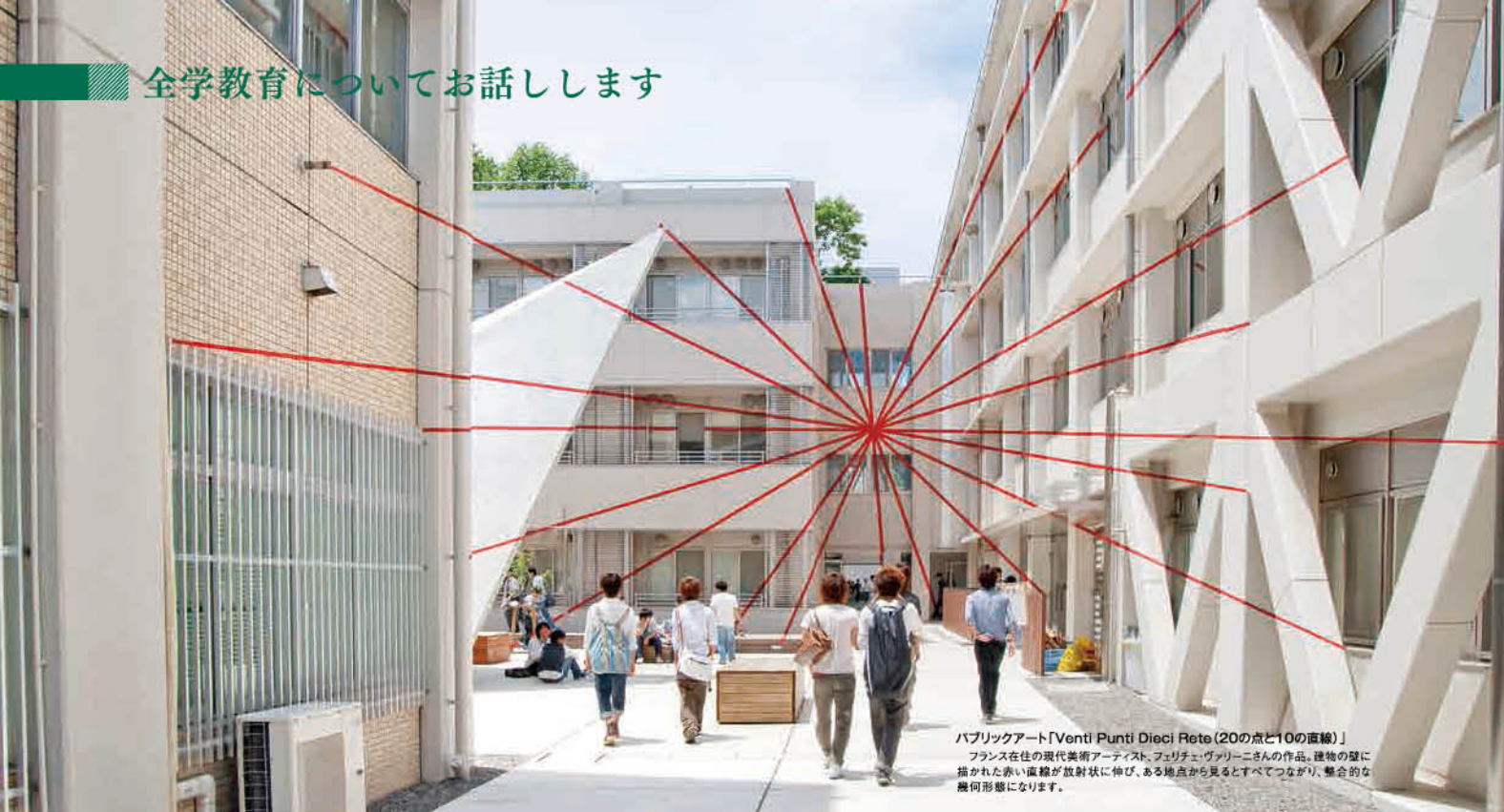
各学部の教育を支える3つの方針は下記及び右記のQRコードから確認ください。
<http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/policies/index.html>



名古屋大学



※1 ノーベル賞受賞を機に建てられた研究施設です。
※2 共同利用・共同研究拠点として、文部科学省より認定。
※3 教育関係共同利用拠点として、文部科学省より認定。



パブリックアート「Venti Punti Dieci Rete (20の点と10の直線)」
フランス在住の現代美術アーティスト、フェリチェ・ヴァリーニさんの作品。建物の壁に
描かれた赤い直線が放射状に伸び、ある地点から見るとすべてつながり、整合的な
幾何形態になります。



名古屋大学プロジェクトギャラリー「cias」
本学の授業および学生、教職員、OB・OGらによる教育と研究、社会的活動にかかわる
展示、プレゼンテーション、セミナー、ミーティング等の空間として使用しています。

人類の未来を切り拓く「勇気ある知識人」の礎を築くために

■ 基礎教育・教養教育って何だろう、なぜ大切なんだろう

教養教育院は、名古屋大学の教養教育と基礎教育を企画・実施するための組織です。基礎教育はその名の通り、大学生活を送り専門教育を受けるために必要な、すべての学部で学生に共通する基礎を身につけるための教育です。では、教養教育の方は？

そもそも「教養」とは何でしょう？

ズバリ言っちゃいましょう。教養は豊かな知識と同一視されることも多いですが、それだけに尽きるものではありません。社会の担い手であることを自覚し、議論を通じて社会を改善し存続させることを己れの責務として引き受け、そしてそれをうまく成し遂げることでできる存在(これを本学では「勇気ある知識人」と呼んでいます)になるために必要な素養・能力。これが教養の正体です。

残念ながら、すべての人が教養を身につけることができるとは限りません。みんなが教育機会に恵まれるわけではないし、教養教育をきち

んと受けるためにもある種の能力と態度が要求されるからです。でも、未来の人類のために、教養を身につけた「勇気ある知識人」は、たとえ少数であっても絶対に必要です。何でもとにかく学んでみようという知的好奇心、これから学ぶことを社会の役に立てたいという願望、そして何よりも「努力できる」という能力。これから厳しい受験勉強をくぐり抜け、本学に入学しようとしているみなさんには、すでにこの「素養・能力と態度」が備わっていると信じています。

教養を構成する「素養・能力と態度」の中身について、もう少し詳しく述べましょう。教養には以下のものが含まれます。

- (1) 大きな座標系に位置づけられ、互いに関連づけられた豊かな知識。さりとして既存の知識を絶対視はしない健全な懐疑精神。
- (2) より大きな価値基準に照らして自己を相対化し、必要があれば自分の意見を変えることを厭わない闊達さ。

(3) 答えの見つからない状態に対する耐性。見通しのきかない中でも、少しでもよい方向に社会を変化させることができると信じ、その方向に向かって(1)と(2)を用いて努力し続けるしなやかな楽天性。

(3)を付け加えたのは、みなさんが暮らすことになる未来の世界は、これまでになく予測不可能なものになるからです。環境、エネルギー、文化間・階層間の衝突といった問題はまだ解決されないまま、「先進国」では人工知能やロボットの導入により現在の仕事の半数近くがなくなると予想される一方で、100年も生きなくてはいけない。…いったいどんな社会になるのでしょうか。というより、どんな社会を目指していけばよいのかすら明確ではありません。

というわけで、教養教育は「専門教育を受けるための準備」ではありません。狭い専門知識を深く学ぶ前に「広く浅くいろいろな知識を学んでおくこと」でもありません。いまある社会の

いまある仕事をこなしていくための「社会人力の基礎を涵養すること」でもありません。教養教育は何か別のものための「準備」ではなく、それ自体完結した目標を持っています。すなわち、未来社会の設計者としての心的態度を育てることです。これにそれぞれの専門的スキルと知識が加わることによって、初めてみなさんは人類社会に貢献する「勇気ある知識人」に自己を形成できるのです。入学後、みなさんが教養教育の意義を正しく理解して勉学に励んでくださることを人類の一員として期待しています。

普遍性と先進性を両立させるため、 基礎教育・教養教育のカリキュラムを大きく改善しました

「勇気ある知識人」が身につけるべき素養・能力は、時代や地域を超えて変わらぬ部分と、それらに応じて柔軟に変化するべき部分の両面があります。その両面に対応するため、2022年度入学生から教養教育院の提供するカリキュラムを大幅に改善します。

■ 共通基礎科目

科目区分	内容	
共通基礎科目	「自立した主体的学び」へと学習姿勢を転換し、よりよい未来社会を構築しそれを担う「勇気ある知識人」となるために、すべての学生が専門分野によらず共通に身につけるべき基礎的素養(汎用力・課題発見/解決力)を育む	
「大学での学び」基礎論	大学とは何か、大学で学ぶとはいかなることか、大学での学びを充実したものにするにはどのような知恵が必要かについて理解し、主体的な学習者としての態度の核を形成する	
基礎セミナー	少人数のセミナー形式による多面的な知的トレーニングを通じて、真理探究の面白さに触れるとともに、主体的な学びに必須の「調べ、考え、書き、話す」能力を涵養する	
言語文化科目	英語	学問の世界の共通言語、かつ国際社会で活躍するために必須の言語である英語によるコミュニケーション能力を高め、世界に通ずる窓を開く
	初修外国語	英語以外の外国語の学修を通して、多様な異文化に対する理解と寛容性を身につけ、国境を越えてよりよい未来社会の構築をめざして協同するために必須の複数外国語運用能力の基礎を築く
	日本語	日本語の能力を高め、日本の文化と社会に対する理解を深めることにより、留学生活における主体的学びのための基礎能力を身につける
健康・スポーツ科学科目	講義	健康に関する知識と自己管理能力及び運動・スポーツ習慣の必要性など、生涯スポーツの基礎となる知識を習得する
	実習	スポーツの実践を通して、運動・スポーツの楽しさを味わい、運動習慣獲得の基礎となる技能、コミュニケーション能力とリーダーシップ、チームワーク形成能力を身につける
データ科学科目	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識と汎用的な分析技能を獲得する	

データに基づいてしっかりと思考し判断する。これからの人類社会の担い手として不可欠な能力と態度を身につけるために、文系・理系を問わずすべての学生が「データ科学科目」を学びます。

■ 分野別基礎科目

科目区分	内容
分野別基礎科目	専門分野の学習の基盤となる最も基礎的な知識と技能を身につける
人文・社会系基礎科目	人文・社会科学系の専門分野を学んでいく基盤として、それぞれの分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につける
自然系基礎科目	自然科学系の専門分野を学んでいく基盤として、それぞれの分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につける

専門分野を学習していくために必要な「はじめの一步」です。したがって、文系学部の学生は「人文・社会系基礎科目」を、理系学部の学生は「自然系基礎科目」を学びます。

■ 教養科目

科目区分	内容
教養科目	教養ある「勇気ある知識人」として専門知を人類社会の問題解決に活用し幸福な未来を構築していく。そのために重要な資質である「異分野・異文化に開かれた態度」「分野を超えた幅広い知識への関心」及び「自己とその専門分野を相対化する視点」を獲得する
国際理解科目	「異文化との出会い」を契機に、世界には多様な価値観があることを認識し、近現代の国際関係に関する知識と事項の文化に関する知識を身につける。これを通じて、自らの主張を展開する力と文化的社会的な寛容性とを兼ね備えた、国際社会で活躍しようとする人間に成長するための基礎を築く
現代教養科目	現代社会が抱える課題の理解を踏まえ、その課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と他分野との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につける
超学部セミナー	自らの目指す専門性が自覚された学部3～4年次において、異なる分野を学ぶ学生が学部・学年を超えたチームを組み、自主的に設定した課題の解決のためにみんなで考え力を合わせる主体的経験を共有する。これを通じ、リーダーシップとチームワーク、異分野への開かれた態度、多様な人々の協調による課題解決能力を身につける

分野別基礎科目と対照的に、教養の不可欠な要素である(1)大きな座標系(2)自己相対化と関連性(3)答えの見つからない問いに取り組む力を身につけるための科目です。「国際理解科目」には、海外の大学への短期留学体験を含む科目や、名古屋にいながらにして留学先での授業を体験できる科目などが含まれています。「現代教養科目」では、自らの専門分野を相対化するという趣旨に照らして、理系学生は人文・社会系の科目を、文系学生は理系の科目を学びます。教養は専門のための準備ではありません。この考え方が具体化したのが「超学部セミナー」です。専門を学ぶようになった3～4年次になってから、異なる専門分野を学ぶ学生がチームを組んで共通課題に取り組めます。

教養教育院が提供するユニークな授業の いくつかをご紹介します

■ Summer Camp

Would you like to participate in an exciting and life-changing summer camp? You will have such an opportunity at Nagoya University. The summer camp at Nagoya University has been widely praised as one of the most successful active learning programs in higher education! At the camp you will get to learn some of the most important academic skills, including how to (i) think logically for research, (ii) write a clear and convincing academic paper, (iii) communicate and present effectively in English, (iv) work together with people of different disciplines, nationalities, and universities.



Every year the camp will be held at a beautiful and relaxed campsite in the mountain areas of Nagano prefecture. You will meet friends coming from different backgrounds. While spending wonderful time together, you will learn how to support each other to achieve common goals. All the learning activities are conducted within a team setting. You will work with three or four members within a group throughout the four-day camp to compete with other groups for a top prize. Through the collective efforts and mutual support, you will naturally become more active and confident in learning.

For more information about the camp, please google “Mei-Writing summer camp”. We are certain that after you experience the summer camp, you will become more active and positive about your studies and life. Do join us if you can. You will never feel bored or lonely at the camp! We look forward to welcoming you on campus in the next spring!

■ Studium Generale

Multi-disciplinary seminar “Studium Generale”.

The course name “Studium Generale” comes from Latin (“General Course”) and is a concept that has existed in universities across Europe for several hundred years, still preserved in many German universities today. This “general course” aims to expose students to a wide range of ideas.



At Nagoya University Studium Generale is a unique immersion program into multiple disciplines, in an English-language-based environment.

The course offers topics from various scientific/social fields presented in an accessible way. Every class the speaker and the topic are different – from physics, to gender equality, to cell biology, to arts, to history and business or careers. Not only the topics are multi-disciplinary, the class environment is multi-disciplinary and multicultural: the course is open to all undergraduate students at Nagoya University and Gifu University, including the international G30 program students. Students get to meet people from very different background while engaging in small group discussions and team projects. In one short semester students become comfortable with interdisciplinary topics in a multi-cultural environment and expand their horizons! Since 2020 the course is conducted entirely online. This allows students from any campus to participate equally. The course is also open to students without credit, as an Open Course. Once at Nagoya University, make sure to give it a try!

名古屋大学は、身につけた教養と専門知識を活かして国際舞台で活躍できる卒業生を育てることを目指しています。英語は、英語を母語とする人々に対してだけでなく、異なる言語を母語とする人々同士のコミュニケーションのための道具にもなっています。そのため、みなさんの英語力をさらに伸ばし、世界を舞台に仕事ができるレベルにまで高めるため、授業内容を工夫し、「Academic Express3」を始めとする多様なeラーニング教材によって、自分のレベルに合わせた弱点強化を促しています。

あなたの英語は世界に通用しますか？



名古屋大学では、先端的な学術研究と、国内外で指導的役割を果たしうる人材の養成のために、世界に通じる学術英語(アカデミック・イングリッシュ)教育を行っています。

Academic English 教育

導入段階

<p>英語(基礎) (Academic English Basic) ●1年春学期(40人授業、習熟度別クラス編成)</p> <p>学術的な英文に関する基礎的なリーディング能力とライティング能力を養成する。対面授業に加え、課外学習として、eラーニング教材を課す(週2時間)。</p>	<p>英語(サバイバル) (Academic English Survival) ●1年春学期(40人授業)</p> <p>英語基礎知識の再確認を図る。文法/リーディング/ボキャブラリーで鍛える。合格評価を得られない学生は2年次開講の英語授業を受講できない。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

推進段階

<p>英語(中級) (Academic English Intermediate) ●1年秋学期(40人授業、習熟度別クラス編成予定)</p> <p>英語(基礎)で学んだ英文の基本的論理構成に関する知識を土台にし、より高度なエッセイレベルでのリーディングとライティング能力を養う。課外学習はTOEFL対応(週1.5時間)。</p>	<p>英語(コミュニケーション) (Academic English Communication) ●1年秋学期(24人授業)</p> <p>リスニングとスピーキングを主としたコミュニケーションの能力を高める。ディスカッションやプレゼンテーションのための基礎力を養成する。課外学習はリスニング(週2時間)。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

発展段階

<p>英語(上級) (Academic English Advanced) ●2年春学期(20人授業)</p> <p>学会、企業等で必要とされるプレゼンテーションを行えるよう、リーディング、スピーキング、リスニング、ライティングの各能力を高め、それらの統合を目指す。課外学習は名古屋大学開発eラーニング教材(週2時間)。</p>	<p>英語(セミナー) (Academic English Seminar) ●2年秋学期(24人授業)</p> <p>英語・英語文化についての深い教養を身につける。課外学習は名古屋大学開発eラーニング教材(週2時間)。</p>	<p>英語(上級リーディング)1/2 (Advanced Reading) ●2年春学期/秋学期(40人授業)</p> <p>[文学部対象] 高いレベルの、多様な英文の読解を行うとともに、現代社会における英語文化についての深い教養を養う。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3年次以降の英語学習も応援します。



自己教育力の養成を通じた国際基準の Academic English 教育



Academic English 支援室



文学部

www.hum.nagoya-u.ac.jp

School of HUMANITIES

人間の本质に迫る — 真理の森へ

文学部は、1学科4コース21分野・専門(研究室)で構成されています。文学部は少人数教育に重点を置いており、学生の個性を尊重したきめ細かい指導体制が特徴です。学部学生は2年次には分野・専門(研究室)に所属して各分野の勉学に専念することができます。文献読解、フィールドワーク、実験、統計解析と各専攻で重視される教育カリキュラムは様々ですが、いずれも適確な情報収集力、事実関係を厳密に吟味し把握する能力、そして論理的思考力を養う点では共通です。新しい知的活動の要求に応えるべく、人間の豊饒な営みを凝視すること、それは現代に生きる自分自身の発見に他なりません。

文学部は、現代の課題を解決し未来を拓く強靱な知性を備えた人間を育成していきます。



人文学科 3年
久保 美咲 さん
KUBO Mizuki
出身校: 広島県 広島女学院中学高等学校

VOICE 01 文学部 学生から

文学部と聞くと、多くの人は教室で椅子に座って教科書を読んでいるというのをイメージするかもしれませんが、実際は全然違います。私が専攻している考古学では、発掘調査や博物館実習など、実際に自分で現地へ赴いて経験することができます。普段の授業でも、貴重な遺物に触れたり、実測や測量などをおこなったりします。また、実習だけでなく、講義や演習の授業などを通して、考古学に関する知識も深めます。

文学部は、他の学部と比べて必修授業が少ない分、多くの授業を自分で選択することができるのが魅力です。自分の専攻はもちろん、他の専攻の授業も受けて様々な知識を得ることができます。他の専攻の授業で学んだ知識と自分の専攻で得た知識につながりを感じたときは、とてもうれしいです。



文学部
宮地 朝子 教授
MIYACHI Asako
専門分野: 日本語学

VOICE 02 文学部 教員から

文学部の「文」とは何でしょうか。文芸だけでなく、文字で記されたあらゆる資料、さらに遺跡や図像、祭礼、組織など、人間の生み出す有形無形の文物や営みのすべてを象徴しています。「文」は人間を探究する格好の材料であり、その広がりが文学部の多様な分野・専門を構成しています。人間の生み出す文物は、人間を取り巻く環境を刻々と変化させ、人間にまつわる課題も更新していきます。私の専門とする日本語もメディアの発達や人間関係の多様化によって変化し続け、課題が尽きることはありません。人間の探究において、日常は解くべき課題の宝庫です。みなさんも人間の不可思議を見出しては解き明かす“人間の専門家”になってみませんか。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

※文学部は2022年度からカリキュラム及びコースを変更する予定です。詳細は決まり次第本学部ホームページで公表予定です。

■全学教育の授業が中心ですが、文学部でも、春学期に四つのリレー講義「人文学入門」があり、文学部のすべての分野・専門を覗くことができます。

	1	2	3	4	5
月		文系基礎科目 政治学	中国語1	理系基礎科目 情報リテラシー	
火	文系基礎科目 日本国憲法	人文学入門Ⅰ 「文芸言語学への招待」	健康・スポーツ 科学講義		英語(基礎)
水	英語(基礎)	健康・スポーツ実習Ⅰ (エアロビクス)			
木		文系基礎科目 文学	中国語2	基礎セミナーA	
金	人文学入門Ⅳ 「環境行動学への招待」	人文学入門Ⅱ 「歴史学・人類学への招待」	人文学入門Ⅲ 「哲学倫理学への招待」		

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



POINT 全学教育によって市民としての高等常識を身につけ、専門の学習のために必要な外国語を学び、また、基礎セミナーでは学習・研究の方法などを学びます。さらに、文学部の「人文学入門」をいくつか受講することによって人間研究の学問である人文学の全体像をとらえます。なお、1年次の秋学期には、文学部の専門科目として、現代社会に直面する諸問題と向き合うための基礎基盤科目としての「日本文化事情」「異文化理解」「人間と倫理」が開講されます。

■全学教育の授業と並行して学部の授業を受講し始めます。概論や語学や実習など、各分野・専門の基礎的な部分を重点的に学習します。また、社会との交流・相互作用を重視した学部共通実践科目「人文学の学生のための情報リテラシー」「生涯学習概論」なども開講されます。

【人文学科】

学位プログラム	コース	分野・専門
言語文化系	文芸言語学	言語学、日本語学、日本文学、英語学、英米文学、ドイツ語ドイツ文学、フランス語フランス文学(第1・第2)、中国語中国文学
	哲学倫理学	哲学、西洋古典学、中国哲学、インド哲学
歴史文化系	歴史学・人類学	日本史学、東洋史学、西洋史学、美学美術史学、考古学、文化人類学
環境行動学系	環境行動学	社会学、心理学、地理学

※この他、大学院人文学研究科には以下の分野・専門があり、学部向けの科目も開講されている。日本語教育学、英語教育学、応用日本語学、映像学、日本文化学、文化動態学、ジェンダー学

POINT 2年次から21の分野・専門の一つに所属し専門の授業が始まります。学科数は人文学科一つですが、上記のように、三つの学位プログラム・四つのコースに分けられており、各研究室が実施している授業は多岐にわたっています。各学生は自分の分野・専門を中心に学びますが、他の分野・専門の授業も自由に受講できます。

■文学部では卒業論文のテーマを学生自身で探るのが通例です。各自、テーマを模索しながら学習を進めていきます。



■4年生の初め頃までに卒業研究のテーマを決め、各研究室内で数回の中間報告をしながら卒業論文を作成していき、1月に提出します。

人間と文化を深く理解し社会に貢献する人

コース紹介 COURSE



※文学部は2022年度からカリキュラム及びコースを変更する予定です。詳細は決まり次第本学ホームページで公表予定です。



文学部研究室



■哲学

写真(アテネ・アカデミー、左プラトン、右ソクラテス)の言葉は、哲学(ピロソピア、原義は「知を愛し求めること」)を表す語が資料上現存する最古の例です。リュディア王クロイソスがソロンに向かい「あなたは知を求め(ピロソベオン)、多くの地域を旅してこられた」と言うのです。本研究室の特徴も、確かに、古今東西を問わず研究テーマを各自が自由に選び、知を愛し求め、その広大な領域を探索し続けている点にあります。



■美学美術史学

美術史学は読んで字のごとく美術品を通して人間の歴史を研究する学問です。美術は直接生活の役には立ちませんが、生活の必要から離れた自由な精神の活動の痕跡であり、生きることに追われるだけではない人間らしさの根拠がそこに見出されてきました。それ故、大学で学ぶ価値のあるものとして独立した研究室が設けられています。この研究室では、東西の美術品を幅広く扱い、美しい作品を見る喜びを通じて美術を通した歴史を考究しています。



■心理学

文学部心理学研究室では、多くの教員が神経画像や脳波による脳機能の研究をしています。また、動物や人間の行動を数学的モデルで表現し、コンピュータ・シミュレーションを行ったり、その妥当性を実験データにより検証したりする研究手法を採っています。教育においても、知覚、認知、学習、感情、意思決定、社会性などの、心理学における伝統的なテーマを、自然科学的な方法により探求する態度を重視しています。

文学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」・「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課さない)

学部・学科等名及び入学定員等	選抜期日	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
文学部 125人 推薦 15	11月19日	<p>A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意提出書類 次の①～⑥に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ①語学力を示す各種試験のスコア(TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC・HSK・中検・DELTA/DALF・仏検・Goethe-Zertifikat・独検等) ②国際バカロレアのスコア ③スーパーグローバルハイスクール(SGH)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)における活動 ④全国規模・地方規模の人文分野のコンテスト等への参加状況 ⑤科学オリンピック等の実績 ⑥その他各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等</p>	書類審査及び小論文・面接による選抜を実施し、第1次選考は、書類審査により行い、約30名を第1次合格者とす。第1次合格者に対して小論文及び面接を課し、総合的に選考して合格者を決定する。	11月1日～5日	12月1日

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			出願期間	合格発表日
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	2段階選抜 配点		
文学部 125人 前期 110	前期 2月25日 26日	国	国	200	国	国語総合・現代文B・古典B	実施しない 400 個別計1200 合計2100	1月24日～2月2日	3月9日
		地歴・公民	世B,日B,地理B,「倫・政経」から2	200	地歴	世B,日B,地理Bから1			
		数	数I・数Aと数II・数B,簿,情報から1	200	数	数I・数II・数A・数B			
		理	物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎から2	100	英	(「コミュニケーション英語I」・「コミュニケーション英語II」・「コミュニケーション英語III」・「英語表現I」・「英語表現II」の5科目をあわせて出題。)			
		外	英,独,仏,中,韓から1	200	外				
			(5教科8科目又は6教科8科目)	残り900					

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会・情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。 ※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。



教育学部

www.educa.nagoya-u.ac.jp

School of EDUCATION

人間の成長・ 発達科学の時代 ～人間発達科学へのアプローチ～

教育学部は、入学定員65名の比較的小規模な学部ですが、これに対して専任の教員は40数名を擁し、更に外部からの兼任教員も加わって、5つの特色あるコースごとに斬新なカリキュラムを開発しています。

急激に変化し国際化する現代社会の中で、創造性を生かし、積極的に取り組み、社会をリードできる人材を養成するために、少人数によるマンツーマン教育がそれぞれのコースにおいてなされています。

教員と学生のコミュニケーションがうまくいっているのも本学部の特長です。



人間発達科学科 4年
学校教育情報コース
菊地原 守 さん
KIKUCHIHARA Mameru
出身校：東京都 私立 麻布高校

VOICE 01 教育学部 学生から

名大教育学部では、教育学・心理学を学ぶことを通じて、人間の発達を多角的に捉える目を養うことができ、僕は学校教育における子どもの発達を学んでいます。具体的には、授業の音声記録から教師の発問に対する子どもの学びを考察したり、校則のもと教育的意義に着目したり、教師をどう養成していくべきか？という問いを制度面から考えたりしています。そして、こうした講義や研究を通じて、「良い教育」とは何か？という大きな問いを立て、研究をしています。

また、教育学部はその環境においても魅力にあふれています。例えば、一学年の人数が少ないため、先輩後輩間の関係が強いという特徴があります。さらに、専門性に富んだ先生方との距離も近いので、意見やアドバイスを頂く機会にも恵まれています。是非、教育学部で充実した4年間を過ごしてください。



教育学部
中谷 素之 教授
NAKAYA Motoyuki
専門分野：教育心理学

VOICE 02 教育学部 教員から

人工知能、ディープラーニングなどのテクノロジーが拡大し、一方で少子高齢化する日本。そして国家や民族により多様化、不透明化するグローバル社会。大きく社会が変化する現代にこそ、一人の人間が果たす役割は大きなものになる可能性があります。教育学部では、多くは少人数の授業や演習を通して、教えることと学ぶこと、そして広く人と人の関わり、人を育てるという営みに焦点を当て、学び、研究します。教育学、心理学のさまざまな最前線の領域から、深く教育と人間、社会について学びます。教育学部で、広く、そして深く、自分と社会のテーマに向き合い、未来の人間と教育のあり方について一緒に考えましょう。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■全学教育の授業が中心ですが、教育学部の専門基礎科目の講義があり、文字通り教育学や心理学の基礎・入門にあたり主に1～2年次で履修します。

1年次

	1	2	3	4	5
月	理系基礎科目	文系基礎科目	言語文化I	理系基礎科目	
火	全学教養科目 文系基礎科目		健康・スポーツ科学講義	基礎セミナーA	
水	人間発達科学入門	健康・スポーツ科学実習	理系基礎科目 情報リテラシー		
木	理系基礎科目	文系基礎科目	言語文化I		
金	人間発達科学III	言語文化I	人間発達科学IV	人間発達科学II	

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



POINT 教育諸科学の入門的学習／心理学の入門的学習／学び方の学習

2年次

■全学教育科目及び教育学または心理学の各領域に関する入門的学習・研究方法の学習を学びます。

生涯教育の原理と組織(生涯教育開発基礎論)

情報化社会と学校教育(学校教育情報基礎論)

国際社会における教育と文化(国際社会文化基礎論)

心理・教育の統計学(心理社会行動基礎論)

心理・教育のデータ解析(心理社会行動基礎論)

人間発達の心理学(発達教育臨床基礎論)

POINT 各専門領域の研究方法の基礎や実践的実習
2年次秋学期よりコースに仮分属(本分属は3年次より)

3年次

■教育学や心理学の専門領域の学習を学びます。また、問題意識や検討・整理を行います。

生涯教育開発コース

人間形成と発達の過程を規定する様々な要因について歴史・制度などの諸相から考えます。

- ・教育社会史講義 I-II
- ・教育社会史演習 I-II
- ・教育行政学講義 I-II
- ・社会教育学講義 I-II
- ・職業・キャリア教育学講義 I-II
- ・技術教育学講義 I-II

学校教育情報コース

情報化社会における学校生活や学校文化について参与観察やフィールドスタディを行います。

- ・教育情報学講義 I-II
- ・カリキュラム講義 I-II
- ・教育経営学講義 I-II
- ・教育経営学演習 I-II
- ・教育方法学講義 I-II
- ・教育方法学演習 I-II
- ・教師発達論講義 I-II
- ・教師発達論演習 I-II

国際社会文化コース

異文化に出会い、異文化の人々と語り合い相互理解を深めたり自文化を再発見するプログラムを行います。

- ・国際社会文化コース演習 I
- ・異文化間教育講義
- ・人間形成学講義 I-II
- ・教育人類学講義 I-II
- ・教育社会学講義 I-II
- ・比較教育学講義 I-II
- ・大学論講義 I-II

心理社会行動コース

人間の認知の機能や人格特性や行動について科学的にまた数値的に解明するプログラムを行います。

- ・心理計量学講義 I-II
- ・認知行動学講義 I-II
- ・パーソナリティ発達学講義 I-II
- ・社会行動学講義 I-II
- ・応用行動学講義 I-II
- ・心理行動科学実験演習

発達教育臨床コース

人間の成長と発達について、家族・学校・地域等といった生活空間から探求するプログラムを行います。

- ・生涯発達心理学講義 I-II
- ・発達援助臨床学講義 I-II
- ・家族発達臨床学講義 I-II
- ・学校臨床心理学講義 I-II
- ・医療臨床心理学講義 I-III
- ・心理行動科学実験演習

POINT 研究方法の学習／各専門領域の学習／各自が卒論テーマの模索・決定

4年次

■4年生の初め頃までに卒論の仮題目を設定し、秋頃に題目を決定・執筆します。12月下旬に卒業論文を提出します。

人間の成長・発達を支援できる人材

コース紹介 COURSE

教育学部 人間発達科学科

生涯教育開発コース

人間の教育は家庭から始まり、学校、社会を通じて生涯にわたるものです。このコースでは、人間形成と発達のプロセスを規定するさまざまな文化的・社会的要因について歴史、制度、地域社会、労働、技術などの様相から考えていきます。具体的には、教育社会史、教育行政学、社会・生涯教育学、技術教育学、職業・キャリア教育学といった領域から、アプローチをしていきます。

学校教育情報コース

高度情報化の時代、学校はどのような役割を担い、どのような期待に応えていくべきなのでしょう。このコースでは、情報化社会における学校教育の過程や構造について、実際の学校生活や学校文化について、参与観察やフィールドスタディを行いながら、人が成長し、その中で意味を求めていく姿を共に考えていきます。具体的には、教育情報学、カリキュラム学、教育経営学、教育方法学、教師発達論などの領域からアプローチをしていきます。

国際社会文化コース

現代社会は、複数の国家が結びつきを持つ国際化、「ヒト・モノ・カネ・情報」が国家・地域などの垣根を越えて地球規模でやり取りされるグローバル化が進んでいます。このコースは、異文化に出会い、異文化の人々と語り合い、相互理解を深めたり、同時に自文化を再発見し、自己を見つめ直すことを目的とするプログラムです。具体的には、人間形成学、教育人類学、教育社会学、比較教育学、大学論といった領域から、グローバルなレベルでの人間や教育の問題と一緒に考えていきましょう。

心理社会行動コース

私たちは、人やモノ、そして自分自身を、どのようにとらえているのでしょうか。このコースは、人間の認知や機能、人格特性について、社会的文化的文脈の中で、科学的かつ数量的に解明していこうというプログラムです。具体的には心理計量学、学習行動学、パーソナリティ発達学、社会行動学、応用行動学などの領域から、探求していきます。

発達教育臨床コース

人間が発達するのは、どのようなプロセス、どのような仕組みで可能となるのでしょうか。このコースでは人間の成長と発達について大きく2方向から探求しており、一方は誕生から老人にいたるまでの過程から、他方では家族・学校・地域・職場といった生活空間の広がりの中から考察します。具体的には、生涯発達心理学、発達援助臨床学、家族発達臨床学、学校臨床心理学、医療臨床心理学などの領域からアプローチをしていきます。



教育学部研究室



学校教育情報コース

教師発達論は、平成27年度、学校教育情報コースに新設されました。教師の本質に立ち戻り、「子どもと教師とともに成長する教師」「地域とともに育つ教師」という発想を大切に、教師教育のあり方を解明する研究領域です。具体的には、国内外の授業研究を通して、教科の専門性と教科外の専門性をどのように関連付けるべきか、あるいは、教師は知識人としてだけでなく、researcherやlearner, risk takerとしてどのように成長するののかについて研究しています。写真は、韓国の小学校で行われた比較授業分析会の様子です。



国際社会文化コース

教育人類学は、異なる文化の人々を理解し、同時に自文化を再発見することを目的としています。フィールドワークを通して、さまざまな文化に根づく人間形成のあり方や、その基底にある人間観・教育観を解明する研究領域です。学校教育だけでなく、教育を広い文化的文脈において捉え、複雑な意味づけのなかで育つ人間の総合的な理解を目指します。コースでは3年生を対象に海外での教育調査研究を実施しています。



心理社会行動コース

「やらなきゃいけないことはわかってるけど、やる気になれないなあ。」皆さんにもそんな経験があるのではないのでしょうか。「動機づけ」すなわちやる気の問題は、身近ながら簡単に解決できない、しかしうまく働けば高い充実感・達成感とともに成果につながる重要な心の働きです。当研究室では、子どものよりよい学びと育ちのあり方について、教育心理学、発達心理学、パーソナリティ心理学等の研究知見に基づいて、広い視野から実践的に学びます。

教育学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	選抜期日	大学入学 共通テストの 利用教科・ 科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
教育学部 65人 推薦 10	2月7日	一般選抜と 同じ	<p>A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意提出書類 次の①～⑦に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 教育学部のアドミッション・ポリシーに合致する活動、あるいは達成事項等で特筆すべきものについて志願者がまとめた書類 ② ボランティア活動等社会貢献活動の実績を証明する書類 ③ スーパーグローバルハイスクール(SGH)、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている学校において、SGHもしくはSSHに関連した特筆すべき活動や得たことを志願者がまとめた書類 ④ グローバルサイエンスキャンパス(GSC)における活動等について志願者がまとめた書類 ⑤ 外国語に関する高い語学力を証明する書類(TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK等) ⑥ 海外研修又は留学の事実を証明する書類 ⑦ 国際バカロレアのスコア</p>	提出書類及び 大学入学共通テスト の成績により 第1次選考合格者を 決定 第1次選考合格者に 対し、小論文及び 面接を実施し、 合格者を決定	1月18日 ～21日	2月9日

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			出願期間	合格発表日
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	2段階 選抜 配点		
教育学部 65人 前期 55	前期 2月25日 26日	国	国	200	国	国語総合・現代文B・古典B	600	1月24日 ～2月2日	3月9日
		地歴・公民	世B、日B、地理B、 倫・政経から1又は2	100 又は 200	数	数I・数II・数A・数B			
		理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、 地学基礎、物、化、生、地学から 1又は2(ただし、基礎を付した 科目×2科目で1とする。)	100 又は 200	英	英 (「コミュニケーション英語I」・ 「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・ 「英語表現I」・ 「英語表現II」の5科目をあわせて出題。)	600		
		数	数I・数Aと数II・数B、簿・情報から1	200	外		600		
		外	英・独・仏・中、韓から1	200			600		
			(5教科8科目又は6教科8科目)	200 又は 900			合計 2700		

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者は、普通教科「情報」として開講された科目(社会・情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。

※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。



模擬法廷教室にて

法学部

www.law.nagoya-u.ac.jp

School of LAW

法学部教育の特色

自由・闊達・進取の気風の下、少人数教育を実施しています。教員1名当たりの学生数は、1学年3名程度になっていますから、学生間および学生・教員間で親密な関係を構築できるとともに、割り当てられる時間の長さは、学問的探求度合いを高め、個々のポテンシャルを最大限に引き出すことを可能にしています。学ぶ内容も学生の自主性を尊重する「完全自由選択制」を採用しており、法学・政治学を問わず、自身の興味関心にそった履修科目をセレクトすることができます。単に「自由」というだけでは、その裏返しとして、「何をしたらよいのか」という不安が付きまとい、結果的に闊達・進取を阻害することにもなりかねません。法学部ではこうした不安を払しょくし、自分磨きに専心していけるよう、基礎から応用まできめ細かいカリキュラムを段階的・系統的に用意しています。また、こうした気風に支えられ、国際交流も盛んです。今や名古屋大学法学部は世界と繋がる日本の拠点校になっており、世界へ羽ばたく学生をサポートしています。



法律・政治学科 3年
三澤 みなみ さん
MISAWA Minami
出身校：茨城県立土浦第一高校

VOICE 01 法学部 学生から

名大法学部には必修授業はなく、幅広い選択肢の中から自分の目的に合った分野の授業を自由に選択できるのが魅力です。授業の中で実際に法曹として働いている方々のお話を聞く機会もあり、自分の世界を広げることができます。また、私が法学部に入ってよかったと思うことは、同じ目標を持った仲間と切磋琢磨しながら勉強に集中できる環境が整っていることです。2年次からは少人数のゼミの授業も始まり、日々他の学生から刺激を受け、自分を成長させることができます。他にも、奨学金などのサポートを受けて海外へ留学したり、法学部公認サークルに入って模擬法律相談を経験したり、やりたいことにチャレンジできる素晴らしい環境が整っています。皆さんも、法学部で充実した学生生活を過ごしてみませんか。



法学部
稲葉 一将 教授
INABA Kazumasa
専門分野：行政法

VOICE 02 法学部 教員から

私たちは、自由闊達な学風という名古屋大学法学部の伝統を守り、発展させようとしてきました。少人数教育といいますが、授業中でもその前後でも、学生と教員とが相互に質問し、応答できる環境があります。しかも、帰国後、重要な職に就くことになるアジア諸国からの優秀な留学生と一緒に学ぶことで、経済のグローバル化が生んでいる最先端の生きた問題を知ることができます。このような法学部を卒業後、法曹や研究者を養成するために設置された大学院で、さらに学ぶこともできます。これらの条件を活用することで成長し、社会の役に立つ人間になろうと望み努力する、そんな意欲ある皆さんを待っています。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■ 法学部科目のうち、基礎的・基本的な科目を学びます。
幅広い教養と知識を身につけるため、全学教育科目も学びます。

	1	2	3	4	5
月		文系基礎科目	第二外国語	理系基礎科目	
火	全学教育科目 文系教養科目	法学部専門科目 (現代日本の司法)	健康・スポーツ 科学講義		
水	法学部専門科目 (現代日本の外交関係論)	法学部専門科目 (法と政治の思想)	情報リテラシー(文系)		
木	理系基礎科目	文系基礎科目	第二外国語	基礎セミナーA(文系)	
金	英語(基礎)	法学部専門科目 (現代日本の政治と行政)	健康・スポーツ 科学実習I	情報リテラシー(文系)	

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



1年次

POINT 春学期には、4つの基礎的・入門的な法学部科目があります。秋学期には、憲法Ⅰと民法Ⅰという専門科目も登場します。全学教育科目の学習も、法と政治の理解を助け、深めます。基礎セミナーでは、主体的な学習方法を身につけます。

■ 法学部の専門的な科目の学習が本格的に始まります。少人数教育の演習(ゼミナール)も始まります。

[法律・政治学科]

学科は一つです。法律学を中心に勉強することも、政治学を中心に勉強することもできます。

- ・憲法Ⅱ・民法Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・国際法総論・刑法Ⅰ・Ⅱ・(日本・西洋)法制史・法情報学Ⅰ・Ⅱ・政治学総論
- ・日本政治史・国際政治史・行政学・演習 など

2年次

POINT 法学部の科目は、自主性を尊重した完全自由選択制です。卒業までの学習計画に基づいた、体系的な学習が求められます。ゼミナールでは、調査・発表と討論を通じて主体的に学習します。インターンシップも、授業の一環として行われており、就業体験を通じて今後の学習の指針や将来の進路を発見する機会となっています。

■ 各自の興味関心や進路との関係で、各科目の学習を深めます。
法学・政治学の専門的知識を身につけます。

- ・国際法各論Ⅰ・Ⅱ・商法Ⅰ・Ⅱ・行政法Ⅰ・Ⅱ・労働法
- ・民事訴訟法・刑事訴訟法・知的財産法・法哲学
- ・外国法(コモンロー、ロシア法、中国法等)・法社会学
- ・政治過程論・国際政治学・演習 など



3年次

■ 卒業論文の執筆は推奨されますが、必須ではありません。
卒論執筆の場合は、ゼミナールの教員から指導を受けます。

法曹養成のための「5年一貫教育」を実施する「法曹コース」が2019年度入学者から設置されました。入学後に所定の手続きをとってこのコースに登録し、必要な条件を満たせば、3年間で卒業し、法科大学院の既修者コース(2年間)に進学することができます。

4年次

大局的見地から総合的な判断のできる人材

コース紹介 COURSE

法学部の授業は大きく6つの分野に整理されており、どの分野の科目でも自由に選択して学ぶことができます。



法学部研究室



■民事法

民事法は、私たちが生活の中で生じる様々な関係、例えば、契約違反、交通事故、医療過誤、結婚・離婚などの紛争を解決するために手がかりとなる法律です。法学の特徴の一つは、「ルール」による解決を目指すという点にあります。そのため、目の前にある事件だけを見ているのでは最適な解決とは言えないのが難しいところであり、かつ面白い点でもあります。民事法学の研究室では、実際の事件を素材として、裁判所がどのような解決をしているか、果たしてそれは望ましいルールと言えるのか、などについて自由闊達に議論することを通じて、望ましい社会のルールとは何かを考えます。



■政治学

政治学では、理論や思想、歴史、事例分析、比較、国際関係など、様々な視点・方法で「政治」を研究します。政治とは、日常的な感覚から語ることもできるものです。しかしそれは、政治を政治学の視点・方法で見ることとは異なります。政治学研究室では、政治学の視点・方法を身につけるために、講義を通じて基礎知識を修得しつつ、演習(ゼミ)において、文献や資料の講読と議論、時には現地調査を通じて、各自の研究テーマを見つけ、発展させていきます。



■外国法(ロシア法)

外国法研究は、外国とその法についての理解を深め、自国の法を相対化して捉える視点を養うことができます。研究対象は、ロシア法。ロシアは私たちの隣国で、名古屋から極東の玄関口ウラジオストクまでの距離は、札幌までの距離とほぼ同じです。ヨーロッパとアジアの間で自分のアイデンティティを模索し、市場経済に異を唱えるユニークな歴史を反映した彼の地の法の研究を通じ、私たちの隣人の素顔に迫ろうと日々苦闘しています。

法学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」・「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名及び入学定員等	選抜期日	大学入学共通テストの利用教科・科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
法学部 150人 推薦 45	2月7日	一般選抜と同じ	A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書 B 任意提出書類 次の①～④に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語力を示す各種試験のスコア(TOEFL・英検・IELTS等) ② 数学オリンピック・科学オリンピック等での実績 ③ 国際バカロレアのスコア ④ スーパーグローバルハイスクール(SGH)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)における活動 ⑤ その他、各種活動状況、表彰、資格に関する証明書等	提出書類及び大学入学共通テストの成績により第1次選考合格者を決定。第1次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定。	1月18日～21日	2月9日

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			出願期間	合格発表日	
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	2段階選抜 配点			
法学部 150人 前期 105	前期 2月25日 26日	国	国	200	数	数I・数II・数A・数B	実施しない	200	1月24日～2月2日	3月9日
		地歴・公民	世B,IB,地理B,【倫・政経】から2	200		英 (「コミュニケーション英語I」・「コミュニケーション英語II」・「コミュニケーション英語III」・「英語表現I」・「英語表現II」の5科目をあわせて出題。)				
		数	数I・数Aと数II・数B,簿,情報から1	200						
		理	物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎から2	100						
		外	英,独,仏,中,韓から1	200						
			【5教科8科目又は6教科8科目】	200						
		900	個別計 600 合計 1500							

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。

※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。



経済学部

www.soec.nagoya-u.ac.jp

School of ECONOMICS

経済のメカニズムを 解明し、将来を担う 人材を育成する

現在、世界各地で地域紛争、貧困、環境破壊などの深刻な問題が生じています。また、国内でも、巨額の財政赤字、医療、少子高齢化、女性の社会進出など、急速で大きな構造変動に直面しています。経済学・経営学を学ぶということは、私たちが生活している社会や、働いている組織について、その構造や変化の仕組みを解明しようとすること、そして、より豊かな生活のために、このような問題を解決しようとすることです。経済学部は、経済学科と経営学科からなり、経済理論、経済政策、経済史、経営学、会計学などの分野で多数の優れた教員を擁し、これらの分野の様々な問題の研究と教育に取り組んでいます。経済学部では、はじめの2年間で基礎的な科目を修得して「基礎的分析力」を、残り2年間で少人数のゼミナールにおける主体的勉学を通じて「自主的探求力」を身につけること、そして、将来を担うグローバルな人材を育成することを目指しています。



経営学科 3年
田邊 ひかり さん
TANABE Hikari
出身校：愛知県立千種高等学校

VOICE 01 経済学部 学生から

経済学部の魅力は、特徴と個性のある教授が多くいらっしゃるのだと思います。“考える”ことに重きが置かれたミクロ経済学を始めとして、1年次から学び方の最先端を感じる講義を受講できました。また、社会人経験のある教授や、実務の世界で活躍されている方々による講義もあり、経済学・経営学に留まらない学びを得ることもできます。大学での学びは新しいことが多く、自分が本当に学びたいことが見つけられると思います。私自身、経済学を学ぶために大学へ進学しましたが、今では、会計と経営に関するゼミナールに所属し、経済学の勉強も続けています。このように、学科を問わず学びを深められる点も、経済学部の魅力だと感じています。大学入学後には、大学案内を読んでいる時の想像を遥かに超える、たくさんの可能性が待っています。ぜひ、経済学部で充実した大学生活を満喫してください。



経済学部
福澤 直樹 教授
FUKUZAWA Naoki
専門分野：西洋経済史

VOICE 02 経済学部 教員から

名古屋大学経済学部は、前身の名古屋高等商業学校から数えて今年で100周年を迎えています。この間に産業界や官界、また学会にも実に多様な人材を輩出し、その諸姉・諸兄には大いに活躍をしてもらっています。皆さんにも、社会の諸現象のメカニズムや構造を論理的に認識できるよう、これまで培われてきた教養を意欲的に学び取ってもらいたいと思います。本当の基礎から応用に至るまでのカリキュラム、少人数編成のゼミナールとそこでの議論の機会、充実した図書室と資料室、多様な海外留学プログラムなどが皆さんに開かれています。また経営学や会計学なども含んだ広範の経済学には、おそらく皆さんの想像以上に多様な分野があります。知的好奇心を全開にして飛び込んでみてください。待っています。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■全学教育として開講される文系、理系それぞれの基礎科目・教養科目(含、情報リテラシー)、および言語文化、基礎セミナーなどを履修します。

月	1	2	3	4	5
火	文系基礎科目 全学教養科目	文系基礎科目 健康・スポーツ 科学実習	英語以外の外国語 健康・スポーツ科学講義	理系基礎科目	英語
水	会計I	統計解析	情報リテラシー		
木	理系基礎科目	文系基礎科目	英語以外の外国語	基礎セミナーA	
金	経済数学A	経済数学B		英語	

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



POINT

経済学はもとより、それ以外の人文・社会科学、さらには理系の基礎科目・教養科目を履修。広い学問的思考の基盤を培い、また基礎セミナーでプレゼンテーション能力を養います。秋学期には選択必修の専門基礎科目の履修が始まります。

■主に1年次秋学期から始まる選択必修の専門基礎科目に加え、重点的に履修する専門科目、また関連専門科目の履修を開始。専門科目は学科によって異なります。

【専門基礎科目】・マクロ経済学 ・ミクロ経済学 ・計量経済 ・政治経済学 ・一般経済史 ・会計 ・経営 ・財務諸表

2年次

【経済学科】

個々の経済活動の論理や一国あるいは国際レベルで展開する経済動態を分析する各種の経済理論、それを応用した経済政策研究、またその動態の基盤や人々の経済活動の背景を分析する経済史、社会思想史などから構成されます。

【経済学科の専門科目】・財政 ・金融 ・農業経済 ・国際経済

【経済学科の関連専門科目】・管理会計 ・財務会計 ・マーケティングなど

【経営学科】

企業活動を対象に戦略組織、マーケティングなどを考究する経営学の諸分野、企業活動の良否を測定、伝達したり、それを経営管理に役立てたりする会計学の諸分野などから構成されます。

【経営学科の専門科目】・経営戦略 ・経営組織 ・国際会計 ・ファイナンス

【経営学科の関連専門科目】・公共経済 ・経済学史 ・現代資本主義 など

【経済学科・経営学科双方の専門科目】・労働経済 ・産業組織

【経済学科・経営学科双方の関連専門科目】・経済数学 ・情報処理 ・統計解析 ・経済発展 ・大学生のための職業論 など

■専門科目、関連専門科目を引き続き履修。また少人数ゼミナールで個別専門領域への考察を一層深めていきます。

【ゼミナールの主な専門領域】・財政 ・農業経済 ・国際経済 ・環境経済学 ・計量経済学 ・開発経済学 ・金融論 ・日本経済史 ・西洋経済史 ・政治経済学 ・経済学史 ・社会思想史
生産管理 ・経営組織 ・経営戦略 ・財務会計 ・管理会計 ・経営分析 など

POINT

2年次から3年次にかけては経済学部の専門科目・関連専門科目を中心に講義を履修します。また3年次以降は1学年原則8人までの少人数ゼミナールに各学生が配属され、専門的かつ、きめ細かな指導を受け、それを4年次の卒業論文作成につなげていきます。

4年次

■引き続き専門系科目を履修するとともに、卒業論文の作成に向けてゼミナールごとに集中的に指導を行います。

確かな社会認識と高度な専門知識で社会を担う

コース紹介 COURSE

経済学部

経済学科

経済学は誕生以来、経済成長が国家の力の増大や社会秩序の維持、人間の幸福の増進に役立つと考え、国家単位での経済の動きを大局的に見て経済政策を学問的に研究してきました。その後、時代と共にテーマが変わり、19世紀以降は限られた資源をうまく選択して最大の結果を得ようという考え方が学問の中心となり、21世紀には社会学・心理学・法学などの関連する他の人文社会科学と協力して人間関係を深める方向に向かっています。社会の中から絶えず立ち上がってくる課題に対し、解決の道を探して考え抜くこと。そこに経済学を学ぶ意義や楽しさもあると言えるでしょう。当学科では、財務・金融・農業経済・国際経済・公共経済・経済学史・現代資本主義などの学習を進めながら、社会問題の解決の一端にも触れていきます。

経営学科

複数の人間が集まる組織の下では、個人が単独で活動するよりも、より少ない資源で、より多くのものを産出できることがあります。経営学ではそのような効率化の実現を目指し、組織内外の相乗強化を発揮させる組織運営について考えます。難しいのは、過去に大きな成果を生んだ行動を学習して同じことを試しても、必ずしも同様の成果が得られるとは限らないこと。これが唯一最善という方法はなく、時と場合により最善の方法は変化していきます。組織が置かれた状況・環境について熟慮した上で行動を選択することが重要です。当学科では行動選択のために必要な知識として経営戦略・経営組織・国際会計・ファイナンス・管理会計・財務会計・マーケティングなどの学習をしていきます。



経済学部研究室



■経済学科 立石ゼミナール

立石ゼミでは、意思決定理論およびゲーム理論の基礎研究を通じ、社会に直面した主体の合理的・限定合理的な行動分析と、その背後に横たわる主体の推論様式の研究をとりおこなっております。学部ゼミでは、もう少し広い視点から理論経済学・数理経済学上の様々な論題、およびそれら経済の理論分析をとりおこなう上で必要となる数学上の分析用具の整備について、ゼミ生と年間を通じて議論をしていくという形式をとっております。



■経営学科 宮崎ゼミナール

宮崎ゼミでは、「現代社会において企業は本当に必要か?」という素朴な疑問を大切にしながら、経営管理論・経営戦略論・経営組織論など経営学分野の諸理論について勉強していきます。3年次には、文献学習によって基礎的な理解を深めます。同時に、起業家向けのビジネスプラン・コンテストに参加して、習得した知識を実践的に活用します。4年次では、ゼミ生が自ら設定した課題について調査研究を実施し、卒業論文を完成させます。



■経済学科 藤田ゼミナール

藤田ゼミでは、理論と実証の両面から現実問題にアプローチする分析力・思考力を身につけることを目標としています。3年春学期では一つの事業がもたらす経済波及効果やCO2排出量などを測定できる産業連関分析という実証手法を習得します。また秋学期では理論分析の一環として「効率と公正の関係」を題材にした専門書をベースに両者がどのような条件の下で両立するかを考察します。ゼミで得られた知見を4年時に共同論文としてまとめ、インゼミで報告したり、キタン会懸賞論文に応募したりしています。

経済学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名及び入学定員等	選抜期日	大学入学共通テストの利用教科・科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
経済学部 205人 推薦 40	2月7日	一般選抜と同じ	<p>A 提出を求められるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意提出書類 次の①～④に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語力を示す各種試験のスコア(TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC等) ② 国際バカロレアのスコア ③ スーパーグローバルハイスクール(SGH)、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)、グローバルサイエンスキャンパス(GSC)における活動を証明する書類 ④ その他各種活動状況、表彰、資格を証明する書類</p>	提出書類及び大学入学共通テストの成績により第1次選考合格者を決定 第1次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定	1月18日～21日	2月9日

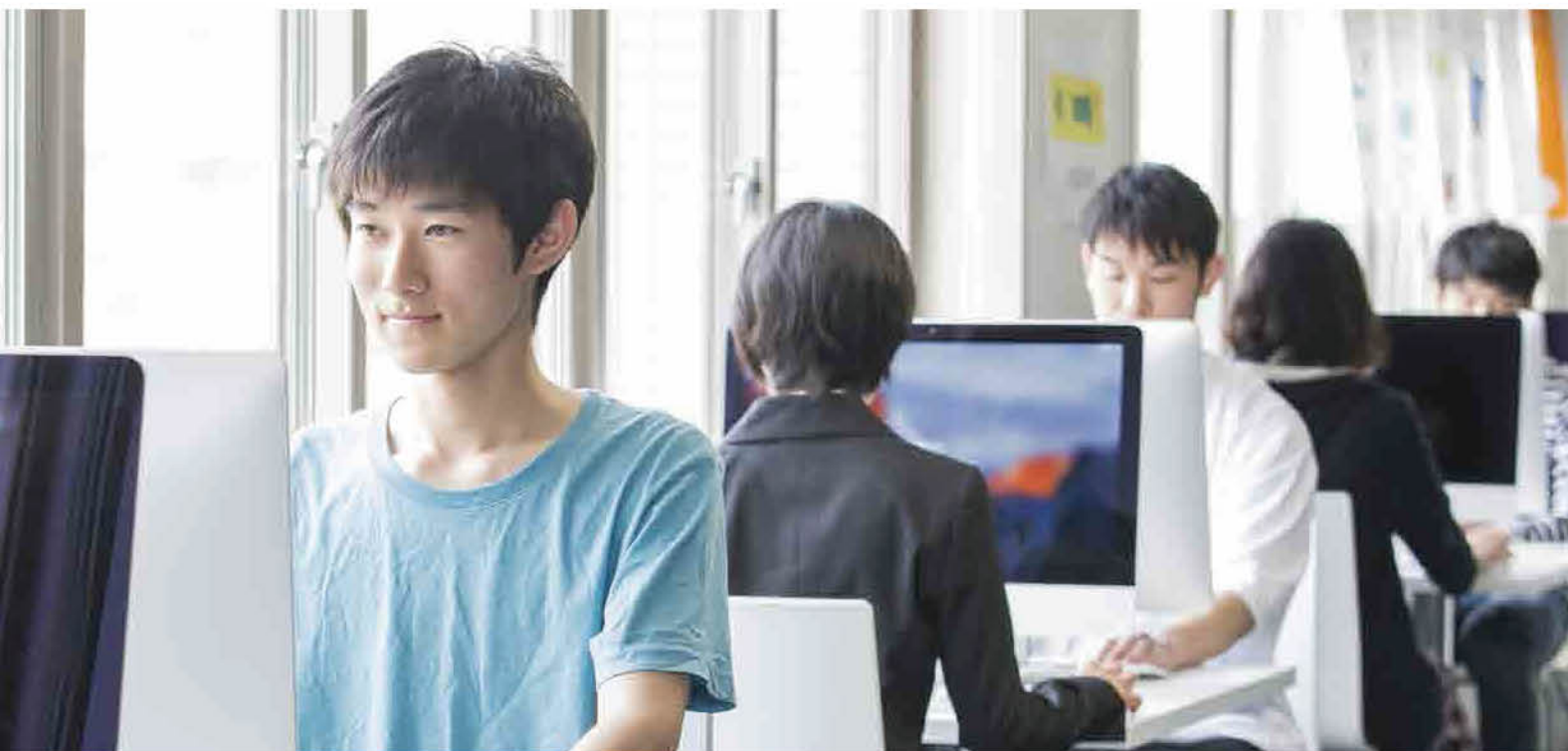
※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		出願期間	合格発表日	
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等			2段階選抜 配点
経済学部 205人 前期 165	前期 2月25日 26日	国	国	200	国	国語総合・現代文B・古典B	実施しない 500	1月24日～2月2日	3月9日
		地歴・公民	世B、日B、地理B、「倫・政経」から2	200	数	数I・数II・数A・数B			
		数	数I・数Aと数II・数B、簿、情報から1	200	外	英 〔コミュニケーション英語I〕・ 〔コミュニケーション英語II〕・ 〔コミュニケーション英語III〕・ 〔英語表現I〕・ 〔英語表現II〕の5科目をあわせて出題。〕			
		理	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2	100					
		外	英、独、仏、中、韓から1	200					
		(5教科8科目又は6教科8科目)	総計 900			合計 1500 2400			

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者は、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。

※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。



情報学部

www.i.nagoya-u.ac.jp

School of INFORMATICS

情報学は サイエンス&テクノロジー

情報学は科学の発展と技術の進化を牽引し新しい価値を産み出す。

情報学は サイエンス&コミュニケーション

情報学は科学の発展とコミュニケーションの深化を牽引し新しい価値を産み出す。

複雑化・多様化する現代社会が直面する問題を発見・解決する知識・思考・技術を身につけ、人類の未来、社会のあり方を探求し、新しい価値を創造する人材を育成します。そのために、製品やサービスを社会に実装し、さらにユーザからの評価を新たな設計・製造に循環的につなげる「実世界データ循環学」や人工知能化された未来社会における、情報を介した人間と社会の幸福の実現を目指す「ポジティブ情報学」等のプロジェクトを推進しています。



人間・社会情報学科 2年
吉田 麻里子 さん
YOSHIDA Mariko
出身校：京都府 私立 同志社高校

VOICE 01 情報学部 学生から

もともとコンピュータに興味があった私は、文理の壁を超えた学びに魅力を感じ、名古屋大学情報学部に入學しました。今は特に、情報技術と社会の関係に関心を持って学んでいます。例えば1年次では、学部の先生の研究分野に関連して情報学の最先端の授業を受けることができます。情報学部全体の授業では、学科を超えて様々な意見が集まり、より広い視野で学習内容を深めることができます。現在キャンパスライフのあり方は変わりつつありますが、情報学部では対面授業に加え、様々なオンラインプラットフォームを活用した活気ある授業で期待した学びを十分に得ることができています。インターネットを使ったコミュニケーションが不可欠になった現在、情報学の重要性が高まっています。皆さんも、名古屋大学情報学部で情報学に何ができるかを考えてみませんか。



情報学部
枝廣 正人 教授
EDAHIRO Masato
専門分野：コンピュータ科学

VOICE 02 情報学部 教員から

情報技術が社会に果たす役割は近年ますます大きくなり、私たちの生活を変えてきました。例えばインターネット上の検索エンジンや、SNSは人の知識獲得手段やコミュニケーションスタイルを変えました。近い将来には、人間の知能を超える人工知能、一般道でも自動運転可能な自動車、家電製品など全てのモノがインターネットで接続された世界も実現することでしょう。一方で、複雑な情報システムは、人間や社会における様々な問題を引き起こす可能性もあります。情報学部は、情報社会の健全な発展のために、自然、人間、社会、技術を、情報という観点から総合的に教育・研究する学部です。情報を活用して新しい価値を創造するチャレンジ精神を持った学生の皆さんの入学を期待しています。

情報学部の特色

■学科横断の専門基礎教育 人類の直面する課題の解決・新しい価値の創造につなげるために、文系・理系の境界を越えた立場から情報学を幅広く学んだ、広い知識と視野をもった融合型人材を育成します。

■専門性と総合性を加味した専門教育 自然情報学科、人間・社会情報学科、コンピュータ科学科の3学科において、それぞれに特徴的で先端的な専門性を深めます。それと同時に自分の専門領域を異なる専門領域とつなげて考察し発想する総合性を身につけます。

■柔軟なカリキュラム編成とクォーター制の導入 1・2年生において、主に情報学の基礎知識を身につけ、3年生から専門を決めていくレイト・スペシャライゼーションの考えを導入しています。1年間を4期で構成するクォーター制を採用、海外留学やインターンシップに参加しやすくなります。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■情報学に関わる幅広い分野の基礎を学びます。

教養教育院によって実施される全学教育科目に加えて、学部共通の専門基礎科目として、「スタートアップ科目群」、「情報科学技術の基礎となる科目群」、「自然や社会をシステムとして理解する基礎となる科目群」、「論理的に課題を発見・解決するための基礎となる科目群」を設けています。

1・2年次

- ◎スタートアップ科目群
「インフォマティクス1~4」(情報学の学問を学ぶための入り口となる基礎科目)
「情報の挑戦者・開拓者たち」
(情報学を学んだ学生に社会でどのようなことが求められているのかを理解する科目)
- ◎情報科学技術の基礎となる科目群
「情報セキュリティとリテラシー1~2」、「プログラミング1~2」、「アルゴリズム1~2」、「情報理論」等
- ◎自然や社会をシステムとして理解する基礎となる科目群
「情報システムとしての自然1~2」、「心の科学」、「情報と国際社会」等
- ◎論理的に課題を発見・解決するための基礎となる科目群
「論理学1,2a,2b,2c」、「意思決定」、「データマイニング入門」、「社会調査」、「問題解決・課題解決の科学1~2」等

[転学科]

転学科しても単位取得しやすいうように、カリキュラム編成を配慮しています。転学科の決定の際には、大学入試の得点や、高等学校や大学での単位取得状況を考慮します。

3・4年次

■専門分野を深く学ぶとともに社会と関係性をもつための科目を学びます。

各学科に、専門分野の教育や卒業研究指導を行うための2つの系を設置しています。学部3、4年次生は、いずれかの系に属し、専門性をさらに深めていきます。

<p>[自然情報学科]</p> <p>・数理情報系 ・複雑システム系</p>	<p>[人間・社会情報学科]</p> <p>・社会情報系 ・心理・認知科学系</p>	<p>[コンピュータ科学科]</p> <p>・情報システム系 ・知能システム系</p>
----------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------------------

[留学プログラム]

長期休暇を利用した留学、数週間から1学期間、1年間まで、様々な目的や行き先の留学プログラムが選べます。

<主なプログラム>

1. 全学交換留学プログラム
世界180校以上に広がる学びの場、学内選考は年3回(6月、10月、1月)留学期間は1学期間~1学年間
留学先:アジア、北米、欧州、豪州など全世界に大学・大学院・研究所など提携機関~総数180機関以上
2. 短期研修プログラム
長期休暇を利用、協定大学で学ぶことのできるプログラム。ニーズにあったプログラムを選択(語学研修~インターンシップ)
留学期間は数週間~1か月程度 留学先:アメリカ、イギリス、インドネシア、オーストラリア、タイなど

<留学サポート> 国際教育交流センター海外留学部門において、専任教員による留学指導、語学対策講座の企画立案を始め、渡航前オリエンテーション(海外旅行保険、渡航準備、危機管理)を実施しています。

[企業へのインターンシップ]

企業でのインターンシップや企業と連携した実習に参加できます。一定の条件を満たせば、社会とのインタラクションの科目であるProject Based Learning(PBL)の単位として認定します。



コース紹介 COURSE

情報学部

自然情報学科

人間・社会情報学科

コンピュータ科学科



自然情報学科

自然現象や社会現象のデータ分析と数理モデル化、スーパーコンピュータを用いたシミュレーションとデザインなど情報科学の理解を通して、新たな画期的な発見と、人類が直面する様々な課題、自然や生命にかかわる深刻な問題の解決に貢献できる人材を育成します。数理情報系と複雑システム系の2つの教育系から構成されています。

数理情報系

複雑システム系



人間・社会情報学科

情報学を駆使して人間の心理や知覚・感覚、コミュニティやマーケットなどの仕組みを解明できる能力を身につけるとともに、その成果によって、一人の人間、人と人との関係性、社会のあり方を総合した「コミュニケーション」を革新し、新しい価値の創造を実現できる人材を育成します。社会情報系と心理・認知科学系の2つの教育系から構成されています。

社会情報系

心理・認知科学系

情報システム系

知能システム系



コンピュータ科学科

コンピュータやネットワーク、人工知能(AI)や音声画像処理などの情報科学技術を専門的に学びつつ、社会や自然に対する理解力を持つことで、情報科学技術を活用した新しい機器、システム、サービスなどの創出や、新たな価値を創造していく人材を育成します。情報システム系と知能システム系の2つの教育系から構成されています。

情報システム系

知能システム系

自然現象や社会現象のデータ分析と数理モデル化、スーパーコンピュータを用いたシミュレーションとデザインなど情報科学の理解を通して、新たな画期的な発見と、人類が直面する様々な課題、自然や生命にかかわる深刻な問題の解決に貢献できる人材を育成します。数理情報系と複雑システム系の2つの教育系から構成されています。

数理情報系では、主に数理学、数理論理学、最適化理論、量子情報学に力を置き、自然・社会・人工物など実世界から得られたデータを分析する数理アルゴリズムを扱います。

複雑システム系では、複雑系理論とスーパーコンピュータを使ったシミュレーションやデザインなどを扱い、計算科学、物質情報学、生命情報学、システム科学、データサイエンス等に力を置いた教育を行います。

情報学を駆使して人間の心理や知覚・感覚、コミュニティやマーケットなどの仕組みを解明できる能力を身につけるとともに、その成果によって、一人の人間、人と人との関係性、社会のあり方を総合した「コミュニケーション」を革新し、新しい価値の創造を実現できる人材を育成します。社会情報系と心理・認知科学系の2つの教育系から構成されています。

社会情報系では、社会情報学、情報哲学・倫理、メディア研究、社会学等を主として学んでいくことになるため、情報科学技術と社会のよりよい関係を構築できる人材を教育することが期待されている研究分野です。

心理・認知科学の基礎である、個・社会・文化、進化、脳、計算モデル等、多様な階層・観点から人間の特性を捉える概念枠組みを学ぶとともに、実験・調査、データ解析、シミュレーション等により人間の認知や心理を定量的に理解・解明・予測するスキルを修得します。さらにこのスキルを活用し、人間にとって魅力的な環境(モノ・サービス・制度等)を創造する能力、及び、現代・未来社会における諸問題をエビデンスにもとづいて分析・解決できる能力を涵養します。

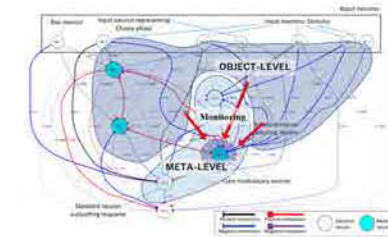
コンピュータやネットワーク、人工知能(AI)や音声画像処理などの情報科学技術を専門的に学びつつ、社会や自然に対する理解力を持つことで、情報科学技術を活用した新しい機器、システム、サービスなどの創出や、新たな価値を創造していく人材を育成します。情報システム系と知能システム系の2つの教育系から構成されています。

情報システム系では、コンピュータシステムの動作原理や情報システムの構築技術、情報ネットワーク技術に重点をおいて教育を行います。これにより、情報システムを創造するための情報科学技術とセキュリティに関する知識や能力を養成し、複雑化・重層化するITインフラ等を活かしてニーズに応じた最適な情報システムを設計するITアーキテクトや、情報システムのセキュリティを担うリーダー的人材を育成します。

知能システム系では、機械学習、映像や音声・言語等のマルチメディア処理技術、知能システム技術等に重点をおいた教育を行います。これにより、知能システムを創造するための実世界のデータ化と解析、人間とのインタフェースに関する知識や能力を養成し、既存技術やツール・フレームワークなどを有機的に組み合わせて新たな製品を素早く生み出すフルスタックエンジニアや、公共サービスにイノベーションをもたらすリーダー的人材を育成します。



情報学部研究室



■自然情報学科 有田研究室

コンピュータの中で進化実験を行うことにより、仮想生物の体構造、行動、そして、心の進化シナリオを追究して、「自分とはいったい何者なのか?」を解き明かそうとしています。また、その成果をもとに「心をもつ人工知能」の実現を狙っています。さらに、そのような先進的な人工知能が実現した社会における幸福を目指す「ポジティブ情報学」を哲学者や心理学者たちと連携して推進しています。写真は、入力されたものを記憶し、かつ自分が記憶しているかどうかを判断できる(メタ記憶)ように進化した人工ニューラルネットワークです。



■人間・社会情報学科 中村研究室

グローバル社会になり、リアルタイムで情報が国境を越えて共有される国際社会において、国際的にやり取りされる情報は国内外の世論形成にどのようなインパクトを与えるのか、それは政策にどのように反映されるのかなどを、国際関係論の枠組みを使って研究しています。研究成果は論文や書籍として発表するほか、グローバルメディア研究センターでシンポジウムや国際会議を随時開催し、研究の最前線で活躍する国内外の研究者をお招きしてフィードバックを得、研究協力の国際的ネットワークを構築させるよう努めています。写真は、国際シンポジウム「グローバル社会と日本」(2016年、研究センター主催)での一コマです。



■コンピュータ科学科 間瀬研究室

画像処理、ヒューマンインタフェース技術、機械学習、行動認識、マルチモーダル状況認識、ユビキタス・ウェアラブルコンピュータ、e-textileなどの基盤技術の研究開発を行っています。これらの基盤技術は、体験記録・要約・共有、e-コーチング、ライフログ、ヘルスケア、高齢者支援など実社会に役に立つ人間支援の知的メディア技術の実現に役立つとともに、人間のコミュニケーション能力の理解に貢献します。写真は、サッカーの試合映像に対する視線配布の違いを分析してコーチング技能の評価をする実験映像です。

情報学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名及び入学定員等	選抜期日	大学入学共通テストの利用教科・科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
自然情報学科 38人 推薦 8	2月6日	一般選抜と同じ	A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書 B 任意提出書類 次の①~③に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 外国語の能力 英語やその他の外国語の能力を示すスコア (TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・独検等) ② 国際標準の入学資格 国際バカロレアのスコア ③ その他 各種検定の認定証 国際規模、全国規模、地方規模のコンテストにおける入賞を証明する書類 社会的活動での活躍を証明する書類	提出書類及び大学入学共通テストの成績により第1次選考合格者を決定 第1次選考合格者に対し、面接を実施し、合格者を決定	1月18日~21日	2月9日
人間・社会情報学科 38人 推薦 8						
コンピュータ科学科 59人 推薦 6						

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者が当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		出願期間	合格発表日	
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等			
情報学部 前期 113	前期 2月25日 26日	国 地歴・公民 数 理 外	国	国	200	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	2段階選抜 実施 しない	400 300 400 1100 合計 2000
			地歴・公民	世B、日B、地理B、「倫・政経」から1	100		「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」,「地理基礎・地理」から1		
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿・情報から1	200		英 (「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出願。)		
人間・社会情報学科 前期 30	前期 2月25日 26日	国 地歴・公民 数 理 外	国	国	200	数 理 外	世B、日B、地理B 数Ⅰ・数Ⅱ・数B	2段階選抜 実施 しない	400 700 1100 合計 2000
			地歴・公民	世B、日B、地理B、「倫・政経」から2	200		英 (「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出願。)		
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿・情報から1	200				
コンピュータ科学科 前期 53	前期 2月25日 26日	国 地歴・公民 数 理 外	国	国	200	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B	2段階選抜 実施 しない	500 500 300 1300 合計 2200
			地歴・公民	世B、日B、地理B、「倫・政経」から1	100		「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」,「地理基礎・地理」から2(ただし「物理基礎・物理」を含むこと。)		
			数	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿・情報から1	200		英 (「コミュニケーション英語Ⅰ」・「コミュニケーション英語Ⅱ」・「コミュニケーション英語Ⅲ」・「英語表現Ⅰ」・「英語表現Ⅱ」の5科目をあわせて出願。)		

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。

※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。



理学部

www.sci.nagoya-u.ac.jp

School of SCIENCE

自然科学の フロンティアへ

～自然界を貫く真理を解き明かす～

理学とは、研究者の知的好奇心と自由な発想によって、自然界を貫く真理を追求する学問です。名古屋大学理学部では、自然の諸原理を追求する基礎自然科学の推進に向けて、「知の創造：研究」と「知の継承：教育」を重要な使命としています。

自然界には数多くの謎が隠されています。自然界の謎や疑問を解明して行く過程で、試行錯誤を繰り返し、未知の世界を解明して行きます。この自然界の謎を解き明かしたときの興奮と感動が、私たちを理学研究に駆り立てる大きな原動力です。ここ名古屋大学理学部には、研究テーマに自らの発想を駆使して挑み、のびのびと研究が進められる自由な雰囲気や伝統があります。研究対象のキーワードは、数学、素粒子、宇宙、地球、物質、生命などで、これらの研究分野で世界をリードする研究が行われています。自然の謎や疑問を知り、知的好奇心を刺激するテーマに向かって研究ができる場所、それが名古屋大学理学部です。



数理学科 4年
北川 夏芽 さん
KITAGAWA Natsume
出身校：徳島県立城ノ内高等学校

VOICE 01 理学部 学生から

名大理学部の特徴として、学科分属が二年次に行われることが挙げられます。自分とは異なった分野に興味を持つ友人たちに囲まれながら、自然科学について幅広く学べる一年次は、大変刺激的かつ有意義な一年間でした。二年次以降では各学科に配属され、専門的な学びを深めていくことになります。名大数理学科では、一・二年次向けのフレッシュマンセミナーや、数理自習室での学年の壁を超えた学生同士の交流など、いわゆる「縦のつながり」が強く、自分も先輩方にお世話になりながら学んでいます。このような環境は他ではあまりないのではないのでしょうか。学問に対する志をもって名大理学部へと来た皆さんと共に学べることを、楽しみにしています。



理学部
森島 邦博 准教授
MORISHIMA Kunhiro
専門分野：素粒子宇宙物理

VOICE 02 理学部 教員から

理学は、好奇心をエンジンに様々な理論的なアイデアや実験技術などを駆使して自然の真理を解き明かす学際的な学問です。私の研究では、素粒子や宇宙線の実験技術を用いて開発したイメージング技術によりエジプトのクフ王ピラミッドの内部探査を行い、その中心部に未知の空間を発見しました。この文理融合研究の成果は、考古学の専門家にとっても予期せぬもので、ピラミッドの謎に迫る成果として世界的にも大きな話題となりました。研究の現場では、些細な気付きからこのようなインパクトのある発見まで毎日のように生み出されており、理学部はそれを実感できる魅力的な場所です。名古屋大学の理学部に入学する皆さんの好奇心から生まれる新しい研究を楽しみにしています。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■数学や理科の基礎科目、人文社会系の教養科目、外国語など、高度な知識人に相応しい教養を身に付けます。1年終了時に、希望や成績などから各学科への配属を決定します。

	1	2	3	4	5
月	数学演習I	数学展望I	英語(基礎)	地球科学基礎I	
火	情報リテラシー(理系)	朝鮮/韓国語I	物理学実験	物理学実験	
水	化学基礎I	線形代数I	基礎セミナーA		
木	経済学A	朝鮮/韓国語II	健康スポーツ科学実習(ゴルフ)	微分積分学I	
金	健康スポーツ科学講義	物理学基礎I	生物学基礎I		

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



POINT 1年次は学科に属さず、全学共通教育を受講します。

■2年次からは、全学教育に加えて、各学科での専門教育が始まります。

[数理学科]

定員55名

基礎力と広い視野を重視した教育理念のもと、高度で奥行きのある学びの広い世界を構築します。

- 集合と写像
- 位相と距離 位相空間
- 線形代数 線形空間と線形写像/行列の標準形
- 微分積分学
- 複素関数論 複素関数の微積分/複素関数論の基礎
- 計算機数学 情報科学の基礎
- 確率・統計基礎

[物理学科]

定員90名

自然界を貫く単純で普遍的な真理の追究、素粒子・宇宙や物質、生物すべての理解を目指します。

- 解析力学
- 電磁気学
- 量子力学
- 数理物理
- 統計物理
- 物理学演習

[化学科]

定員50名

物質科学の分子レベルでの理解と新展開を目指し、それに必要な基礎を体系的に深く学びます。

- 分析化学
- 有機化学
- 有機化学
- 生物化学
- 物理化学
- 量子化学

[生命理学科]

定員50名

生命現象を遺伝子やタンパク質細胞などの働きから理解することを目指します。

- 基礎遺伝学 I・II・III
- 基礎生化学 Ia-b・IIa-b・IIIa-b
- 基礎細胞学 I・II
- 基礎生理学 Ia-b
- 基礎生物物理学 Ia-b
- 基礎生物学演習 I・II

[地球惑星科学科]

定員25名

地球と惑星の起源と進化そして現在の姿を様々な角度から明らかにすることを目指します。

- 地球ダイナミクス
- 構造地質学
- 地球生物学
- 地球環境学
- 地球惑星物理学概論
- 地球惑星化学 I

POINT 2年次以降は、少人数演習やセミナーを多く取り入れた専門科目を各学科ごとに受講。また、実験系では、実験技術を学ぶために多くの時間を費やし、いずれの分野も、最新の研究成果を含んだ教育を行っているのが特徴です。

■これまで学んだ基礎的知識の上になって、各専門分野の進んだ知識を習得できるように、対象・課題探求に重点を置いた専門科目などが配置されています。

<ul style="list-style-type: none"> 群論/環論 群論の基礎/環論の基礎と多項式 曲線と曲面 曲線・曲面論の基礎 微分方程式入門 測度と積分 ルベグ積分と測度論の基礎 微分形式とその積分 関数解析入門 	<ul style="list-style-type: none"> 量子力学 統計物理 物性物理 生物物理 素粒子物理 宇宙物理 	<ul style="list-style-type: none"> 有機化学特論 生物化学特論 無機化学特論 生物無機化学 物性化学 計算化学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 分子遺伝学 Ia-b・IIa-b 生化学 Ia-b 細胞学 Ia-b 分子生理学 Ia-b 発生学 Ia-b 分子生物学演習 I 	<ul style="list-style-type: none"> リモートセンシング 生化学II 太陽系物理学 フィールドセミナー 海洋科学 気象学
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■4年次は各研究室に配属され、卒業研究に取り組みます。卒業後、一部の学生は就職しますが、多くの学生は大学院へ進みます。(3年次秋学期から研究室に配属される学科もあります。)

大局的見地から総合的な判断のできる人材

コース紹介 COURSE

理学部

数理学科

物理学科

化学科

生命理学科

地球惑星科学科

数学は自然科学における共通言語としてそれらの学問の発展に不可欠なものであり、近年では社会科学においても重要な貢献を果たすようになってきました。数学の発展が他分野の発展に貢献したり、逆に他分野からの刺激が新たな数学の芽生えを促し大きな発展につながることもあります。数学の創造活動とは、誰も踏み込んだことのない荒野に道を切り拓くようなものであり、数学を原理に立ち返って理解しようとする姿勢や積極的に想像に参加する態度が求められます。

数学は体系的な学問のため、1~3年次には研究に不可欠な基礎力を養成し、4年次に専門分野の基礎学習と卒業研究を行います。アドバイザー教員の指導のもと、自立的に学習を進め、自身の理解した内容を学生同士で発表し合い討議を行うことで、理解を深め、論証能力や表現能力を高めることができます。

物理学とは「私たちがとりまく自然がどのようにできていて、そこではどのような現象が起きているのか？」を、観測と実験を繰り返して調べる、その奥を貫く基本的法則=理(すじみち、ことわり)を追求する分野です。化学と物理は境界が重なりながら、工学と物理はお互いの発展が新しい研究につながりながら、物理学と隣接する諸科学とは境界がなく発展し続けています。本学科では、そのような物理学の最先端にふれる講義や演習が充実しています。また、学部生・大学院生によって構成される物理学教室学生委員会があり、月に一度開かれる「物理学教室教育委員会」に参加して学生の立場から意見を述べています。大学の教育制度や運営に参加するシステムは他学科ではなく、民主主義を重んじる物理学教室の特色となっています。

化学は、物理学・生物学・地学などの理学各分野と密接に関連しながら発展し、工学・農学・医学・薬学などの応用分野の基礎となってきました。現代の化学はさらに進んで、物質科学と生命科学の広い学術分野に対しての基礎としても重要な役割を担っています。本学科では、優れた研究業績を挙げているスタッフが在籍し、原子から分子や結晶などがいかに形成されるか、物質にはどんな存在形態があるかなどをはじめとして、無機物質、有機物質、生体物質にわたる種々の物質の合成、分析、構造、物理的・化学的性質、反応について総合的な基礎教育を行っています。新しい時代の化学者を、そして化学を通して社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

生物を分子細胞システムの構造と機能から統合的に理解しようとする生物学が進展しつつあります。この新しい生物学は、物理学・化学・地球科学・数学などの他の自然科学分野にも波及すると同時に、それらの一部も取り込んで、極めて学際的な学問分野となってきています。さらに、バイオテクノロジーの言葉で象徴されるように、現代生物学は医学・薬学・農学・工学など応用分野の基礎となっています。

このような生物学の急速な進展の中で、本学科では常に独創性の高い国際的な研究レベルを誇り、数多くの成果と多くの分野でのリーダーを生み出してきました。新しい分野で世界をまたにかけて活躍する若い人達の育成を目指しています。

地球惑星科学とは、地球や生命の進化を他の惑星と比較しながら明らかにする学問分野です。地球惑星科学科では、物理学、化学、生物学、地学、数学といった複眼的な手法や視点から自然界の現象を取り扱う講義・演習・実験・実習を行っています。対象となる題材も固体地球や惑星を対象とした狭義の地球惑星科学のみならず、海洋科学、気象学、生態学、環境学まで幅広く地球惑星を扱っています。

地球惑星科学科の教育の最大の特徴は野外実習です。実際に地球で過去に起こったことや現在起こっていることを山や河川、海洋にて観察をします。これにより講義だけでは理解が難しい内容を、実際に接することで深く理解することを目的としています。このような地球惑星科学科の教育を通して、自然災害や環境問題など自然と人間の関わりに関与できる人材の育成を目指しています。

理学部研究室

■数理学科 白水研究室

時空を支配する一般相対論はリーマン幾何学とアインシュタイン方程式により記述されています。本研究室ではこれらを駆使し、ブラックホールや宇宙の数学的側面に焦点をあてて研究を行っています。強い重力場中で成り立つ幾何学的不等式や、時空のエネルギーの性質、高次元ブラックホールの分類などがあげられます。卒業研究ではブラックホール時空の大域的構造の理解を目標とし、進行の度合いに応じて最前線の研究にも触れてゆきます。

■物理学科 素粒子論研究室

素粒子論研究室では、物質の起源、基本的相互作用の起源、さらには時間・空間そのものの起源など、自然界のもっとも根源的な法則を理論面から追及しています。CP対称性の破れを説明する小林・益川機構、ヒッグス粒子の存在を予言した素粒子質量の起源を説明するヒッグス機構の検証が進められ、素粒子標準模型は完成を迎えつつあり、現在は標準模型を超える新物理の解明へと向かっています。このような学問を進展させるためには、独創的な発想に富んだ若い研究者が常に求められます。

■化学科 生物有機化学研究室

DNAやRNAといった核酸は生命の設計図であり、私たちの体をどのように作り、制御するのかといった情報を保存している化学物質です。生物有機化学研究室では有機化学を利用して核酸を合成しその特性を評価しています。特に天然の核酸よりも優れた特性を持つ人工核酸を開発し、様々な分野への展開を行っています。昨年、コロナウイルスワクチンを初めとする核酸を利用した医薬品は注目を集めており、当研究室でも最先端の核酸化学を駆使して医療応用を目指しています。

■生命理学科 植物生理学グループ

植物は根を生やした土地から動けず、悪環境の中でもじっと我慢しているようにみえます。しかし実際には、とても巧妙な環境変化への応答システムを持っていることがわかってきています。私たちは植物の環境応答のモデル細胞として知られる気孔孔辺細胞を材料に、その仕組みの分子レベルでの解明を目指しています。さらに、その成果を活用し、環境問題や食糧危機の植物を用いた解決を目指しています。

■地球惑星科学科 地質・地球生物学 講座

地質学、岩石学並びに地球生物学で取り扱う長時間スケールでの地殻・マントル変動と大陸形成、地球環境・地球生命環境の変遷と生命の進化に関する教育・研究を行っています。具体的には、海と陸のフィールドワークや岩石・鉱物の精巧な機器分析などの研究手法を通じて、地質学的岩石学的教育・研究を行うとともに、生物とこれを取りまく地球環境との相互作用及びそれらの進化を解明する地球生物学的教育・研究を行っています。

理学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」「学生募集要項」本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名及び入学定員等	選抜期日	大学入学共通テストの利用教科・科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
理学部 270人 推薦 50	2月7日 (面接選考の受験有資格者のみ)	一般選抜と同じ	<p>A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意提出書類 次の①~③に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 優れた英語力を示す各種試験(TOEFL・IELTS・TOEIC・英検・GTEC等)の成績を証明する書類 ② 国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③ 高等学校等で行った課外活動等の実績(スーパーグローバルハイスクール(SGH)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)における活動状況、グローバルサイエンスキャンパス(GSOC)における活動状況、数学オリンピック・物理オリンピック・化学オリンピック・生物学オリンピック・地学オリンピックへの参加状況、全国規模・地方規模の科学分野のコンテスト等への参加状況等)を証明する書類</p>	提出された志願理由書、推薦書、調査書及び任意提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考し、約25名の合格者(面接選考を免除された合格者)を決定。また、書類選考の結果、合格者とならなかった者のうちから面接選考の受験有資格者を決定。面接選考の受験有資格者となった者に対し、口頭試問による面接を実施し、面接及び提出書類並びに大学入学共通テストの成績により総合的に選考し、約25名の合格者を決定。	1月18日 ~21日	2月4日 (書類選考) 2月9日 (面接選考)

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		出願期間	合格発表日		
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等			2段階選抜	配点
理学部 270人 前期 220	前期 2月25日 26日	国	国	200	国	国語総合・現代文B(古文・漢文を除く。)	実施しない	150	1月24日 ~2月2日	3月9日
		地歴・公民	世B、日B、地理B、[倫・政経]から1	100	数	数I・数II・数III・数A・数B		500		
		数	数I・数Aと数II・数B、簿・情報から1	200	理	[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]、[生物基礎・生物]、[地学基礎・地学]から2(ただし、[物理基礎・物理]、[化学基礎・化学]のいずれかを含むこと。)		500		
		理	物理、化学、生物、地学から2(ただし、物理、化学のいずれかを含むこと。)	200	英	[コミュニケーション英語I]・[コミュニケーション英語II]・[コミュニケーション英語III]・[英語表現I]・[英語表現II]の5科目をあわせて出題。		300		
		外	英、独、仏、中、韓から1	200	外	[コミュニケーション英語I]・[コミュニケーション英語II]・[コミュニケーション英語III]・[英語表現I]・[英語表現II]の5科目をあわせて出題。		1450		
		[5教科7科目]	500			合計 2350				

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。

※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。

43 GUIDE TO NAGOYA UNIVERSITY 2022

GUIDE TO NAGOYA UNIVERSITY 2022 44



医学部 医学科

School of MEDICINE www.med.nagoya-u.ac.jp

未来を支える医学、医療の開拓

名古屋大学医学部はその源を尾張藩校に発し、150年の歴史と約13,000人の卒業生を誇る日本でも最古の医学部の一つであるとともに、21世紀の日本を支える医学・医療の拠点として活動しています。

名古屋大学医学部の活動は、4つの理念にまとめられています。その要点は、1) 人類に寄与する先端医学研究と医療技術の創成、2) 医の倫理を尊重し、人類の幸福に貢献する人材の育成、3) 地域社会、我が国及び世界の医療の向上、4) 医学研究・医療の中核として開かれたシステムの構築、であります。我々は、医学・医療を通じて社会に貢献することに深い使命感を持ち、国際的な視点を持って活動できる若い諸君の参加を願っています。



伊藤 陽香さん
Iwano Yoko
出身校: 大阪府立天王寺高等学校

VOICE 01 医学部 医学科 学生から

名大医学部で学んで、プラスアルファの充実を実感しています。ラボツアーや研究室配属体験、実践的な医学英語の授業、留学生との合同講座など、入学直後から研究活動や留学に役立つスキルアップに取り組む機会が本当に豊富です。継続的に取り組めば留学・学会発表・大学院進学も支援を受けて挑戦することができます。幅広い進路を応援してくれる名大は、目指したいものを見つけ実現することのできる場所です。私たちはお互いに刺激し合いながら、それぞれの将来像に向かって日々励んでいます。また医学部の部活動も盛んで、私自身弓道部に所属し、他大学との交流や、東西の医科学生が集う全医体での入賞経験を通じて学業以外の場面でも充実した学生生活を送っています。



木村 宏 教授
Murai Hiroshi
専門分野: フォルム学

VOICE 02 医学部 医学科 教員から

1~2年生は主に東山キャンパスで、教養教育の根幹をなす全学教育科目の講義・実習を受けます。この期間には、介護や看護の体験実習や、シャドウイングと言って現場で働く医師に影のように付き添って医師の一日をつよきにみてもらうカリキュラムもあります。クラブ活動など課外活動も奨励しており、将来優秀な研究者/医師になるために、人間的な成長も期待しています。3年生からは鶴舞キャンパスで基礎・社会・臨床医学を学びます。3年生後半の基礎医学セミナーは、半年間にわたって研究室に配属され、一流の基礎研究者の指導の下医学研究の醍醐味を味わってもらうもので、名古屋大学独自のものです。4年生の冬からベッドサイドで実際に患者さんに接して実際に臨床医学を学ぶ臨床実習が行われます。6年生の冬に、医師国家試験に合格すれば、あなたは晴れて「医師」となります。

医学部医学科 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	選抜期日	大学入学共通テスト の利用教科・科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
医学部・医学科 107人 推薦 12	2月7日	一般選抜と 同じ	A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書 B 任意提出書類 次の①~⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語力を示す各種試験のスコア(TOEFL, IELTS, 英検等) ② 国際バカロレアのスコア ③ スーパーグローバルハイスクール(SGH)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)における活動状況 ④ グローバルサイエンスキャンパス(GSC)における活動状況 ⑤ 科学研究に関する活動を積極的かつ継続的にし、その成果や活動を客観的に示すことができるもの(例えば生物学オリンピック出場歴等)	提出書類及び 大学入学共通テスト の成績により 第1次選考合格者を 決定 第2次選考合格者に 対し、和文と英文の 課題を設定し、 プレゼンテーションと 口頭試問による面接を 実施し、合格者を決定	1月18日 ~21日	2月9日

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志願と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合は必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		出願期間	合格発表日
		教科	科目名等	教科等	科目名等		
医学部・医学科 107人 前期 90 後期 5	前期 2月25日 26日 27日	国	国	国	国語総合・現代文B(古文・漢文を除く)	*1 1月24日 ~2月2日	3月9日
		地歴・公民	世・日・B.地理B.【倫・政経】から1	数	数I・数II・数III 数A 数B		
		理	物理・化学・生物から2	理	【物理基礎・物理】、【化学基礎・化学】、 【生物基礎・生物】から2		
	後期 3月12日	外 (5教科7科目)	英 【コミュニケーション英語I】、【コミュニケーション英語II】、 【コミュニケーション英語III】、【英語表現I】、【英語表現II】の 5科目をあわせて出題。	外	英 【コミュニケーション英語I】、【コミュニケーション英語II】、 【コミュニケーション英語III】、【英語表現I】、【英語表現II】の 5科目をあわせて出題。		
		(前・後期共通)	その他	その他	英文の課題に基づいた面接(口頭試問)	*1	3月22日

*1 医学部医学科の2段階選抜については、大学入学共通テストの成績が900点満点中700点以上の者を第1段階選抜の合格者としてとします。
※「簿記 会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。
※学校推薦型選抜及び後期日程の募集人員は、暫定的な医学部定員増への延長申請予定分を含んでおり、変更があります。
※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■1年生は主に「全学教育科目」を履修します。専門科目としては、医学への動機付け等を目的とし、「医学入門」を履修します。

全学教育科目 ・教養科目 ・基礎科目 **医学入門** 人間性・倫理性、科学的論理性を備え、創造力・独創性に富む医師、医学研究者を養成します。

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

POINT 「医学入門」は、次の三つの柱から構成されます。
①医学と医療について、医師になるための心構え、医の倫理についての講義。
②早期体験実習として、介護実習、看護実習及びシャドウイングの実習。
③医学生物学の基礎。

■2年生になると全学教育科目と並行して、「基礎医学」の講義と実習を履修し、3年生秋学期から「基礎医学セミナー」を履修します。

基礎医学 ・人体器官の構造 ・生体の機能 ・生体と薬物 ・病因と病態 ・生体と微生物 等 **基礎医学セミナー**

POINT 「基礎医学」、「社会医学」、「臨床医学」の三つに大別される医学専門科目が本格的に始まります。特に「基礎医学セミナー」では、最前線の研究を進めている基礎講座の研究室に2~4名ずつ配属され、指導教員のもと実験・研究を実践し、科学的思考法を体得します。

■4年生になると「社会医学」の講義と実習、及び「臨床医学」の講義、チュートリアル、基本的臨床技能実習を履修します。

社会医学 ・人の死と生命倫理・法 ・環境・労働と健康 ・疫学と予防医学 ・保健医療の仕組みと公衆衛生 ・社会医学実習 等 **臨床医学** ・内科学・神経内科学講義 ・外科学・胸外科科学講義 ・整形外科科学講義 ・産婦人科学講義 ・眼科講義 ・精神医学講義 等

■4年生の冬から実際に患者さんに接して臨床医学を学ぶ臨床実習が始まります。

臨床実習

医の倫理を尊重し、人類の幸福に真に貢献する

授業紹介

全学教育科目 全学の協力によって幅広い知識を習得し、豊かな教養と人間性を培います。理系基礎科目、基礎セミナー、文系教養科目、理系教養科目、言語文化科目、開放科目の受講を推奨しています。

医学入門 医学への動機づけ、医師としての将来を考える機会づくりを目的としており、入学直後の4月から始まります。

基礎医学 講義と実習を通じて、人体の構造や機能の正常と異常について学びます。病理学実習のうち、病理前部結果に基づく問題点の議論をして病気の理解を深める臨床病理学実習は5年生になってから行われます。

基礎医学セミナー 講義室を完全に離れ、最前線の研究を進めている基礎講座(社会医学講座・環境医学研究所各部門・総合保健体育科学センターを含む)に身を置いて、生の研究生活を体験します。

社会医学 社会医学系の講義・実習では、人々の健康が社会の富や様々な社会的活動によって影響を受けていることを学び、自ら考え行動する力を伸ばします。

臨床医学 臨床科目(内科・外科・小児科など)の講義とチュートリアルおよび基本的臨床技能実習を行います。チュートリアルは臨床症例について多角的に考え討論する学習法です。実習では医師面接、身体診察、縫合、手洗い、心肺蘇生、採血などの主に技能が関係した学習項目を集中的に学びます。

臨床実習 実際に患者さんと接して臨床医学を学びます。6,7名のグループに分かれて名大附属病院の全科を1~2週間ずつ回ります。その後、学外関連病院での臨床実習も体験します。

医学部 医学科 研究室

■脳神経内科学 運動ニューロン病やパーキンソン病などの神経難病を中心に、さまざまな脳神経の病気の治療法開発を目指して研究を行っています。細胞・動物モデルを用いた基礎研究と、患者さんから得られるデータを用いた臨床研究、さらには基礎研究で得られた成果を臨床試験で検証する実用化研究(トランスレーショナルリサーチ)を進めています。それぞれの研究分野で世界をリードすることを目指し、留学や国際共同研究を通じて、国内外の研究拠点とも積極的に連携しています。

■免疫学 免疫学は近年基礎的研究が最も花開いた学問の一つで、研究成果の臨床応用が進んでいます。免疫系は微生物に対する感染防御機構として進化し、ヒトを含めた高等脊椎動物では巧妙な仕組みが構築され、それにより感染、炎症性疾患や自己免疫疾患のみならず、がん、神経、心血管、代謝性疾患などの様々な病態に関わっています。当教室では免疫応答の制御機構について先端的な研究を行っています。特にがんに対する免疫応答の抑制機構を解析することで、がん及びがんの進展過程での免疫系の関わりを明らかにし、がん免疫療法へと臨床応用を進めています。

■予防医学 予防医学分野では疫学研究(病気の分布-いつ、どこで、どんな人にとりやすいのか-)を調査し、分布を決める要因を統計学的方法により探求を行っています。病気の生物学的原因は未解明であっても、病気の予防は可能だからです。たとえば喫煙により、がんのリスクが高まることがわかれば、その仕組みはわからなくても、禁煙によってがんの予防は可能です。現在は大規模な追跡調査により、要因として、生活習慣などに遺伝的体質を組み合わせた検討をしています。



医学部 保健学科

School of MEDICINE www.med.nagoya-u.ac.jp

次世代の保健医療を担う専門家へ

少子高齢・多死社会が進む現代では医療現場が大きく変貌しています。保健医療についても、病気の予防医療や、移植・再生・遺伝子治療など高度先進医療への対応とともに、緩和ケアや終末期医療までを見据えた患者・家族の生活の質を重視する包括的なケアが求められています。

平成9年に医学部保健学科が開設され、平成14年から大学院博士前期課程(修士)を、平成16年から大学院博士後期課程(博士)を有する基幹大学として、21世紀の医学・医療を支える高度医療専門職を育成すべく教育・研究に励んでいます。本学科に入学して、次世代の保健医療を担う専門職業人への道を歩みませんか。



医学部保健学科(保健学科卒業)M1
総合保健学専攻
(看護学専攻卒業)
相澤 里佳 さん
AZAWA Rika
出身校：愛知県立一宮高等学校

VOICE 01 医学部 保健学科 学生から

私の専攻する看護学において、看護を提供する際には科学的根拠に基づいて必要ですが、まだまだ十分な根拠がないものも数多くあります。私は、患者様に日々安全な医療を提供するためには科学的根拠の確立は必要不可欠であると考え、科学的根拠の確立に寄与できるようにするために大学院で学んでいます。名古屋大学には、皆さんが興味を持ったことについてさらに専攻してくれる個性豊かな先生方が沢山いらっしゃいますし、学習の環境も整っています。勉強だけでなく、部活動やサークル活動も充実しており、他の学部や専攻の学生とも交流することが出来ます。皆さんも、名古屋大学で同じ志を持った学生と保健医療について4年間学んでみませんか。



医学部 保健学科
石川 哲也 教授
ISHIKAWA Kenji
専門分野：生化学、一般検査学

VOICE 02 医学部 保健学科 教員から

私自身は医師ですが、保健学科の教員になって気がついたことがいくつかあります。まずは、学生のポテンシャルが高いこと。高度医療は、高度な知識を持った様々な医療専門職の連携による「チーム医療」によって実現されます。保健学科には「チーム医療」の将来を担う人材とそれを育てる環境が揃っています。次に、様々なバックグラウンドを持った教員により、多様な研究が行われていること。やりたい研究は必ず見つかりますし、研究者への道も拓けています。さらには立地です。大幸キャンパスから東山(全学)、鶴舞(医学科)へのアクセスは悪くありません。幅広く最先端の知識・技術を吸収することが可能です。ぜひ、保健学科で一緒に勉強しましょう。

医学部保健学科 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」・「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名及び入学定員等	選抜期日	大学入学共通テストの利用教科・科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
看護学専攻 80人 推薦 35	2月7日	一般選抜と同じ	A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書 B 任意提出書類 次の①、②に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語力を示す次の試験のスコア(TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC) ② グローバルサイエンスキャンパス(GSC)における活動を示す書類	提出書類及び 大学入学共通テストの成績により 第1次選考合格者を決定 第1次選考合格者に対し、 口頭試問による面接を実施し、 面接及び提出書類並びに 大学入学共通テストの成績により合格者を決定	1月18日 ~21日	2月9日
放射線技術科学専攻 40人 推薦 10						
検査技術科学専攻 40人 推薦 15						
理学療法学専攻 20人 推薦 7						
作業療法学専攻 20人 推薦 7						

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者が当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			出願期間	合格発表日	
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	2段階選抜			配点
看護学専攻 80人 前期 45	前期 2月25日 26日	国	国	200	国	国語総合・現代文B(古文・漢文を除く)	実施 しない	150	1月24日 ~2月2日	3月9日
放射線技術科学専攻 40人 前期 30		地歴・公民	世B、日B、地理B、「倫・政経」から1	100	数	数I・数II・数III・数A・数B		500		
検査技術科学専攻 40人 前期 25		数	数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1	200	理	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」から2		500		
理学療法学専攻 20人 前期 13		理	物理、化学、生物から2	200	英	英 〔「コミュニケーション英語I」・「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・「英語表現I」・「英語表現II」の 5科目をあわせて出題。〕		500		
作業療法学専攻 20人 前期 13		外	英、独、仏、中、韓から1	200	外			1650		
		〔5教科7科目〕		900			合計	2550		

※「簿記・会計」及び「情報処理基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学省の指定を受けた専修学校の高等課程の履修(見込)者に限ります。なお、「情報処理基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として履修された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。
※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

1 年次	<p>■ 自立した学習能力を身につけるとともに基礎学力や技能を養う全学基礎科目を中心に、1年生から専門基礎科目も導入します。</p> <p>全学教育科目 教養科目 基礎科目</p> <p>しっかりと知識・技術に根ざした「医の心」を理解する心優しい医療人を育成します。 ※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。</p> <p>POINT 保健学の対象が人間であることから、人類の活動の所産である人文・社会・自然科学の全般にわたって調和の取れた勉強が必要であることは当然ですが、コミュニケーションに必要な正しい国語や英語の基礎学力の修得が望まれます。</p>
2 年次	<p>■ 全学教育科目と併せて、各専攻の専門科目を理解するのに必要な専門基礎科目を中心として基礎的な知識を学びます。</p> <p>専門基礎科目</p> <p>解剖学 公衆衛生学 医療安全管理学 社会福祉学 保健薬理学 放射線生物学 検査管理総論 保健医療概論 他</p>
3 年次	<p>■ 各専攻の専門科目のうち中核的な科目を学び、実験・演習等により、より深い研究への導入を図ります。</p> <p>専門科目</p> <p>看護学専攻/看護援助論 他 放射線技術科学専攻/核医学診断技術学 他 検査技術科学専攻/臨床生理検査学 他 理学療法学専攻/運動器理学療法学 他 作業療法学専攻/作業学 他</p>
4 年次	<p>■ 専門科目では、3年生までに学んだ基礎知識を基に各専門の臨床(臨地)実習や卒業研究を行います。</p> <p>POINT 4年生では、これまでに学んだ知識を基に各専攻毎に実習病院・実習施設での臨床(臨地)実習を行います。なお、国家試験に向けた勉強も行わなければならない。また、大学院への進学を希望する者は、並行して受験勉強を行います。</p> <p>専門科目</p> <p>看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻</p>

医の倫理を尊重し、人類の幸福に真に貢献する

コース紹介 COURSE

看護学専攻

看護学専攻は、学部レベルの教育では高い倫理性と国際性を備えた保健医療の専門職である看護師(保健師)を養成しています。また、大学院では高度実践専門職(がん看護、THP:トータルヘルスプランナー)の育成、世界に通じる教育研究職の育成(博士前期課程、博士後期課程)を行っており、将来のさらなる発展を目指す意欲的な皆様をお待ちしています。

放射線技術科学専攻

近年の医療技術、医療機器の進歩は著しく、画像診断、放射線治療における、放射線技術学の役割はますます重要になっています。画像診断には、X線撮影、X線CT、MRI、超音波、核医学機器に加え、これらを組み合わせた機器開発も進んでいます。本専攻では、急速に進歩するこれらの画像診断・放射線治療の現状に対応できる診療放射線技師を育成するとともに、専門領域の教育・研究者の育成を目指しています。

検査技術科学専攻

検査技術科学専攻では、高度な専門知識を基に「臨床・管理・政策立案等」でリーダーシップを発揮し得る医療従事者(高度専門職業人)の養成を進めるとともに、学際的かつ先駆的な研究によって臨床検査学分野における学術研究を推進する優れた研究者・教育者の養成に重点を置いています。現代保健医療の諸問題の解決に向けた研究開発マインドをもった指導の高度医療人を養成します。

理学療法学専攻

理学療法学専攻は教員と学生が授業や実習を介して交流の盛んな専攻です。各学年には担当教員が付き、学生生活全般をサポートする制度をとっています。また、理学療法の理論的裏付け、学問としての体系化を進めるために、科学的論理的な教育に重点を置いており、特に2年後期から4年生に実施される卒業研究には全専攻教員が力を注いで指導を行っています。

作業療法学専攻

作業療法学は、作業や生活を科学的に捉えて治療・支援を行う実践的な学問です。本専攻では、脳機能と行為の関係や援助技術の開発、地域生活に密着した臨床研究などの専門性豊かな教員と取り組む卒業研究や短期海外研修を通して、高度な専門性と国際性を身につけた作業療法士の育成を目指します。また、保健・医療・福祉の領域に大きく貢献する未来の研究者とリハビリテーション領域の高度医療人への道を応援します。



工学部

www.engg.nagoya-u.ac.jp

School of ENGINEERING

創造を未来の技術へ

工学部は7学科からなる、名古屋大学の中で最も大きな学部です。工学における全ての科学技術分野に対応した学科構成としており、入学するとまず数学・理科の基礎を根本から学び、社会・人文系の学問にもふれます。少人数のセミナーで自立的な学習能力を養い、英語を中心とした語学、専門科目の学修を経て、将来必要とされる英語力、創造力や問題解決力を養います。世界各国から来た大勢の留学生もともに学んでいます。

今、「どの学科を選ぶか」が皆さんの関心事ではないでしょうか。将来何になりたいか？よく考えて下さい。それぞれの学科に特徴がありますが、どこでも幅広く活躍できる若きプロフェッショナル・リーダーの育成、これが国際的教育・研究拠点である名古屋大学工学部のミッションです。実際、学部卒業生の80%以上が大学院へ進学し、最先端の施設・設備に支えられて、世界をリードする研究を行います。

この環境に恵まれたキャンパスで、個性を伸ばして創造力をかりたて、世界へ羽ばたいてください。



工学研究科(工学部卒業) M1
博士前期課程有機・高分子化学専攻
(化学生命工学科卒業)
藤森 春佳 さん
FUJIMORI Haruka
出身校: 滋賀県立彦根高等学校

VOICE 01 工学部 学生から

名大工学部では、学部1,2年時に、教養科目、基礎科目と幅広い分野の講義を受け、学年をあげるにつれ、徐々に専門科目の講義が増えていきます。また、私の所属していた化学生命工学科では、学部1年次から、先生方の研究の最先端のお話を聴く機会もあり、自分の進みたい分野に関して具体的に考えることができます。そして、4年次には、研究室に配属され、先生方や先輩のご指導のもと、研究の進め方、考え方、プレゼンテーションスキルを身につけることができます。自分の興味のあること、将来やりたいことを真剣に考えてみてください。名大工学部には、皆さんのやりたいことを実現する環境、先生方が待っています。名大工学部で充実した大学生活を送りませんか。



工学部
戸田 祐嗣 教授
TODA Yuta
専門分野: 河川工学

VOICE 02 工学部 教員から

「工学」は、叡智を結集して社会に役立つ技術を探求する総合的な学問分野で、化学、材料、電気、エネルギー、機械、建築、土木など多岐にわたる専門分野のみならずそれらの融合分野も包含しています。名古屋大学工学部は、世界を代表するものづくり産業の集積地にあり、我が国及び世界の技術・工学の発展および産業界・学術界で活躍する人材の育成に貢献してきました。赤崎特別教授と天野教授が平成26年にノーベル賞を受賞した青色LED研究の成果は、世界の省エネルギー化に貢献しています。皆さんも、本学で私たちと共に「工学」を学び、現代社会が直面する諸問題に果敢に挑戦し、社会の発展のために大いに活躍していただきたいと願っています。東山の緑あふれるキャンパスから世界に向けて、みなさんと研究成果を発信できる日を楽しみにしています。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■ 数学や理科の基礎科目、人文社会系の教養科目、外国語など、高度な知識人にふさわしい教養を身に付けます。

	1	2	3	4	5
月	力学(理系基礎)	第二外国語	健康・スポーツ科学講義(全学基礎)	基礎セミナー	
火	全学教養科目	工学部専門科目	化学基礎(理系基礎)	微分積分学(理系基礎)	
水	文系教養科目	第二外国語	健康・スポーツ科学実習(全学基礎)	工学部専門科目	工学部専門科目
木		工学部専門科目	理系教養科目	化学実験(理系基礎)	
金		数値代数学(理系基礎)	文系基礎科目	英語(基礎)	

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



1
年
次

POINT 安全教育、倫理教育、情報セキュリティ教育、知財教育の導入教育や初期専門教育を受け、2年次に進みます。

■ 工学における全ての科学技術に対応できる学科構成です。

【化学生命工学科】

物質の構造、性質、反応について、新しい材料を構成する新規物質の開発のみならず生命現象の分子レベルでの解明から生物の工学的応用に至るまでの、幅広い学問の基礎から応用までを体系的に涵養する研究・教育を行います。

【物理工学科】

物理学及び数理学を基礎に、新規物質の性質や現象、先端的な計測手法や計算手法、複雑流動現象、生命現象、新しい電子デバイスなどを対象とする広範囲な工学的分野で先導的な教育・研究を行います。

【マテリアル工学科】

材料工学・化学工学を基軸に、物質・材料のナノスケールから製造・生産といったマクロなシステムまで一つの体系として捉え、環境、資源、エネルギー問題などの社会的課題を克服する能力を涵養する教育・研究を行います。

【電気電子情報工学科】

エネルギー・環境技術、ナノテクノロジー、先端エレクトロニクス、情報通信技術、情報システム技術など、ICT社会を構築し、持続可能で効率的な未来型社会を実現するための基盤となる学問分野の教育・研究を行います。

【機械・航空宇宙工学科】

超小型精密機械から航空宇宙機といった多様で複雑なシステムを創り上げるために必要な能力を養います。数学や力学を中心に基礎力を養い、機械工学、航空宇宙工学、マイクロ・ナノ工学に関する専門教育により、創造力・総合力を涵養する教育・研究を行います。

【エネルギー理工学科】

持続的成長可能社会に整合するエネルギー・システムを実現することを目指して、材料、計測並びにシステム化に関する科学と工学の基礎から応用までの広い分野において時代の先端を切り拓く教育及び研究を行います。

【環境土木・建築学科】

国土の持続的発展と地域の活性化を図る良質な社会資本の構築を目指す土木工学と、豊かで潤いのある人間生活の場となる良質な建築の創造を目指す建築学の、基礎及び応用を涵養する教育・研究を行います。

2
・
3
年
次

■ 専門科目によって、創造力・問題解決能力など将来の研究者・技術者としての資質が養われます。

【化学生命工学科】

代表的な2年次科目
・熱力学1及び演習・有機化学3及び演習
・高分子基礎化学

代表的な3年次科目

・無機合成化学・生物反応工学
・分析化学3

【機械・航空宇宙工学科】

代表的な2年次科目

・材料力学第1及び演習
・流体力学基礎及び演習・設計製図第3

代表的な3年次科目

・機械・航空宇宙工学実験第1
・加工力学第1及び演習・設計製図第3

【物理工学科】

代表的な2年次科目

・数学1及び演習
・量子力学A・電磁気学Ⅲ

代表的な3年次科目

・統計力学B・物性物理学・物理光学

【エネルギー理工学科】

代表的な2年次科目

・エネルギー材料学
・原子核物理概論・電気電子工学通論

代表的な3年次科目

・エネルギーシステム工学
・プラズマ物理学・物性物理学B

【マテリアル工学科】

代表的な2年次科目

・材料強度学・マテリアル固体物理
・物理化学

代表的な3年次科目

・理論計算材料学・セラミック材料学
・化学反応システム

【環境土木・建築学科】

代表的な2年次科目

日本技術者教育認定機構(JABEE)認定の技術者教育プログラムを実施

代表的な3年次科目

・国土のデザインとプロジェクト
・空間設計工学及び演習

【電気電子情報工学科】

代表的な2年次科目

・電気回路論及び演習・電子回路工学及び演習
・プログラミング及び演習

代表的な3年次科目

・電気エネルギー伝送工学・光エレクトロニクス
・情報ネットワーク・電気電子情報工学実験

4
年
次

■ 卒業研究に取り組み、未知への挑戦のおもしろさを体験します。

次世代の技術のブレークスルーを担う

学科紹介

工学部

化学生命工学科

化学の基礎学問であり物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、生化学などを体系的に学び基礎力を養ったうえで、合成化学、生命工学、材料科学、高分子化学などの学問を修め、工学的な見地からの俯瞰的応用力を身に付けます。4年次には卒業研究として世界最先端の科学に取り組みます。研究の創造性、厳しさ、楽しさを体験して大きく成長してください。

物理工学科

現代において、科学と技術は不可分の関係にあります。科学上の発見がただちに技術へ応用され、工業技術への目的を持った研究が科学の発展に重要な貢献をしています。このような科学技術に応えるために、物理学と数理学を基盤とした「基礎と応用にまたがる学問分野」を対象とした教育・研究を行います。4年次には各研究室で卒業研究を行い、知識や技術に加えてコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力も磨かれます。

マテリアル工学科

新しい素材を創り出すことで私たちの生活の質を向上し、環境・資源・エネルギーの社会的課題を解決することを目指しています。そのために材料工学から分子化学工学まで幅広い学問を学び、マテリアルを様々な観点から俯瞰できる能力を習得します。研究分野は多様性を持ち、最先端計測技術を用いた物質・材料の原理探索などの理学に近い研究分野から、ビッグデータや理論計算を用いた材料設計と言った情報工学を取り込んだ研究、世の中に広く使用される材料の創製プロセスの開発といった実用に近い研究などがあり、従来の学問体系に囚われない将来像を描くことができます。

電気電子情報工学科

私たちの生活を支える電気に関わる、幅広い技術分野の教育・研究を行っています。研究室は30以上あり、学内の未来材料・システム研究所、宇宙地球環境研究所、低温プラズマ科学研究センターや、学外の核融合科学研究所、海外の研究機関と連携しています。さらに、国家プロジェクトや国内外の企業との共同研究を通じて、電気工学、電子工学、情報・通信工学の各分野に関する世界最先端の研究環境を整えており、広い社会的視野国際的視野を備えたリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。

機械・航空宇宙工学科

多種多様な工業製品や航空宇宙機といった複雑なシステムを創り上げるために必要となる、全ての自然科学分野の基礎・応用技術を探求していきます。機械工学と航空宇宙工学に共通する基礎教育、専門教育として根幹となる学問分野を学びます。名古屋大学のある中京圏は機械・航空宇宙産業の集積地のため、個々の教員や研究グループ、または本学科として、民間および公立研究機関と密接に連携して研究を行っています。

エネルギー理工学科

エネルギーに関連する新材料、様々な最先端計測技術、革新的なエネルギー発生システムなど、幅広い分野について基礎から世界最先端の研究までを学ぶことができます。エネルギーという総合的な分野を学ぶため、理系科目を中心とした基礎的科目からスタートし、より専門的な分野にスムーズに学習を進めていくことができるようカリキュラム設計を行っています。エネルギーによって支えられている現代社会がこれからも発展していくために、世界は本学科で学ばあなたの力を求めています。

環境土木・建築学科

2年生から環境土木工学プログラムと建築学プログラムに分かれます。環境土木工学プログラムでは、構造・材料、水工、地盤、計画、環境、国土デザインの6つの分野を基礎に、建築学プログラムでは、建築および都市における計画・デザイン、環境・設備、構造・材料・生産技術の3つの分野を基礎にして、教育・研究を行います。両プログラムともにJABEE認定を受けていることも特徴のひとつです。

工学部の研究

化学生命工学科

確かな基礎化学に基づく俯瞰的応用力
化学は、物質の構造、性質、反応を扱う学問です。近年の科学技術の急速な発展に伴い、学問としての化学はその対象範囲を急速に拡大させています。革新的な材料を構成する新しい物質の開発のみならず、生命現象の分子レベルでの解明から生物の工学的応用に至るまで、豊かで健康な社会を永く維持・発展させていく上で、今後ますます重要性を増していくでしょう。本学科では、化学の基礎学問である物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、生化学などを体系的に学び基礎力を養ったうえで、合成化学、生命工学、材料科学、高分子化学などの学問を修め工学的な見地からの俯瞰的応用力を身に付けます。

物理工学科

物理に立脚した工学の創造
現代の科学と技術は互いに不可分の関係にあります。科学上の発見がただちに技術へ応用され、一方で工業技術の研究が科学を推進する力となっています。科学と技術のさらなる発展のため、物理工学科では物理学・計算科学・材料科学を基盤として、基礎から応用まであらゆるものを教育・研究の対象としています。物質の電気・磁気・光学的性質を調べて機能性物質の創製を目指す物性物理、極限的な高圧・低温・極小を調べて新規物質を探る極限物理、DNAなどをソフトマテリアルや流動現象、機能性物質の設計指針を探る計算科学など、基礎から応用まで物理学を広く深く学んで、物質世界や自然情報の世界の冒険に挑みます。

マテリアル工学科

資源を素材へ、素材を社会へ
マテリアル工学科では、社会に直接役立つ新しい素材を創り出すことで、私たちの生活の質を向上し、環境・資源・エネルギーの社会的課題を解決する方法を学び、新しい材料開発の方法を創り上げていくことを目指しています。マテリアル工学科は、材料・化学・物理を基盤に、物質・材料のナノスケールから製造・生産といったマクロなシステムまでを一つの体系として捉え、材料工学と分子化学工学を融合したカリキュラムを通じて、論理的思考力と創造力を養います。材料開発・生産技術や産業との関わりを学ぶとともに、世界を先導できる人材育成のための教育を行います。

電気電子情報工学科

電気に関わる幅広い技術分野を学ぼう！
電気電子情報工学科では、私たちの生活を支える電気に関わる幅広い技術分野の教育・研究を行っています。具体的には、エネルギー・環境、発送電、電力機器・システム、ナノテクノロジー、先端エレクトロニクス、デバイス、コンピュータ、通信、情報システムなどの各分野を基礎から学びます。1～2年生では各分野に共通の基礎的な科目の座学と演習で電気に関する基礎学力を修得し、3年生では各分野の専門科目と実験で工学的素養と広い視野を身につけ、4年生では研究室の教員や先輩の指導の下で卒業研究に取り組み、誰もやったことがない、解けるかどうかかわらないテーマに挑戦します。

機械・航空宇宙工学科

次世代の機械・航空宇宙系エンジニアを目指して
多種多様な工業製品や航空宇宙機といった複雑なシステムを創り上げるために必要となる、全ての自然科学分野の基礎・応用技術を探求していきます。機械工学と航空宇宙工学に共通する基礎教育、専門教育として根幹となる学問分野を学びます。名古屋大学のある中京圏は機械・航空宇宙産業の集積地のため、個々の教員や研究グループ、または本学科として、民間および公立研究機関と密接に連携して研究を行っています。

エネルギー理工学科

現代社会を支えるエネルギー
皆さんが楽しんでいるスマホの様々なコンテンツやサービス、それらを動かすのに必要なものは何でしょうか？スマホ本体？電波？いえいえ、それはエネルギーです。現代社会は、エネルギーによって支えられています。エネルギー理工学科では、現代社会のすべての活動に不可欠なエネルギーについて、エネルギーに関連する新材料、様々な最先端計測技術、革新的なエネルギー発生システムなど幅広い分野について、基礎から世界最先端の研究までを勉強することができます。将来の社会が永きにわたり発展していくために、世界は本学科で学ばあなたの力を求めています。

環境土木・建築学科

良好な社会環境を創造するための工学
土木工学は自然環境に対して社会インフラを建設する工学として、一方、建築学は人間生活を収容する人工環境を建設する工学として、それぞれ個別に発展してきました。しかし、両者は良好な社会環境を創造するための工学であり、近年は両者が共同で行う事業が増えています。本学科では、暮らしをより安全・安心で快適にし、自然と調和した社会を築くための基盤について、計画から設計・施工、維持管理、環境との調和のすべてを扱う環境土木工学と、人間の様々な生活行為を含む空間を創造する総合学であり、美しい建築・都市デザイン、安全・安心な構造、快適な環境づくりなどを扱う建築学を学ぶことができます。

工学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学選抜要項」「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	選抜期日	大学入学 共通テストの 利用教科・ 科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
工学部 680人 推薦 66	2月7日	一般選抜と 同じ	<p>A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意提出書類 次の①～⑥に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語検定試験(TOEFL・IELTS・TOEIC・GTEC・英検等)の成績を証明する書類 ② 国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③ スーパーグローバルハイスクール(SGH)・スーパーサイエンスハイスクール(SSH)・グローバルサイエンスキャンパス(GSC)における活動状況を証明する書類 ④ 数学オリンピック・科学オリンピックへの参加状況を証明する書類 ⑤ 全国規模・地方規模の科学分野のコンテスト等への参加状況を証明する書類 ⑥ その他、各種活動状況、表彰、資格を証明する書類</p>	<p>提出書類及び 大学入学共通テスト の成績により 第1次選考合格者を 決定 第1次選考合格者に 対し、口頭試問による 面接を実施し、合格者 を決定 ※環境土木・建築学科で 建築学プログラムを 希望する場合は口頭 試問はスケッチにより 行います。</p>	1月18日 ～21日	2月9日

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熟意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		出願期間	合格発表日		
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等			2段階 選抜 配点	
工学部 680人 前期 614	前期 2月25日・ 26日	国	国	200	数	数I・数II・数III・数A・数B	500	1月24日 ～2月2日	3月9日	
		地歴・公民	世B、日B、地理B、「倫・政経」から1	100	理	「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」				500
		数	数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1	100	英	「コミュニケーション英語I」・ 「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・ 「英語表現I」・「英語表現II」の 5科目をあわせて出題。）	300			
		理	物理と化学	100			実施 しない			合計 1300
		外	英、独、仏、中、韓から1	100	外	(5教科7科目)	600			合計 1900

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。

※詳細については「入学選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。



農学部

www.agr.nagoya-u.ac.jp

School of AGRICULTURAL SCIENCES

「食・環境・健康」の未来を担う生命科学のフロンティアに立つ

21世紀は生命科学の時代といわれています。農学部は、生物および化学関連分野を基盤に、生命科学分野の基礎研究を行いつつ、「食・環境・健康」の3本柱を支える研究・教育を推進しています。微生物・動植物・生態系・生物資源を対象として、分子レベルから地球レベルまでの広い視点で研究する生命系総合学部です。生物現象を中心とした自然現象の探求から社会への貢献までを見据えた教育プログラムを通して、自然を探究することの難しさと楽しさを学び、現在人類が直面している食・環境・健康に関するさまざまな課題を解決する能力を身につけることができます。

毎年、高い資質と意欲をもった学生が入学し、1951年の創立以来これまでに、9,000名の学士、5,000名の修士、1,800名の博士を国内外に送り出してきました。卒業生の多くは、農林業はもちろん、食品産業、製薬・化学工業に関連する企業・官公庁など幅広い分野で活躍しています。

世界と人類の「食・環境・健康」を支える熱意ある若い皆さんの参加を歓迎します。



生物環境科学科 4年
渡邊 彩音さん
WATANABE Ayano
出身校：岐阜県立岐阜高校

VOICE 01 農学部 学生から

名大農学部には、広い視野を持って学び、自分の興味に様々な角度からアプローチできる環境が整っています。例えば、生物環境科学科では、生物多様性から防災、木材利用のための物理学まで、実に幅広い分野を学び、「環境保護」と一口に言っても、実は様々な関わり方があると気付きます。実験実習では色々な分野の実習を経験し、研究室配属後の本格的な研究に欠かせない知識や技術を習得します。私は森林生態学研究室で、種子散布における樹木と動物との相互関係について研究しています。学部生のうちから、最先端の研究の世界に関わることができるのは大きな魅力のひとつではないでしょうか。名大農学部で自分の興味を深めてみませんか。



農学部
池田 素子 教授
IKEDA Motoko
専門分野：昆虫ウイルス学・昆虫病理学

VOICE 02 農学部 教員から

バキュロウイルスは昆虫にしか感染しないことから、ウイルス農薬として利用されてきました。ウイルスが好みとする昆虫の種類や体内の組織がどのように決定されるのか、昆虫はウイルスの攻撃をどのようにかわしているのか。私たちはその仕組みを明らかにしようとしています。これらの研究を通して、昆虫とウイルスに特異な機能を開発し、その成果を生物資源として有効に活用することを目的としています。農学部ではさまざまな動植物と微生物の間に繰り広げられる寄生や共生といった複雑な生命現象を研究し、人類の食料生産に貢献することを目標としています。生物の新たな機能の開発を目指して、一緒にチャレンジしてみませんか。

カリキュラム CURRICULUM IMAGE

■数学や理科の基礎科目、人文社会系の教養科目、外国語など、高度な知識人に相応しい教養を身に付けます。

	1	2	3	4	5
月	理系基礎 (化学基礎I)	健康・スポーツ 科学実習I	英語(基礎) 理系基礎(生物学実験)	基礎セミナーA(理系) 理系基礎(生物学実験)	
火	全学教養科目	英語以外の外国語	化学基礎II	情報リテラシー入門	
水	理系基礎 (微積分学I)	理系基礎 (物理学基礎I)	理系基礎 (生物学基礎I)	情報リテラシー入門	
木	文系基礎科目 英語(サイバール)	英語以外の外国語	生命農学序説	分類・形態学	
金	健康スポーツ科学 講義	理系基礎 (線形代数I)	理系基礎(生物学実験) 英語(基礎)	理系基礎(生物学実験) 基礎セミナーA(理系)	

※2022年度入学者から全学教育科目カリキュラムが変更になります。

(上記の時間割は一例)



POINT 農学部の3学科に共通して必要な生物系・化学系の基礎科目や、食・環境・健康に関わる課題認識の基礎科目、情報教育科目などを学びます。並行して学ぶ全学教育科目と合わせて、農学のあらゆる学問分野の基礎力を充実させる年次です。

■学部の共通基盤となる科目をさらに学び、学科の専門教育に向けた導入を図るとともに、各自が多様性のある基盤形成をめざします。

[全学共通必修科目]

- ・通信学
- ・植物生理学1
- ・有機化学2
- ・土壌学
- ・生命と技術の倫理
- ・農学セミナー1
- ・微生物学1
- ・生物化学2
- ・生命系物理学
- ・現代社会の食と農
- ・生物情報処理演習
- ・農学セミナー2

[生物環境科学科必修科目]

- ・分類・形態学
- ・生物物理化学1
- ・生物材料基礎学
- ・バイオマス科学1
- ・生態学
- ・生物圏環境学1
- ・生物材料力学

[資源生物科学科必修科目]

- ・分類・形態学
- ・動物生理学1
- ・植物生理学2
- ・昆虫学1
- ・生態学
- ・分子細胞生物学1
- ・動物形態学
- ・資源生物科学基礎実験実習

[応用生命科学科必修科目]

- ・生命物理化学1
- ・分子細胞生物学1
- ・有機化学3
- ・動物生理学1
- ・生物化学3

POINT 学科共通必修科目および各学科で指定された科目を履修することにより多様な専門基礎を学びます。

■学科ごとに専門的知識を身につけ、各自が将来めざそうとする専門領域を見定め、キャリアプランを立てます。

[生物環境科学科]

「生物と環境をみつめ、社会に活かす」生態系のしくみとほたらきを探り、環境保全と生物資源の賢明な利用をめざします。

- ・保全遺伝学
- ・流域保全学
- ・森林保護学
- ・樹木生理学
- ・木質工学
- ・生物環境科学実験実習1、2 など
- ・生物環境増進学
- ・森林生態学
- ・森林社会共生学
- ・生物材料機能学
- ・生物材料プロセス工学

[資源生物科学科]

「生物のしくみを知り、食の未来を切り拓く」生物の巧みな生存戦略を解明し、人類の食をグローバルに支えます。

- ・細胞工学
- ・作物科学
- ・園芸科学
- ・動物繁殖学
- ・動物栄養学
- ・資源生物科学実験実習1、2 など
- ・動物管理衛生学
- ・昆虫科学2
- ・持続的生物学生産学
- ・国内実地研修
- ・海外実地研修

[応用生命科学科]

「生命現象を分子のレベルで科学する」バイオの力を駆使して、人類の食と健康に貢献します。

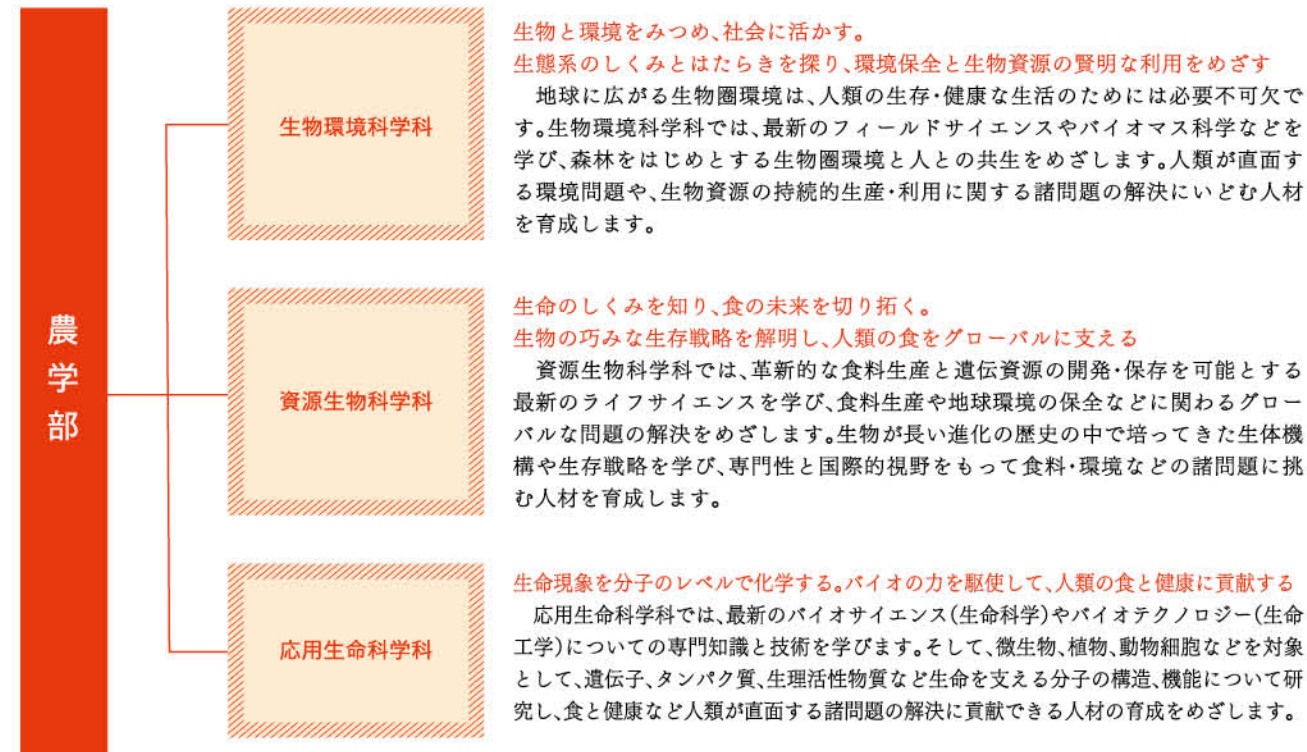
- ・分子細胞生物学2
- ・植物機能学
- ・有機化学4
- ・微生物学2
- ・応用生命科学実験実習1、2 など
- ・食品機能化学
- ・分子細胞生物学3、4
- ・分子微生物学
- ・遺伝子工学

POINT 様々な学問領域につながる専門科目の講義と実験実習、また専門横断的科目や各種資格の取得に必要な科目が学科ごとに配置されています。充実した設備・機器を使った実験実習や現場での実地教育を通して、専門性を体得します。

■全学生が各研究室に所属し、卒業研究に取り組みます。各学問領域の専門性を身につけ、キャリアプランの実現をめざします。

大局的見地から総合的な判断のできる人材

コース紹介 COURSE



農学部研究室



■生物環境科学科
森林資源管理学研究室

地球上の二酸化炭素循環の中で、森林は吸収源・貯蔵庫として大きな役割を果たしています。私たちは、航空機やドローンなどに搭載された先端計測機器により得られる森林の3次元情報から、機械学習や数理モデル解析などにより、広域な森林域の資源情報を詳細に把握するシステムの開発や、得られる情報をもとに将来の森林域の姿を予測する手法の開発をおとして、森林資源の持続的な利用計画やその評価手法について研究しています。

■資源生物科学科
園芸科学研究室

園芸科学研究室では、花・野菜・果樹の成長や品質に関する分子メカニズムの解明とバイオテクノロジーの研究を行っています。現在は、ゲノム・遺伝子・代謝物の網羅解析技術を組み合わせることで赤い果肉のリンゴの着色機構やブドウの機能性成分の蓄積機構、バラのトゲの形成機構の解明などに取り組んでいます。また、遺伝子組換え技術やゲノム編集技術を駆使した甘いトマト品種の開発や花の品種改良にも取り組んでいます。

■応用生命科学科
植物情報分子研究室

植物は刻々と変動する環境を生き抜くために、葉と根など離れた器官間で情報をやり取りし、代謝と成長を個体レベルで最適化するしくみを備えています。植物情報分子研究室では、栄養環境の変化に順応するための植物の栄養吸収と成長の制御について、それに関わる情報分子の同定や生合成、輸送のしくみを分子レベルで解明することを目指しています。教員と学生が一体となって、世界最先端の研究を行なっています。

農学部 2022年度入試情報

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、入試実施方法等が変更となる可能性があります。詳細は「入学者選抜要項」・「学生募集要項」・本学HPをご確認ください。

学校推薦型選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	選抜期日	大学入学 共通テストの 利用教科・ 科目名	主な提出書類	選抜方法等	出願期間	合格発表日
農学部 170人 推薦 34	—	一般選抜と 同じ	<p>A 提出を求めるもの(必須) 志願理由書、推薦書及び調査書</p> <p>B 任意提出書類 次の①～⑤に該当するものがある場合は書類を提出してください。 ① 英語力を示す各種試験のスコア(TOEFL、IELTS、TOEIC、英検、GTEC等)を証明する書類 ② 国際バカロレアのスコアを証明する書類 ③ スーパーグローバルハイスクール(SGH)、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)、グローバルサイエンスキャンパス(GSC)等における活動状況を証明する書類 ④ 数学オリンピック、科学オリンピック、全国規模・地方規模の科学分野コンテスト等への参加状況を証明する書類 ⑤ その他科学分野での活動状況を証明する書類</p>	提出書類及び 大学入学共通テストの 成績により合格者を 決定	1月18日 ～21日	2月9日

※学校推薦型選抜は令和4年3月卒業見込の者で当学部に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、学習成績・人物ともに特に優れ、学校長等から責任ある推薦を受け、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

一般選抜

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		出願期間	合格発表日			
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等			2段階 選抜 配点		
農学部 170人 前期 136	前期 2月25日 26日	国	国	200	国	国語総合・現代文B(古文・漢文を除く)	実施 しない	150	1月24日 ～2月2日	3月9日	
		地歴・公民	世B、IB、地理B、「倫・政経」から1	100	数	数I・数II・数III・数A・数B					400
		数	数I・数Aと 数II・数B、簿、情報から1	200	理	「物理基礎・物理」・「化学基礎・化学」・ 「生物基礎・生物」から2					600
		理	物理、化学、生物、地学から2	200	英	「物理基礎・物理」・「化学基礎・化学」・ 「生物基礎・生物」から2					400
応用生命科学科 80人 推薦 66		外	英・独・仏・中、韓から1	200	外	「コミュニケーション英語I」・ 「コミュニケーション英語II」・ 「コミュニケーション英語III」・ 「英語表現I」・ 「英語表現II」の5科目をあわせて出題。）	個別計 1550				
		(5教科7科目)		900			合計 2450				

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を受験できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(社会と情報・情報の科学等)を履修した者は該当しません。
※詳細については「入学者選抜要項」または「学生募集要項」を参照してください。

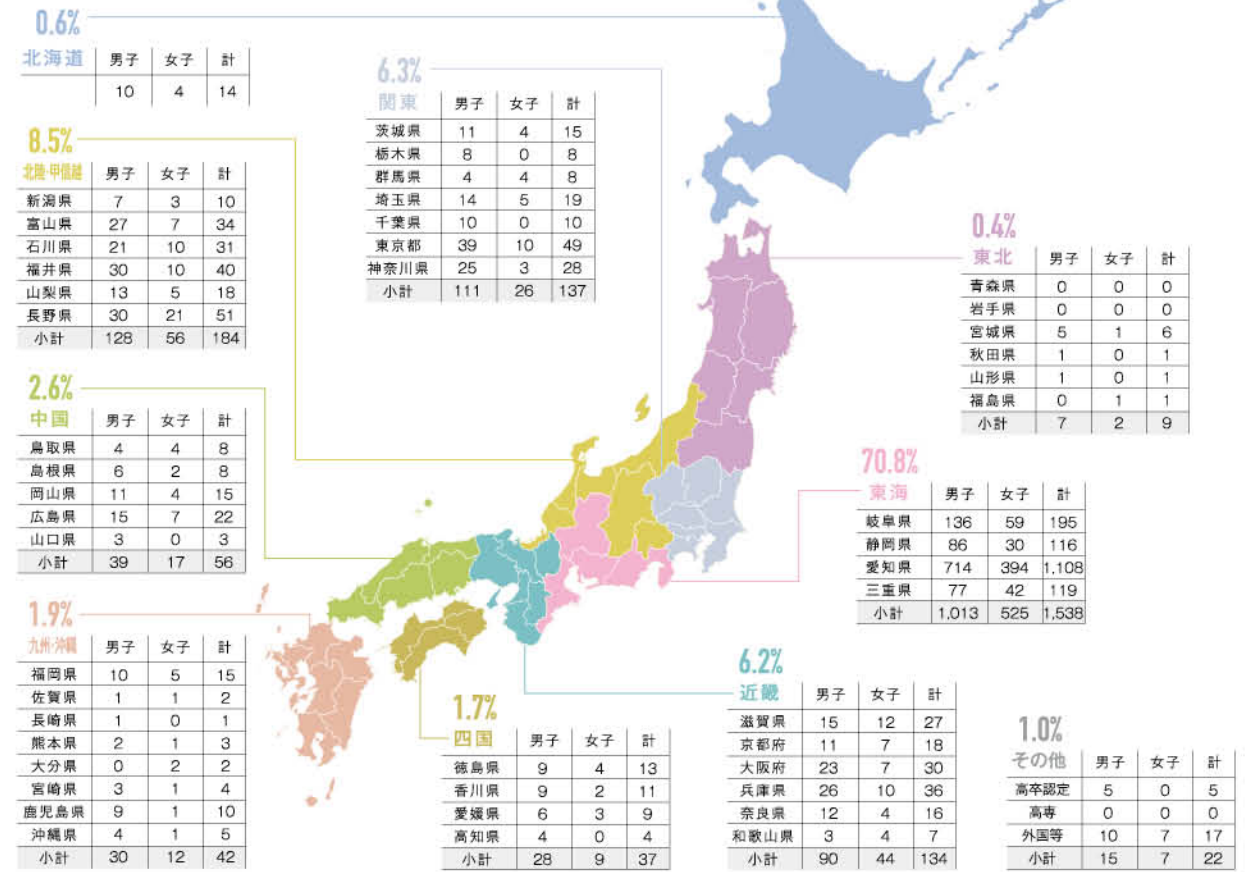
入試DATA ●令和3年度入学者選抜状況

学部・学科・専攻名	入学定員	特別選抜					一般選抜										合格者成績				
		学校推薦型選抜					前期日程					後期日程					前期日程				
		募集人員B	志願者数A	受験者数	合格者数	倍率A/B()は前年度	募集人員	志願者数	受験者数A	合格者数B	倍率A/B()は前年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率A/B()は前年度	満点	合格最高点	合格最低点	合格者の平均点	
文学部	125	15	41	29	16	2.7(3.0)	110	247	243	110	2.2(2.1)					2,100	1,679	1,422	1,496.28		
教育学部	65	10	33	20	10	3.3(4.1)	55	147	136	63	2.2(2.5)					2,700	2,151	1,757	1,883.19		
法学部	150	45	82	52	45	1.8(2.0)	105	246	208	109	1.9(1.7)					1,500	1,301	1,014	1,077.31		
経済学部	205	40	71	71	40	1.8(1.9)	165	420	384	173	2.2(2.3)					2,400	1,924	1,576	1,674.97		
情報学部	自然情報学科	38	8	23	12	8	2.9(2.9)	30	120	112	33	3.4(2.2)				2,000	1,679	1,365	1,450.97		
	人間・社会情報学科	38	8	19	12	8	2.4(2.0)	30	138	131	33	4.0(2.9)				2,000	1,694	1,476	1,550.00		
	コンピュータ科学科	59	6	34	9	6	5.7(4.3)	53	123	116	57	2.0(2.5)				2,200	1,935	1,468	1,603.53		
	小計	135	22	76	33	22	3.5(3.0)	113	381	359	123	2.9(2.5)									
理学部	270	50	98	75	51	2.0(2.8)	220	526	486	228	2.1(2.1)					2,350	1,933	1,491	1,631.10		
医学部	医学科	107	12	28	20	12	2.3(1.6)	90	345	316	95	3.3(2.9)	5	54	25	5	10.8(11)	2,550	2,316	1,935	2,041.90
	看護学専攻	80	35	62	43	38	1.8(1.6)	45	114	86	47	1.8(1.6)					2,550	1,865	1,372	1,497.22	
	放射線技術科学専攻	40	10	35	19	12	3.5(4.0)	30	111	96	30	3.2(3.1)					2,550	1,757	1,450	1,531.79	
	検査技術科学専攻	40	15	40	24	17	2.7(2.4)	25	61	50	25	2.0(3.2)					2,550	1,824	1,480	1,573.83	
	理学療法専攻	20	7	19	12	9	2.7(2.3)	13	38	29	13	2.2(2.2)					2,550	1,719	1,478	1,564.00	
	作業療法専攻	20	7	8	8	6	1.1(1.0)	13	38	34	19	1.8(1.9)					2,550	1,706	1,286	1,420.73	
	計	200	74	164	106	82	2.2(2.1)	126	362	295	134	2.2(2.3)									
小計	307	86	192	126	94	2.2(2.0)	216	707	611	229	2.7(2.5)	5	54	25	5	10.8(11)					
工学部	化学生命工学科	99	9	16	14	9	1.8(2.1)	90	212	202	92	2.2(1.9)				1,900	1,406	1,132	1,215.92		
	物理工学科	83	8	11	11	8	1.4(1.0)	75	161	153	77	2.0(1.6)				1,900	1,458	1,134	1,202.58		
	マテリアル工学科	110	11	19	16	11	1.7(2.0)	99	207	196	103	1.9(1.9)				1,900	1,390	1,136	1,203.50		
	電気電子情報工学科	118	11	14	14	8	1.3(2.9)	107	310	301	112	2.7(3.1)				1,900	1,504	1,186	1,270.93		
	機械・航空宇宙工学科	150	15	38	25	15	2.5(3.1)	135	423	405	139	2.9(2.9)				1,900	1,532	1,234	1,311.28		
	エネルギー理工学科	40	4	8	8	3	2.0(2.0)	36	101	96	38	2.5(1.8)				1,900	1,456	1,153	1,221.38		
	環境土木・建築学科	80	8	23	16	7	2.9(2.1)	72	210	202	77	2.6(2.3)				1,900	1,428	1,145	1,233.23		
小計	680	66	129	104	61	2.0(2.3)	614	1,624	1,555	638	2.4(2.3)										
農学部	生物環境科学科	35	8	27	27	10	3.4(2.1)	27	46	40	27	1.5(1.6)				2,300	1,637	1,365	1,447.70		
	資源生物科学科	55	12	35	35	13	2.9(1.8)	43	81	68	44	1.5(2.1)				2,300	1,830	1,382	1,447.16		
	応用生命科学科	80	14	60	60	16	4.3(2.3)	66	156	138	69	2.0(2.0)				2,300	1,859	1,440	1,537.13		
	小計	170	34	122	122	39	3.6(2.1)	136	283	246	140	1.8(2.0)									
合計	2,107	368	844	632	378	2.3(2.3)	1,734	4,581	4,228	1,813	2.3(2.3)	5	54	25	5	10.8(11)					

【注】(1)工学部及び農学部の合格最低点は、高得点者選抜を除く合格者の最低点となっています。(2)合格発表時の得点に基づき作成しています。(3)医学部医学科の後期日程試験は試験成績の表示は行いません。

出身高等学校所在都道府県別入学者状況 令和3年度

(男子:1,471名/女子702名 合計2,173名)



入学者出身校一覧 令和3年度

北海道	札幌南、札幌北、札幌南、旭川、釧路、札幌ラ・サール
青森県	
岩手県	
宮城県	仙台第一、仙台第二、吉川聖一、泉館山、聖ウルスラ学院英智
秋田県	秋田
山形県	山形南
福島県	安積
茨城県	水戸第一、土浦第一、竜ヶ崎第一、竹園、並木、茨城、水城、江戸川学園取手
栃木県	宇都宮、宇都宮東、栃木
群馬県	前橋(県立)、前橋女子、高崎女子、太田(県立)、中央
埼玉県	浦和(県立)、川越(県立)、春日部、浦和第一女子、川越女子、川口北、所沢北、浦和(市立)、大宮南成、本庄東、星野、花咲徳栄、関智
千葉県	千葉東、船橋(県立)、水戸東、専修大学松戸、八千代松陽、昭和学院秀英、中央学院
東京都	東京学芸大学附属豊原、大泉、国立、西分寺、小山台、小松川、新栄、立川、戸山、西、八王子東、日比谷、文京、町田、両国、城東、小倉井北、立川南陽、多摩科学技術、取原、芝、高輪、海城、桜丘、順天、開成、攻玉社、聖徳学園、埼玉女子、世田谷学園、東京都立大学付属、豊島岡女子学園、城北(私立)、創価、桐蔭、吉祥女子
神奈川県	横浜藤城、横浜緑ヶ丘、相模、横浜南(県立)、平塚江南、湘南、小田原、西沢、厚木、海老名、横浜サイエンスフロンティア、中央大学附属横浜、聖光学院、滝野、聖徳学院、桐蔭学園、栄光学院、鎌倉学園、横浜学院
新潟県	新潟、新潟南、長岡、長岡大平、高田、佐渡、直江津
富山県	富山東、富山、富山中野、高岡、砺波
石川県	金沢大学附属、小松、金沢錦丘、金沢南、金沢二水、金沢桜丘、七尾、市賀
福井県	藤岡、高志、大野、勝山、武生、敦賀、武生東、仁愛女子、敦賀北、福井南
山梨県	韮崎、甲府第一、甲府南、吉田、甲府西、甲府東、甲府、巖手甲府
長野県	須賀、長野(県立)、藤代、上田、野沢北、諏訪清陵、伊那北、飯田、松本南ヶ丘、松本深志、木曾青陵、長野日本大学、東京理科大学塩尻
岐阜県	岐阜、岐阜北、長良、岐阜、加納、大垣北、大垣東、関、多治見北、瑞浪、高田、中津、松田南、榑木、可児、鷺谷、岐阜女子、大垣日本大学、美濃加茂、多治見西、瑞浪南、中京、帝京大学可児
静岡県	浜山、沼津東、富士、清水東、静岡、静岡南、藤枝東、島田、藤原、掛川西、御田南、浜松北、浜松南、浜松工業、浜名、静岡市立、浜松市立、富士東、星城、静岡南富士見、常葉大学附属静岡、静岡学院、常葉大学附属菊川、御田東、浜松学院、浜松日体、藤枝明誠
愛知県	名古屋大学教育学部附属、愛知教育大学附属、滝丘、甲府、千種、津島、瑞穂、昭和、名古屋西、春日井、旭野、長久手、一宮、一宮西、津島、五ヶ野、横須賀、甲府、刈谷、刈谷北、安城東、西尾、西尾東、岡崎、岡崎北、豊田西、岡崎、豊橋東、豊橋南、天白、東海南、東海、市川、豊田、豊田東、豊田北、高蔵寺、江南、小牧南、豊田南、豊田東、一宮南、名古屋南、岡崎西、名東、刈谷東、新川、豊田総合工科、豊田、豊田南、金城学院、中央大学附属中央、美濃、名古屋、愛知工業大学名東、南山、名城大学附属、愛知南成、瀬尾、中根大学春日丘、清林館、豊川、栄徳、南山学院、海陽、ルネッサン豊田
三重県	桑名、四日市、四日市南、津市、津西、松阪、伊勢、尾鷲、川越、鈴鹿、高田、三重、桜丘、津田学園
滋賀県	膳所、彦根東、八日市、守山、水口東、米原、虎姫、津市東、河瀬、甲西、幸福の科学園関西
京都府	滝北、嵯峨野、桃山、福知山、西京、堀川、花園、龍谷大学付属平安、洛星、洛南、京都産業大学附属
大阪府	豊中、春日丘、茨木、太子前、四條畷、天王寺、生野、明豊、高槻、大阪星光学院、四天王寺、関西大倉、常盤学園、清風南海、清教学院、大阪桐蔭
兵庫県	神戸大学附属、御影、兵庫、長田、星塚、加古川東、小野、姫路東、姫路西、西宮(市立)、西宮東、姫路、北摂三田、兵庫南立大学附属、三田祥雲館、六甲学院、須磨学園、神戸女学院高等学校、三田学園、白陵、淨心学院、近畿大学附属豊岡、滝川第二
奈良県	奈良女子大学附属、奈良、郡山、歌山、天王寺、東大寺学園、智徳学園、西大和学園、奈良学園登美ヶ丘
和歌山県	桐蔭、開智、和歌山信愛、智徳学園和歌山
鳥取県	鳥取西、倉吉東、米子東
島根県	松江北、出雲
岡山県	岡山朝日、岡山北、岡山南、岡山東、倉敷南、倉敷南、岡山南
広島県	広島大学附属、広島大学附属福山、広島国舞子、賀茂、福山誠之館、府中、大門、基町、広島、徳島、廣瀬、ノートルダム清心、広島学院、広島なぎさ、尾道、近畿大学附属広島(東広島校)
山口県	下松、徳山、下関西
徳島県	城東、城南、富岡東、徳町、徳島市立、徳ノ内
香川県	高松、丸亀、観音寺第一、大手前高松、大手前丸亀
愛媛県	新居高松、西条、今治西、松山東、豊光
高知県	高知通手前、高知学院
福岡県	小倉、東筑、福岡、筑紫北、城南、博多東、明善、九州国際大学付属、筑紫台、久留米大学附属
佐賀県	佐賀西、筑後
長崎県	長崎西
熊本県	津々津、熊本、熊本学院大学付属
大分県	大分上野丘、大分舞鶴
宮崎県	延岡、宮崎西、都城市ヶ丘
鹿児島県	霧丸、甲南、鹿児島玉陵、ラサール
沖縄県	尚学、沖縄学院、昭和薬科大学附属、N

令和4年度編入学試験及び私費外国人留学生入試概要

Table with columns for Department (学部), Course (学科), Major (専攻), and Exam Details (編入学入試, 私費外国人入試). It lists various departments like Literature, Education, Law, Economics, Information, and Agriculture with their respective exam requirements.

【注】新型コロナウイルス感染症拡大状況により、令和4年度の編入学試験及び私費外国人入試の実施方法等が変わる可能性があります。詳細は募集要項 本学HPを必ず確認してください。

Table listing thesis topics (卒論テーマ) for various departments and courses. It includes departments like Literature, Education, Law, Economics, and Business Administration, with specific research topics listed for each.

学部	学科	専攻	テーマ(研究内容)の主な例	
情報学部	自然情報学科		粒子社会モデルを用いた集団ダイナミクスの解明による理解 捕食生物の捕食と行動の最適化に関する人工生命アプローチ 形状最適化アルゴリズムのMPI並列化に関する研究 水船の栽培スケジューリングの分析 Bird song explorer: 野鳥の歌行動体験のための立体音響に基づく仮想森林アプリケーション ニューラルネットワークを用いた自動探査システムの構築と有効性の検証 オンライン商品発送問題に対する列生成アプローチ 3次元レトリニア多面体結晶問題に対する発見的解法 最大後悔最小化基準の集合最適化問題に対する近似解法と厳密解法 自動車組み立て工場でのグローバル最適配置における車格温モデル 量子計算で高速に解ける問題について Solovay-Strassen法による確率的素数判定法に関する研究 女性ファッションデザイナーがジェンダー適合的な商品の評価に与える影響 「レターヘッド効果」に及ぼす自覚感との影響・社会調査に伴う聴覚的研究者バイアスに関する分析 フリーペーパーの評価に直観性の操作が及ぼす影響 音楽によるNostalgia喚起が広告効果に及ぼす影響 知覚的流暢性が人物識別に与える影響の検討 解釈レベルの違いによる場所の記憶の再構成の考察 市民による地域資源情報のオープンデータ化の提案と実践 科学系博物館におけるデジタルコンテンツを用いた解説支援のためのモバイルガイドの開発と評価 人工知能は人格をもてるか ストリートアートの芸術哲学的考察—ストリートアートの定義を試みる ロボットに完全な道徳的責任を帰属できるか 思考実験による問題解決を目的としたシステムの開発と評価 映画鑑賞者のための歌謡支援を目指した電気音響変換法 並列分散処理技術を用いた移動軌跡データの分析 密度比推定法の変換検知への応用 本文法に基づくグラフ圧縮法および圧縮グラフに対する頂点選択問合せ評価法の提案と実践 自動車制御システムの並列化による高速実行 歩行支援ロボットを用いた心身マルチタスク負荷評価の研究 視線計測による視野測定の誤差軽減に関する研究 法令の機械翻訳に関する研究 3次元地図とオブジェクトの動的配置によるVR災害シミュレーションシステムに関する研究 組み込みシステム向けマルウェアMiraiの攻撃性能評価 車車間・歩車間通信におけるクラスタ通信方式による遅延低減に関する研究 Twitter・LINE・Facebook・InstagramにおけるSNS成長パターンについての研究 車載ソフトウェアのための高精度地図ダイナミックマップにおける動的情報の信頼性検証 CT画像と内視鏡画像の融合による手術ロボット自律制御 C言語サブセットからMalbolge難読コードへのコンパイルの設計と実装 高齢者見守りのための赤外線センサレイを用いた行動認識	
		人間・社会情報学科		
		コンピュータ科学科		
理学部	数理学科		表現論入門 位相幾何—トース理論— プログラミング言語と型 代数的整数論 偏微分方程式 一般相対論とリーマン幾何学 離散確率論 リー代数(リー環)から量子群へ ゲージ対称性とCP対称性の破れ ブラックホール合体における事象の地平 低エネルギーニュートリノビームラインにおけるニュートリノ反応の研究 時間反転対称性の破れの探索のための高計数率熱中性子検出器 超小型衛星HaloSat搭載予定ドзимメータの選光成分の評価 巨大惑星の移動に伴う小天体の力学的進化・共鳴現象から太陽系の歴史を探る— 流星合体により生じる重力波の検出率の予測 2次元におけるUltrasoft Particleのクラスタ化 新しい強誘電性シリケートの創出 量子ホール効果とディラック電子 助起子絶縁体候補物質の物性 X線構造解析に対するガウス混合分布の応用 粗視化モデルを用いたバクテリオロッドの強制アンフォールディングシミュレーション ジグザグ型カーボンナノベルトの合成研究 アンモニアを水資源とした光触媒型水素移動型還元反応 化学修飾を施した人工mRNAの創製研究 指向性進化法を用いた天然物アミノ酸シグナルP450BM3変異体の開発 大環状金属錯体からなる分子チューブ内部のナノ空間の機能開拓 円筒光線レーザー場における(+)-リモネンの光電子3次元運動量画像計測 助起子モデルを用いた集光アンテナタンパク質の助起状態計算	
		物理学科		Acetabularia ryukiensisの人工培養法の確立と昼夜時計における中心振動体の実体の探求 魚類の色素細胞発生におけるpax3およびpax7の機能解析 道管の分化パターンを制御する新規受容体REX1及びREX2の解析 社会性行動における小脳の役割の解明 神経活動によって活性化された樹状突起棘(スパイン)への小胞体伸縮におけるSEPT3とMYO5Aの機能的相互作用 イネキシンファミリーによる線虫C. elegansの温度感応性調節機構 LRKK1-NDEL1経路によるDynein-2を介したシリア遅滞制御 星状海上の森における表層地質の違いがヒノキの成長と表層土壌特性に与える影響 小型船舶の直進遊泳時における胸ビレと背ビレによるロール制御 地震カタログ及びGNSSデータを用いた西暦日本における内陸地震発生確率の評価 衛星回収実験から明らかにするマーズソン隕石中カルボン酸の衛星合成 アフリカにおける女性の健康問題への影響要因について 医療系学生における就労と結婚・出産に対する意識調査 創傷治癒過程におけるワセリンとハイドロコロイドドレッシング材の比較—血流画像化装置を用いて— 日本と米国における看護士の専門職意識に関する相違 全国のがん診療拠点病院における「がん患者サロン」の運営上の困難点 認知症高齢者の徘徊の特性と有効なケアの検討 学童期の食物アレルギー児を持つ家族が抱く生活上の不安 検査・治療を受ける子どもの主体性と看護士の関わり 産婦に対する分娩期の助産師のかわり方と出産満足度に関する文献検討 妊娠と日本産21世紀型DOTS戦略の現状と課題 X線CT画像シミュレーションにおけるサイノグラムの計算精度向上に関する研究 3次元シネ位相コントラスト電気共鳴法による脳動脈瘤の血流解析の研究 非イオン性ヨード造影剤の水溶性及び粘性に関する量子化学的検討 慢性血行性脳血管障害における ¹⁸ F-NaF PET/CTを用いた肺循環血流と右心カテテル検査から得られる各種評価指標との関係の検討 マンモグラフィにおける高エネルギー領域の入射光子数と平均乳房線量との関係 超音波用モニタのコントラストに両面光が及ぼす影響 陽子線照射生成微細光の発光機序に関する研究 不均質フアンダムを用いたアイソセクタ以外の線量評価点における治療計画装置の線量計算精度の検証 遺伝子改変筋筋由来幹細胞の機能と体内動態の解析 病態生理に即したI型アレルギー検査法の検討 融合遺伝子による白血病発症機序の解明 パーキンソン病の病態解明のための脳内環境の解析 細胞標本作製における精度管理 メタボリックシンドロームおよび食塩感受性高血圧の病態解析 ヒト肝臓由来細胞における酸化ストレスと茶成分による抑制作用の検討 動物とヒトとの間における基質拡張型β-ラクタマーゼ産生大腸菌の経路に関する研究 持続血糖モニターによる血糖変動とライフスタイル指標の関連 異なる湿度・床面の条件下における聴覚誘発音の歩行の安定性に及ぼす影響 筋芽細胞融合に関わるM-カドヘリンの機能解析 マウス骨格筋への再現性の高い遺伝子導入法の確立 簡易歩行計測器による地域在住高齢者の歩行の分析 統合失調症患者の作業変化時における自己能力の見極めりの特徴 自閉症スペクトラム障害がある子どもと動物との象徴的コミュニケーションについての事例研究 Brain-Computer Interface (BCI) 応用に向けた運動関連脳電位(MRC P)導出の基礎的検討 BGMのテンポが作業効率と気分に及ぼす影響
	化学科			
	生命理学科			
	地球惑星科学科			
医学部	保健学科	看護学専攻		
		放射線技術科学専攻		
		検査技術科学専攻		
		理学療法学専攻		
		作業療法学専攻		

学部	学科	専攻	テーマ(研究内容)の主な例
工学部	化学生命工学科		SARS-CoV-2中和抗体医薬への応用を指向した人工抗体の改変 コロイドアモルファス構造を有する構造発色性エラストマーの物性評価 二酸化炭素の半酸化反応に高活性な担持金属ナノ粒子触媒 1-ヨードアルキンとプロモジフルオロ酢酸エテルの光交差カップリング反応 再生医療用細胞製造における品質選別リスク評価のためのAI画像診断技術の開発 無機ナノシートの精密構造集積と高次機能材料への応用 金属/シリコン系IV族半導体接合の障壁高さに対するポリエチレンイミン界面層の挿入効果 新酸化物超伝導体のトンネル効果におけるドップラー効果の計算 塩化アンモニウムを用いたZr-Mo-N系窒化物の高圧合成と物性 放射光単結晶X線回折による分子性光伝導体NMQ[Ni(dmit) ₂]の構造物性研究 Eu添加Ca ₂ SnO ₄ のカソードルタネッセンスにおける電子チャネリングの効果 α電子系化合物における新規伝導体探索 遷移金属トリカルコゲナイドFePGe ₃ における元素置換効果 機械学習を用いた多結晶組織の結晶方位推定 酸化還元活性リン脂質ポリマーを用いたがん細胞死誘導に関する研究 フルオレニリデンアクリダンの有機薄膜太陽電池への利用 大気からの酸素富化空気直接製造プロセスの提案とエネルギー評価 二相組織における粒成長挙動のモンテカルロシミュレーション 光学シミュレーションを用いた近赤外光散乱に特化した光閉じ込め構造に関する研究 局在水素機能を利用したシリコン量子計算基板の高品質化に向けた研究 高電圧絶縁導電率向上に向けた低誘電損失材料の電気熱特性に関する研究 全固体リチウム二次電池の黒鉛負極特性に関する研究 イメージング法を用いた基板入射高速度粒子の角度分布計測 窒化物半導体を用いた縦型トランジスタの開発 ミリ波を用いた高感度バイオイメージング集積センサ回路の研究 センター試験問題解答ロボットの開発 ディジタルコヒーレント通信システムにおけるIQ不均衡の推定法 腱の弾性挙動における繊維蛇行回復メカニズムに関する研究 非連続CFRTPのマルチスケール弾性損傷進展解析 高成形形状記憶合金を用いた変位制御型ディスプレイの基礎研究 群ロボットシステムのフォーメーション制御 水素と二酸化炭素からメタンを合成するメタネーションの研究 複数プロペラによる小型航空機の機体対策に関する研究 高速噴流を用いた遠隔場への衝撃波形成 大型ヘリカル装置内における高速イオン軌道特性に対する径電場効果の影響 半導体レーザー—直接励起子タンソファイアレーザーを用いたラマン散乱分光イメージングシステムの開発 超流動ヘリウム流動場における量子渦の三次元可視化手法に関する研究 生分解性高分子を誘電層に用いた摩擦帯電型ナノ発電機の構築 フラーレンと炭酸セシウムの複合化による高導電性N型熱電材料の創製に関する研究 BNCT用ダイナミトリオン加速器のビーム輸送モデル構築に関する研究 連続エネルギーモンテカルロ計算に基づく予測モデルを用いたBayesian Monte-Carlo法による次元削減データ調整法の検討 愛知県における「まちの居場所」の活動場所および内容の変遷に関する研究 名古屋市における人口社会増減と居住地域選択要因の関連についての考察 空調設備の違いが作業効率に与える影響に関する研究 将来気候下におけるZEH・ZEB持続可能性の検討 早期型型乾線による水分分布に及ぼす影響に関する基礎研究 構造物各層の地震時最大変位応答の相関行列評価法に関する基礎的考察 低変形温度溶接材料と産業用ロボットを用いた「面外ガセット」駆手の疲労強度 土砂災害を導く風化が進行した固結シルトの強度特性に関する研究 水質が環境DNAの減耗に与える影響に関する基礎的研究—カワムツを対象として— Google Maps Directions APIを用いた空港アクセス旅行速度に着目した道路ネットワークの現状分析 森林空間構構に着目した簡易型炭素ストック量推計手法の開発—名古屋市の事例 東日本大震災の事例に基づく津波火災発生に関するロジスティック回帰モデルの構築 熱帯多雨林樹木の取水深度—根系形態と開花頻度との関係— 緑地運用圃場における土壌有機物の動態 樹種特有の性質(色調、におい、耐久性)に関わる木材成分の化学構造・体内合成(生合成)酵素ならびに組織内分布に関する研究 名古屋市はどのような公園を目指したか、それは川公園にどのように活かされているか、 フィリピンの小規模金採掘による水銀汚染の実態 Cryo-TOF-SIMSを用いたイチョウ生体成分の時空間配置の可視化 西表島の照葉樹林における飛翔性甲虫群集の林床間比較 インドネシアの森林火災とそれに関わる木材製品の日本への輸入の実態 地域資源の持続性における都市の木質化効果 細胞変形における応力刺激と応答 C4植物葉組織の三次元形態解析および葉肉葉緑体配置の向背軸間の比較 サツマイモ茎葉固定能に与える土壌養分環境の影響 ゲノム編集技術を利用したコショウランの育種法確立 イネ節間伸長抑制因子のコゲ植物における機能解析 バスマティイネの耐冷性改善のための遺伝解析 変動気候におけるイネの気孔開閉特性の多様性 マイコウイルス感染によるFusarium菌叢の代謝調節乱及生物学的性状解析 ソルガム子実多収性品種「龍神早生」の遺伝学的解析 糖尿病マウスモデルの雄性生殖細胞発生過程におけるDNAメチロームとトランスクリプトームの解析 ニワトリの従属性に関する行動遺伝学的研究 母トリ卵黄へのIgY抗体の輸送機構に関する研究:FcRY受容体の機能解析 黒毛和種牛における直射日光下での末梢血流を介した体温調節メカニズム B6マウス胚着床における、CTTNBP2NLの解析 ニグリマスマメダカOryzias nigrimasの体色黒色化に関する行動・生理学的研究 モデル昆虫・病原糸状菌感染感染系での両者の遺伝子発現変動の解析 カイコ細胞で増殖感染する遺伝子組換えHycuMNPV/バクミドの作製 ザザリウム菌の分生子誘導物質の類縁体の合成 疫病菌交配ホルモン合成酵素に関する研究 トガリネズミ由来の麻痺性神経毒ベブタドの構造と機能 植物由来成分を含む機能性ポリマーの合成 食用植物に含まれる炎症抑制物質の探索 古細菌型メタロンの糖鎖構造に関するプレニル化FMN依存性脱炭酸酵素の研究 ビッグデータと機械学習を用いた動物転写制御機構の解明とその応用 アミノ酸による細胞内カルシウム濃度上昇とシグナル伝達との分子機構に関する研究 乳腺の退縮初期に高発現するタンパク質に関する研究 健康と疾患に関わる細胞表面糖鎖の濃度および環境因子による発現制御機構 逆遺伝学および構造グライコムクス手法を用いた動物糖鎖の病態生化学的研究 Studying cellular and molecular mechanisms of muscles and bones development and diseases 食スタイルを介した体内時計の同調メカニズム メタノサルシナ属メタン生成古細菌のメタノコンドロイデン分解酵素遺伝子群の解析 食用カビFusarium venenatumを利用した物質変換および物質生産系の開発 植物病原菌が生産する新奇サイトカニン構造と機能の解明 ジャスモン酸の開花促進作用に関する研究 非窒素固定性シアノバクテリアSynechocystis sp. PCC 6803への窒素固定能の導入 高等植物シロイヌナズナの概日時計システムを構築する振動タンパク質の機能解析 アントシアニンを利用した脱輸送体の研究 トマトの果実結果に関する研究 植物の自己集合性タンパク質を利用した細胞内区画の構築 化合物ライブラリーの構築を指向した含窒素複素環化合物の合成研究 ヒト表皮細胞におけるタンパク質架橋酵素の基質に関する研究 健康長寿創薬をめざした酵母寿命制御因子の解析
		電気電子情報工学科	
	機械・航空宇宙工学科		
	エネルギー理工学科		
	環境土木・建築学科		
農学部	生物環境科学科		
		資源生物科学科	
農学部	応用生命科学科		

より深く、より広く学問を研究する専門家を養成

学部を卒業後、専門分野をさらに研究する場として大学院があります。各研究科(医学系研究科博士課程を除く)は、原則として博士前期課程2年(修士)及び博士後期課程3年(博士)に区分されます。博士前期課程は、広い視野に立って清深な学識を授け、専門分野における研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要能力を養成します。博士後期課程は、専攻分野での研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養います。

● 人文学研究科 …… 人文学	● 工学研究科 …… 有機・高分子化学/応用物質化学/生命分子工学/応用物理学/物質科学/材料デザイン工学/物質プロセス工学/化学システム工学/電気工学/電子工学/情報・通信工学/機械システム工学/マイクロ・ナノ機械工学/航空宇宙工学/エネルギー工学/総合エネルギー工学/土木工学
● 教育発達科学研究科… 教育科学/心理発達科学	● 生命農学研究科 …… 森林・環境資源科学/植物生産科学/動物科学/応用生命科学/名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学/名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学
● 法学研究科 …… 総合法政/実務法曹養成(法科大学院)	● 国際開発研究科 …… 国際開発協力
● 経済学研究科 …… 社会経済システム/産業経営システム	● 多元数理科学研究科… 多元数理科学
● 情報学研究科 …… 数理情報学/複雑系科学/社会情報学/心理・認知科学/情報システム学/知能システム学	● 環境学研究科 …… 地球環境科学/都市環境学/社会環境学
● 理学研究科 …… 素粒子宇宙物理学/物質科学/生命理学 名古屋大学・エディンバラ大学国際連携物理学	● 創薬科学研究科 …… 基盤創薬学
● 医学系研究科 …… 医科学/総合医学/名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学/名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学/名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学/総合保健学	

●…独立研究科

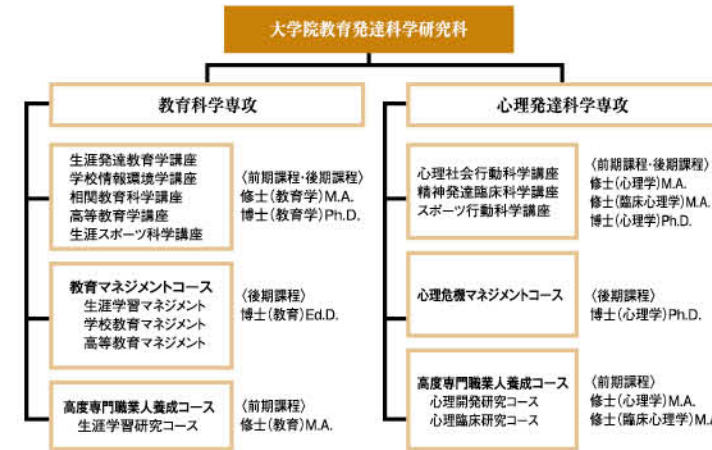
教育発達科学研究科

www.educa.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of EDUCATION and HUMAN DEVELOPMENT

生涯にわたる人間発達の科学を拓く

国際化、情報化、高齢化など、現代社会は急激な変化をみせています。こうした社会変化に適切に対応し、新しい時代を積極的に切り拓ける主体性と創造力を持つ人づくりが重要な課題とされ、その意味で、生涯にわたる人間の発達と教育のあり方を探究する教育発達科学研究への期待はますます高まっています。この期待に応えるべく、本研究科は、21世紀の地球的視野と深い人間理解、そして鋭い洞察力をベースに、教育科学と発達科学の全体論的な探究を推進する研究・教育機関です。本研究科には、教育科学専攻と心理発達科学専攻が設置されています。いずれも博士課程の前期課程と後期課程に分かれています。本研究科はこれまで多くの有為な人材を育てており、現在までの修了者および単位取得退学者のうち、約6割が高等教育機関での教育・研究に携わっています。



※精神発達臨床科学講座と心理臨床研究コースは、財団法人臨床心理士資格認定協会による第1種指定校に指定されています。

人文学研究科

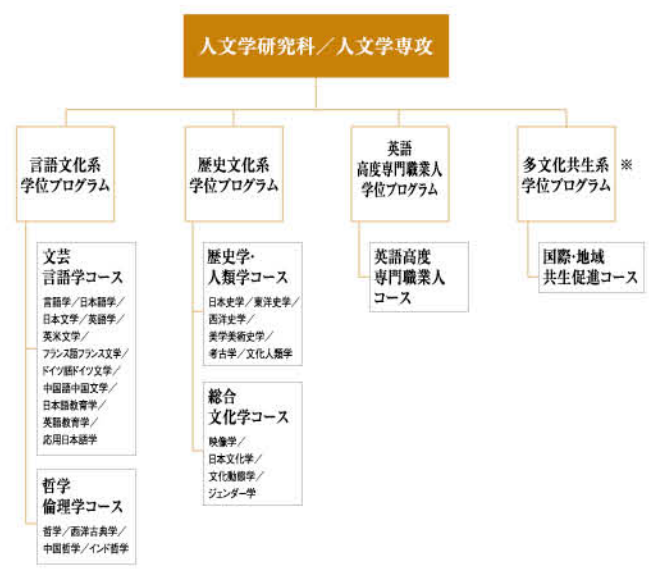
www.hum.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of HUMANITIES

人文学の最先端をめざす

グローバル化と最先端科学技術の時代にあって、なお人文学は諸学の基盤として揺るぎない地位を保っています。相互理解・異文化理解は、言語を通しておこないます。しかし、人は、そこに思想と感性が伴ってはじめて、異文化を理解し共生することができます。言語の本質をたどる探求が言語学を、世界を思索する態度が哲学を、過去を現在・未来へとつなぐ意志が歴史学を、人類が想像し創造してきた真善美を追求する心が文学、芸術学を生み出します。人文学研究科は、人文学の素養を身に付けることで、どのような諸問題にも危機にも勇敢に対峙することができる、実践力のある実務家、研究・教育のリーダーを育成する研究科です。そして、世界の人々が、人種、言語、文化、宗教を超えて互いに理解し合える社会を創っていくことに貢献する人材の育成こそが最大の使命です。

※人文学研究科は2022年度からカリキュラム及びコースを変更する予定です。詳細は決まり次第本研究科ホームページで公表予定です。



※「多文化共生系学位プログラム 国際・地域共生促進コース」は2023年度入学以降の募集を停止する予定です。

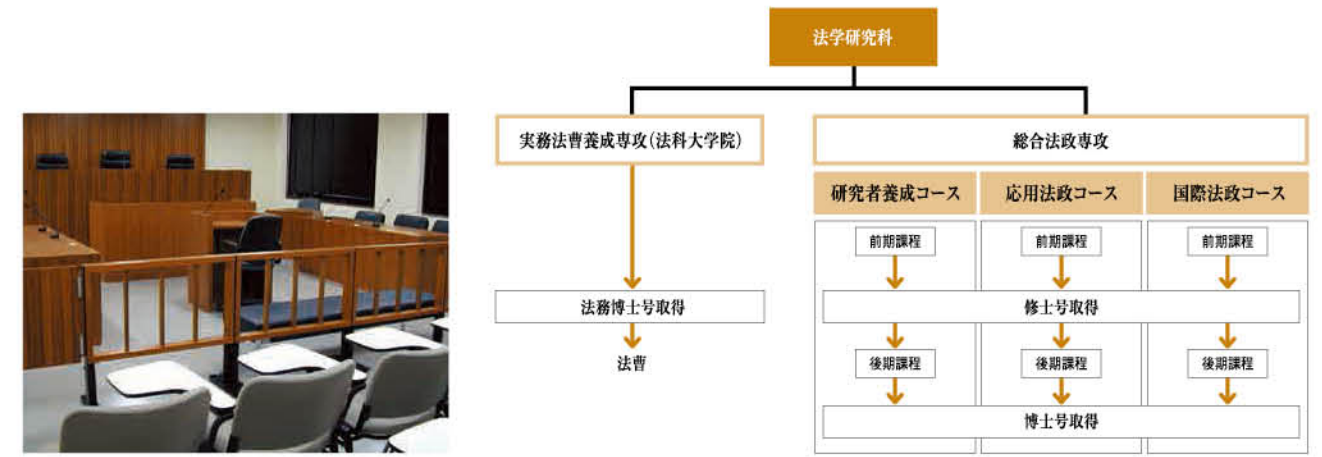
法学研究科

www.law.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of LAW

伝統と革新の融合のなかで社会の多様化・複雑化・国際化に応える研究者・法律専門家を育てる

政治と法は、人々の社会生活を創り出し、発展させるための知恵と技術です。法学研究科では、そのような法と政治の原理や制度を専門的に研究します。自由闊達な学風の本研究科は、これまで多くの優れた研究者や高度な専門的能力を持った人材を輩出してきました。しかし、急速な世界規模での社会状況の変化は、法律学・政治学研究が新たな地平を切り開くことを求めています。そこで本研究科は、欧米・アジアの研究機関と積極的に連携し、世界的な視野で研究できる環境を整備しています。よき伝統を継承しつつ、絶えざる革新を進める本研究科の「知的共同体」に新しいメンバーが加わることを願っています。



経済学研究科

www.soec.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of ECONOMICS

経済現象の解明に挑む

経済学・経営学を学ぶということは、私たちが生活している社会や、働いている組織について、その構造や変化の仕組みを解明することです。現在、世界各地で地域紛争、貧困、環境破壊などの深刻な問題が生じています。また、国内でも、巨額の財政赤字、医療、少子高齢化、女性の社会進出など、急速で大きな構造変動に直面しています。このように、経済学・経営学が取り組むべき課題は山積しており、今後の新しい発展が期待されています。このような背景のもと、本研究科は、自由闊達な学風の下で、最先端の学問を教授する場であり、同時に、研究に取り組む者同士が切磋琢磨しあう討論の場であること、そして「応用能力」と「研究能力」を備える一流の研究者ならびに高度な専門的職業人を育成することを目指しています。



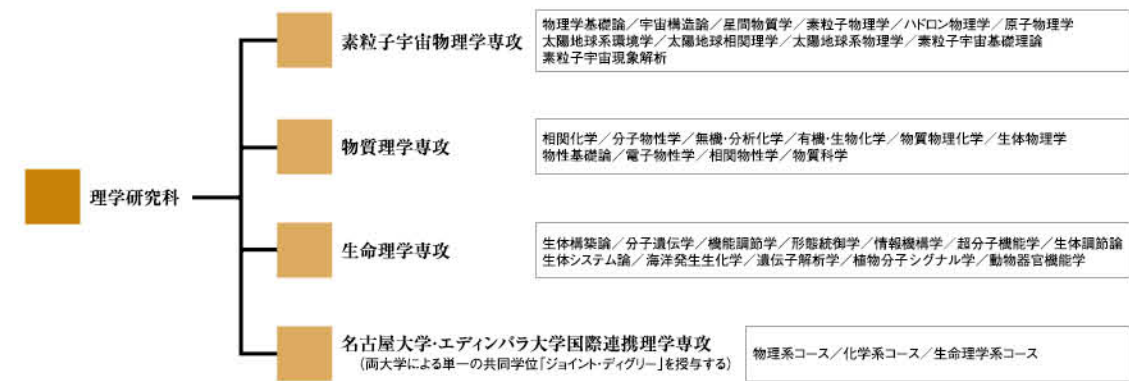
理学研究科

www.sci.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of SCIENCE

より深く、より広く自然科学を研究するために

近年の基礎科学研究分野は、それぞれの専門分野が一層深化・多様化に向かっていきます。また、最先端の科学研究では、物質の根源と宇宙の起源に関する素粒子物理学と宇宙物理学の結びつき、あるいは物性と科学反応性に基づいた新たな物質機能創造における物理学と化学の協力、原子分子レベルでの生命現象の解明のための生物学と物理・化学との連携、さらには地球・惑星と太陽系・宇宙を統合的に研究する宇宙・地球惑星系科学などに象徴されるように、伝統的な学問領域を超えた分野間の連携や学際領域の研究がますます重要になりつつあります。



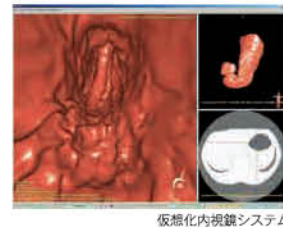
情報学研究科

www.i.nagoya-u.ac.jp

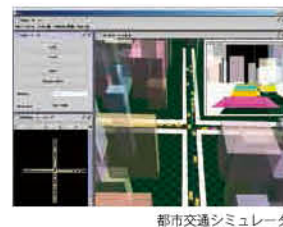
Graduate School of INFORMATICS

人類の直面する課題を解決し、新たな価値を創造する人材高度研究人材を養成する

情報学研究科では、革新的な情報科学技術と、システムとしての自然や社会に対する普遍的な理解とを駆使して、人類の直面する課題を解決し、新たな価値を創造するための総合的学問、すなわち情報学を構築し、その研究を推進します。そして、情報学の深い理解に基づき、情報科学技術の革新に寄与できる人材、情報科学技術をコアとするものづくりの仕組み、社会・組織の仕組み、意思決定の方法、科学研究の方法等を総体としてデザインできる人材を養成し、人材養成を通じて人類社会に新しい価値を提供することを目的としています。研究科附属価値創造研究センターの成果を還元する科目、情報学分野全体の最新の成果を紹介することを目的とする科目などを開講しています。これらのほか、博士課程教育リーディングプログラム「実世界データ循環型リーダー養成プログラム」など、新しい教育への試みにも積極的に取り組んでいます。



仮想化内視鏡システム



都市交通シミュレータ



自動運転車両を用いた実験



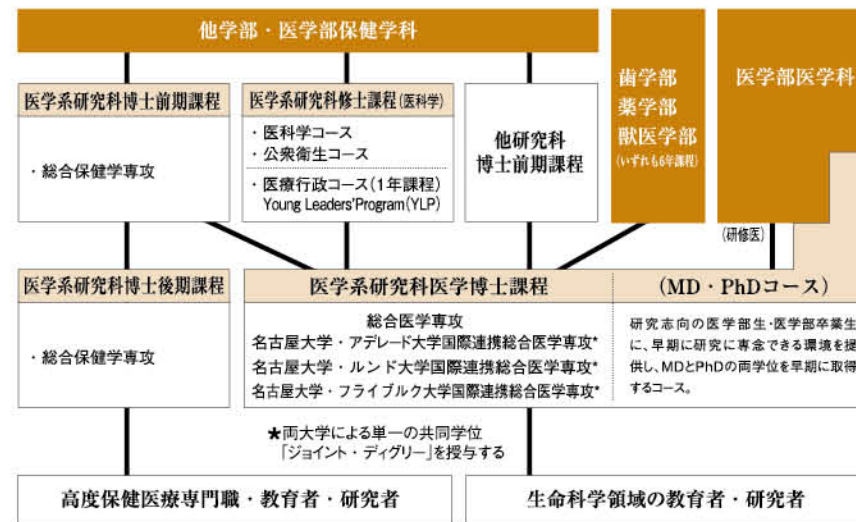
医学系研究科

www.med.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of MEDICINE

医学研究の最前線を行く

本研究科における大学院教育の最も大きな使命は、将来の医科学研究者の育成です。このため、多彩な仕組み(プログラム)を導入しています。学部から大学院までシームレスな教育を行うMD・PhDコース、博士課程教育リーディングプログラム、基礎研究医養成活性化プログラム、我が国初のジョイント・ディグリー・プログラム(オーストラリアのアデレード大学、スウェーデンのルンド大学、ドイツのフライブルク大学)、欧米・アジア・オセアニアの9大学が国際的な医学教育や共同研究の推進をめざすGlobal Alliance of Medical Excellence(GAME)の参画などです。また、総合保健学専攻は改組によりAI技術やデータサイエンスを駆使する先端情報医療学の拠点形成を目指しています。これらの新たな取り組みにより、明日の生命医科学・医療を開拓する人材育成を目指します。



工学研究科

www.engg.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of ENGINEERING

イノベーションを創出し、世界で活躍できる人材の輩出

ノーベル賞受賞者を生み出した自由闊達な学風の下で実施する

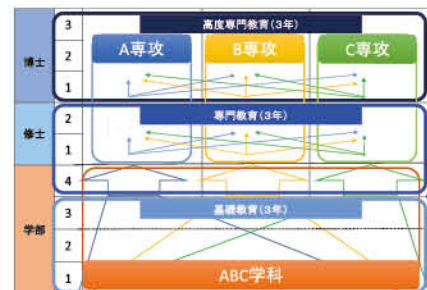
Basics - Specialization - Innovation 教育

工学研究科は、未来に向けて予測される技術社会の新しい展開に対応するため、基礎科学の知識の上に立ち、次世代の「工学・技術」を創造する能力を有し、豊かな専門性と同時に高度の総合性と、広い国際的な視野を併せもった研究者・技術者の養成を大学院教育の目的と定めています。「発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとして能力のある人材の育成」を大学院教育の基本方針としています。

全学共通及び工学研究科の教育目的と学位に照らして設定した基礎力、応用力、創造力・総合力・俯瞰力を、専攻・分野共通の教育目標におき、工学分野の特性に基づく教育実践と研究指導を行います。



◆ 3+3+3型教育システム ◆



◆学科に直結する複数の専攻(専攻群)を構成し、学部・大学院を一体としたシームレスな体制による、基礎教育3年、専門教育3年(学部4年+博士前期2年)、高度専門教育3年(博士後期3年)の【3+3+3型教育システム】

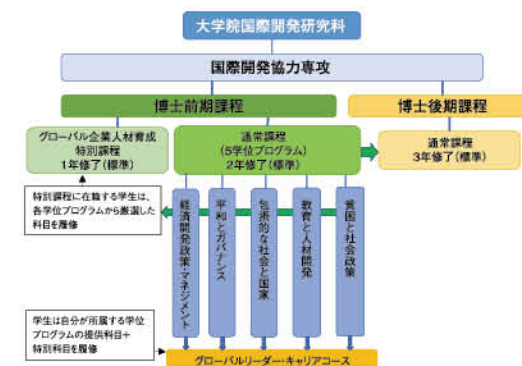
国際開発研究科

www.gsid.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of INTERNATIONAL DEVELOPMENT

我が国の国際開発協力を担うグローバル人材の育成

開発途上国では、市場経済化、グローバル化の進展とともに経済成長と産業の高度化が図られ、一部の国は豊かになりつつあります。他方、所得格差、不平等、紛争、テロ、自然災害、感染症などの諸課題が深刻化し、国際開発協力を担うプロフェッショナル人材の役割は益々重要になっています。国際開発研究科は、2018年に新しい博士前期課程カリキュラムを導入し、2015年に国際社会が定めた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」に対応した教育を展開しています。博士前期課程では、5つの専門教育プログラムに加え、社会人向けの1年制「グローバル企業人材育成特別課程」や将来、国際機関に就職することを希望する大学院生向けに「グローバルリーダー・キャリアコース」を提供しています。国際開発研究科では、すべての授業が英語で行われており、在学生の70%を世界各国からの留学生が占めていることから、日本にいながら日常的に国際交流が可能であり、きわめて国際的な学修環境の下で学ぶことができます。修了生は、国内外の開発の現場で活躍したり、政府や国際機関の中核人材として政策策定に従事したり、平和で公平な世界の実現に向けて課題解決に資する政策研究に貢献しており、世界94か国に修了生のネットワークが拡大しています。



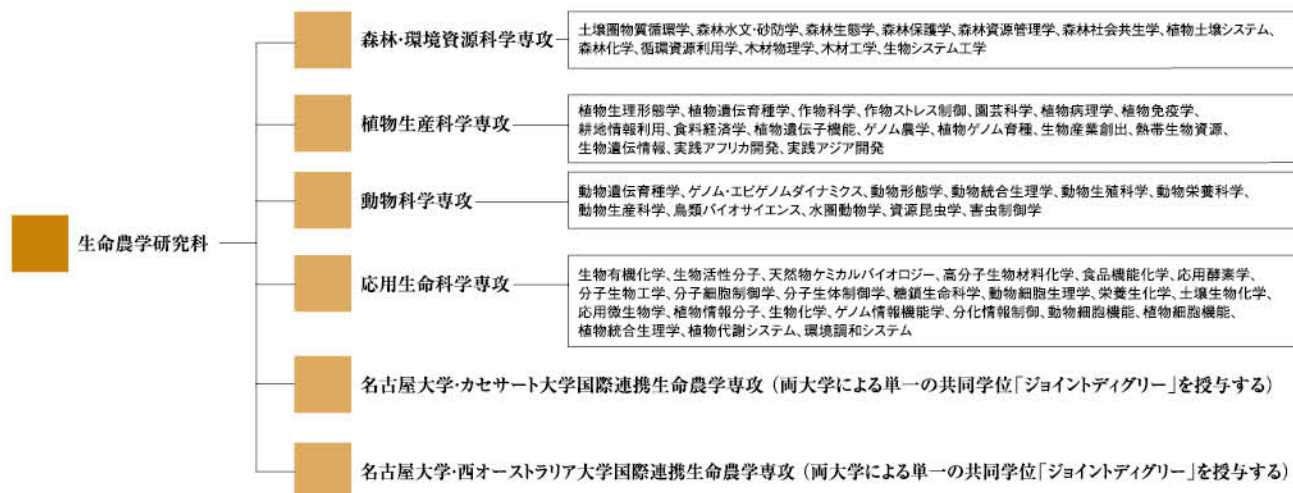
生命農学研究科

www.agr.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of BIOAGRICULTURAL SCIENCES

生物資源の未来を拓く研究最前線

本研究科は、生命科学と農学を融合し、21世紀を先導する学問領域を創り出すことをめざしています。個性的で、自然を愛し、人間を愛し、そして科学や技術の創造に生きがいを求める若者とともに、この大事業を進めたいと願っています。



多元数理科学研究科

www.math.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of MATHEMATICS

硬くて柔軟な科学 = 数学 数学の伝統と数理科学への拡がり

数学は、古くギリシャ時代、厳密な体系を持つ学問言語として確立され、ユークリッドの「原論」の中にまとめられています。そして物理学は数学を基本言語とすることで近代科学となりました。微分積分学の基本原理とその力学への応用はニュートンの「原論」(プリンキピア)にまとめられています。さらに20世紀には、社会科学から人文科学まで、あらゆる分野で数理的手法がより重要となりました。純粋数学は数や図形の持つ、深く広い世界を探求し続けていますが、同時に諸科学における数理的現象の解明(数理科学)と深く関わっているのです。400年近く未解決だったフェルマーの最終定理が近年証明されました。これは純粋数学の一つである整数論での画期的な成果です。その一方で同じ整数論の結果が、インターネットの安全性を高めるために利用されています。さらに最近では、整数論と数理論理学(特に素粒子論)との間に深い関わりがあることが予想され、その解明は今世紀最大の夢の一つと期待されています。こうして数学は、純粋数学のコアを持ちつつ、広い世界との柔軟な関わりを持って今も発展しています。



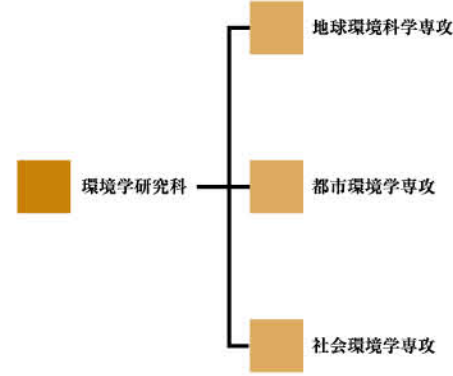
環境学研究科

www.env.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of ENVIRONMENTAL STUDIES

持続的な“Quality of Life”を文理連携で考える

科学や産業技術の発展は、自然が与えた障害を克服し、その制約を緩和するための努力の結果生み出されたものです。しかし、人間の生産活動が増加するに従って、人間が自然を傷め、結果的に人間自身の生存に脅威を与えるようになってきました。その端的な例は、海水汚染や気温の上昇など不可逆的な環境への影響でしょう。一方、世界的な都市化や国際化に伴い、都市環境、生活環境のありかたも再考を迫られています。地震・台風などの災害に悩まされてきた日本にとっては、自然のリスクに対する備えも重要な課題です。したがって、環境に関する問題は、公害や地球温暖化など狭義の環境問題を包含する形で、持続性も考慮した真の豊かさ、ないし人間が幸せに生きるための条件の問題として、幅広く捉え直す必要があります。



- 地球惑星科学系**
地球環境システム学講座 / 地質・地球生物学講座 / 地球化学講座 / 地球惑星物理学講座 / 地球惑星ダイナミクス講座 / 地球史学講座 / 生態学講座
- 大気水圏科学系**
地球環境変動論講座 / 気候科学講座 / 物質循環科学講座 / 地球水循環科学講座
- 持続発展科学系**
都市持続発展論講座 / 環境機能物質学講座 / 物質環境構造学講座 / 地圏空間環境学講座 / 地域・都市マネジメント講座
- 建築学系**
環境・安全マネジメント講座 / 建築・環境デザイン講座 / 建築構造システム講座
- 環境政策論講座 / 経済環境論講座 / 環境法政論講座 / 社会学講座 / 地理学講座**



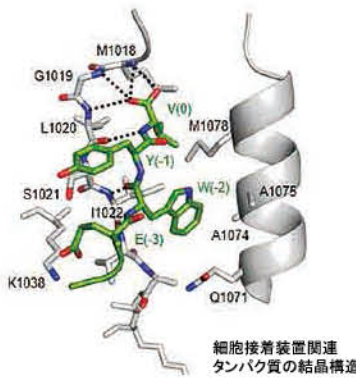
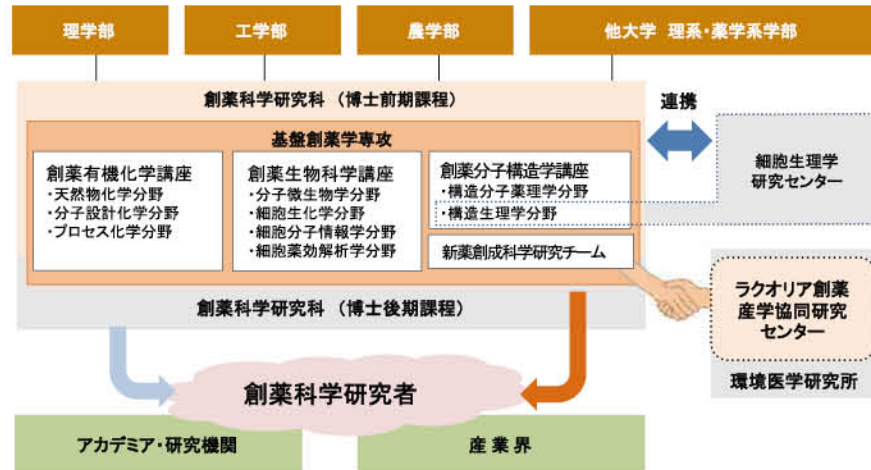
創薬科学研究科

www.ps.nagoya-u.ac.jp

Graduate School of PHARMACEUTICAL SCIENCES

名古屋発のブロックバスターをめざして

薬学分野で、ブロックバスターとは、全く新しいメカニズムで作用し、これまでの治療体系を覆す新薬であるために、わずか一品目で巨額な売り上げを上げる、超大型の医薬品のことをいいます。これまで本学が培ってきた理学・工学・農学の基盤的学問の粋を結集して、幅広い視野、独創的発想力と骨太の研究遂行力を身につけた創薬基盤研究者を育成することが、本研究科の目的です。少子高齢化の進むわが国において、これまでにない発想で次世代の新薬を開発することができる創薬基盤研究者は、アカデミアと産業界の双方で活躍することが期待されています。



C O L U M N

名大生の研究発表



医学系研究科 総合医学専攻
博士課程修了
伊澤 俊太郎 さん
出身校: 東京都 私立麻布高校

(第11回〈令和2年度〉日本学術振興会育志賞受賞・令和2年度名古屋大学学術奨励賞受賞)

睡眠と記憶には深い関係があります。例えば寝ている間、特にレム睡眠の間には夢を見ますが、その内容は記憶に保存されず、起きた後はすぐに忘れてしまいます。もし夢の記憶が現実の体験と同じように保管されれば、夢と現実を混同し生きる上で支障をきたすことでしょう。このような睡眠中の「記憶忘却」について、脳の中の視床下部という領域でレム睡眠中に活動する神経が、海馬という記憶を制御する領域に信号を送るメカニズムを発見しました。結論だけ聞くと派手な研究ですが、実験はネズミを用いて行って、記憶を測定するための行動テスト、脳波を見るための手術、狙った神経の活動を操作するレーザー機器の配線、など地道な作業ばかりで、論文を書くプロセスも本当に大変でした。

名古屋大学は教授陣や研究設備が素晴らしいことはもちろん、リラックスして研究に取り組める環境です。キャンパス内にはいくつものカフェがあり、気分を変えて論文の読み書きができます。本山まで歩けば居酒屋もあり、良い実験結果が出た夜のお酒は格別です。栄へのアクセスも良いので休みにはしっかり羽根を伸ばすこともできます。私自身、もともとは名古屋に縁がない立場でしたが、すっかり気に入ってしまいました。少し足を伸ばせばあらゆる種類のレジャーが体験できる、東京よりもコンパクトなサイズ感、研究も遊びもという選択を可能にしてくれます。



経済学研究科 社会経済システム専攻
博士後期課程3年
塚本 高浩 さん
出身校: 愛知県立刈谷高校

(第10回〈令和元年度〉日本学術振興会育志賞受賞・令和元年度名古屋大学学術奨励賞受賞)

地方創生を推進するためには、統計データを用いた地域分析が不可欠です。そこで私は、地域に関する統計データの整備と、統計データを用いた地域分析のための分析手法の開発を行っています。具体的には、統計データの整備として、イベントなどの経済波及効果を推計するために用いられている「産業連関表」と呼ばれる統計表の市町村単位のバージョンを作成しています。このことにより、ある経済的イベントがどの市町村のどの産業にどれくらい経済波及効果を与えるかを計算することが可能になります。また、分析手法の開発として、地域間の相互依存関係を考慮した計量経済学的な生産性・効率性の分析手法を開発しています。ここで計量経済学とは、経済学と統計学の融合分野であり、特に実世界から得られる非実験データの統計的な分析手法を考える学問領域です。ビッグデータ時代に突入し、様々なデータが入り手可能になってきています。データを用いて社会にとって有益な分析を行うことが、求められていることではないでしょうか。名古屋大学は総合大学ですので、様々な分野のデータ分析手法を学ぶことができます。研究の道に進むにせよ、それ以外の道に進むにせよ、是非名古屋大学でデータから社会的価値を創造できるような人材になってもらえればと思います。



工学研究科 機械システム工学専攻
博士後期課程修了
山崎 匠 さん
出身校: 大阪教育大学附属高等学校池田校舎

(令和2年度名古屋大学学術奨励賞受賞)

私は熱や電気、そしてスピン(磁気の源)の流れの変換現象について研究しています。エネルギー問題が深刻化している今、私たちの身の回りには熱エネルギーの有効活用や、熱エネルギーの高度な制御に対する注目度が高まっています。そして熱をマネジメントするには他のエネルギー形態との変換効果が鍵となります。私は熱と電気の変換効果や、熱とスピンの変換効果(熱スピン効果)に焦点を当て、「熱を測る」という観点から研究を行ってきました。中でも、熱スピン効果はここ10年ほどで発見された新現象であり、そのメカニズムの全貌は明らかになっていません。私は光を使った高速温度センシング技術を用いることで、熱スピン効果の高速応答特性を明らかにし、そのメカニズムに迫ることができました。

熱とスピンの融合研究領域は世界的規模で研究が進められている、まさに「熱い」分野です。私は名古屋大学に入り、指導教員の先生や周りの環境に恵まれたからこそ、この最先端の研究に携わることができました。他にも世界トップレベルの研究が数多く存在する名古屋大学で、一度研究の世界にどっぷり浸かってみてはいかがでしょうか? 決して一筋縄でいくものではありませんが、最先端を体験したという事実は将来の糧になると思います。



多元数理科学研究科 多元理数科学専攻
博士後期課程修了
武田 渉 さん
出身校: 新潟県立柏崎高等学校

(令和元年度名古屋大学学術奨励賞受賞)

私はフェルマーの最終定理のような方程式の整数の解に関する研究をしています。方程式の整数解を求める問題は理解することは簡単ですが、その背後に高度な数学が隠されていると興味深い問題です。そして、フェルマーの最終定理の証明に350年ほどかかったことが象徴的ですが、一筋縄では解けない問題ばかりです。私の研究は整数の解の分布と特別な素数の分布との間に関係性を与えるというアプローチが主に使われています。そのアプローチを用いて、長い間解決できていない問題を部分的に解決したり、多くの計算と理論に基づいて新たに予想を立てたりしています。

研究が認められ論文として出版されたときは大きな達成感を得ることができます。しかし、研究生活は、新しい定理を証明するまでに数か月以上かかることがほとんどであり、うまくいかない期間が大半です。そのような時は研究室の仲間や教授に相談することで、頭の整理ができ新たな発想を生むことができている。これは研究に限った話ではなく、ほかのことに関しても当てはまると思っています。同じ信念を持った仲間たちと素晴らしい教授たちに囲まれ、名古屋大学で得た学びは一生の財産になると思います。

※日本学術振興会育志賞
大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院博士後期課程在学者で、当該大学長または所属する学長から推薦された者を対象に受賞者が決定されます。日本学術振興会より、毎年度、全国で16名程度に賞が授与されます。

※名古屋大学学術奨励賞
名古屋大学大学院博士後期課程に在学する学生で、人物・研究水準ともに優秀、かつ、研究科長及び指導教員から推薦のあった者を対象に受賞者が決定されます。名古屋大学より、毎年度、学内で10名以内に賞が授与されます。



学部情報

Q & A

情報学部コンピューター科学科と工学部電気電子情報工学科の違いを教えてください。

ベースとして、学ぶ科目が違います。例えば、コンピューター科学科では、情報に関する基礎科目をベースとして学び、電気電子情報工学科では、電磁気学や電気回路に関する基礎科目を学ぶことになります。実際に4年生で研究室配属され、研究するテーマも異なります。

理学部の化学科と工学部の化学生命工学科の違いを教えてください。就職先も異なりますか？

理学部については、2年生で学科配属になりますので、まずは1年次には教養の授業(全学教育科目)を中心に学ぶことになります。工学部化学生命工学科については、教養の授業とともに、工学部の基礎となる科目を1年次から学ぶことになります。

理学部では、科学の基礎となる理(ことわり)を解明し、工学部では実際に物を作るといった出口が目標といった違いもありますが、この学科間ではコラボもしています。

また、就職先は大きく異なることはありません。本人が学んだことを活かしたいという意志で、同じような就職先が見つかると思います。

経済学部にはって経済学科に進めないと思うと心配です。

経済学部は、たしかに経済学部で入学してから2年次より二つの学科にわかれますが、みなさんの希望を聞いた上で、配属は決定していますし、万一希望が叶わなくとも、関連専門科目という形で経営学科にしながら経済学科の授業を受講できますので、積極的に興味ある講義は、学科を越えて受講してください！

心理学を学べる学部を教えてください。

本学では、文学部、教育学部、情報学部と3つの学部で心理学を研究しています。それぞれで基礎として学ぶ科目が大きくなります。文学部については、3つの学位プログラム(言語文化系、歴史文化系、環境行動系)の入門科目を履修した上で、環境行動学系の心理学を学ぶことになりますし、教育学部においては教育学や心理学の入門科目等を学んだ上で心理学を学ぶことになります。情報学部については、その名の通り、情報学の基礎科目を学んだ上で心理学を学ぶこととなりますので基礎となる科目が大きくなるかと考えていただければと思います。

農学部の3学科の違いを教えてください。

親に聞くと農学部は農業だから...というイメージをもっているかもしれませんが、そうではありません。

生物環境科学科は、環境保全と資源利用を目指すこともあり、フィールドに出て学ぶことが多いです。

資源生物科学科は人類の食をグローバルに支えるというところでは、ライフサイエンスを学ぶこととなりますが、品種改良といったものだけでなく遺伝資源等も研究しています。

応用生命科学科は、生命現象を分子レベルで科学するということを目指しており、まさにラボにおけるバイオ研究というイメージをもってもらえればと思います。

工学部の環境土木・建築学科では、自分が希望するプログラムに進むことはできますか？

環境土木工学プログラムと建築学プログラムへのプログラム分けは2年次への進級時に行われます。基本的にはみなさんの希望を聞いた上でプログラムの選択が行われますが、いずれかのプログラムの定員を上回る希望がある場合には、1年次に履修した科目の成績を考慮して調整されます。

「法曹コース」について教えてください。

2019年度以降の入学者を対象として、法曹養成のための「5年一貫教育」を実施する「法曹コース」が設置されました。必要な条件を満たせば、早期卒業制度を利用して3年間で法学部を卒業し、法科大学院の既修者コース(2年間)に進学することができます。つまり1年前倒しで法科大学院を卒業することができます。具体的には入学後に説明会等がありますので、希望のある学生は積極的にチャレンジしてみてください。

どの学部で学べば創薬科学研究科に進めますか？

創薬科学研究科では、多様な学問分野を集め融合させること(多分野融合)により、新しい創薬の展開ができると考えていますので、理学・工学・農学・医学など、多くの学部で学ぶ知識が創薬に役立つと考えています。本研究科の入学試験に合格すれば、どの学部からでも入学可能です。なお、創薬科学研究科では、理学部・工学部・農学部の4年生の一部の学生が研究室に配属され、卒業研究を行っています。

学校推薦型選抜で医学部医学科に入った人はどんな活動をしているのですか？

学校推薦型選抜で入学した学生は、1年次の特別カリキュラムとして、基礎セミナー・基礎医学体験実習・ラボツアー・研究体験コース・メディカルサイエンスカフェ等に参加します。また、学生研究会に所属して研究活動をするともに、様々な支援を受けることができます。学会参加や海外派遣などの費用サポートが受けられる中、学生同士が切磋琢磨することで、知見を広げリサーチマインドを涵養することができるのが魅力です。

工学部にはどれくらい女子学生がいますか？

工学部の女子学生の割合は10.3%、工学研究科(大学院)の女子学生の割合は博士前期課程で9.6%、博士後期課程で15.0%です(2021年5月1日現在)。男子学生に比べて女子学生の割合が少ないものの、工学の各分野で多くの女子学生や卒業生、教員が活躍しています。また、名古屋大学には、理系女子学生によるあかりんご隊というコミュニティがあり、出張科学実験を行ったり、セミナーを企画運営したりしています。様々な分野の理系女子の先輩と交流もできます。他にも、理系女性研究者の話を聞く機会として、女子中高生理系進学推進セミナーというものも開催していますので、ぜひご参加ください。



医学部はキャンパスが離れているようですが、サークル活動に参加することはできますか？

医学部の専門科目は鶴舞キャンパス(医学科)や大幸キャンパス(保健学科)で開講されていますが、もちろん東山キャンパスを中心に活動しているクラブ・サークルに所属して活動することは可能です。

その他にも、医学部生で構成されるサークルがいくつもあります。運動系サークルの多くは西日本医科学学生総合体育大会(通称:西医体)に参加していますが、この大会は、日本国内では国体に次ぐ参加者数を誇る大会のようで、西日本の医学生と交流を深める場になっているようです。



附属図書館

www.nul.nagoya-u.ac.jp 中央図書館 MAP B3 2

知識と情報の羅針盤

附属図書館は、大学における教育・研究活動を支援する学術情報基盤として、学内に20ヶ所以上ある図書館・部局図書室からなっており、330万冊以上の蔵書を誇っています。

学生が学習や研究で困ったときの相談窓口があるほか、グローバル化、国際化への対応として、英語や中国語での対応が可能なサポートスタッフも配置されています。

また、名古屋大学の研究者が執筆した学術論文等をインターネットで全世界へ無料配信するNAGOYA Repositoryや、大学では珍しいカフェのある図書館が2ヶ所(中央図書館、GRL)あります。



中央図書館全景

● 中央図書館 (東山キャンパス内) ラーニング・commons ~自由闊達な学風を支える~

2F 中央図書館の2Fは、ラーニング・commons(学生の自律的な学習を支援する空間)です。図書館の中でありながら、会話しながらの学習が可能で、ディスカッションに役立つホワイトボード、プロジェクタ、PCなどの機器も備えています。部屋を貸し切って利用することもできます。また、サポートデスクでは、大学院生スタッフに学習相談をすることができます。



ディスカバリスクエア
広いオープンスペースで、多人数でのワークショップ、ゼミ発表などで利用できます。テーブル付きの椅子を自由にレイアウトできます。



多目的ラーニングエリア
PC利用、個人学習など自主的な学習の場です。広めの机が設置され、持ち込みノートPC用の電源も充実しています。



サポートデスク
大学院生のサポートスタッフがレポートの書き方、文献の探し方、PCの使い方などの相談に応じます(日英中の3カ国語対応)。



グループラーニングエリア
可動式の机を自由に組み合わせ、人数に合わせた利用ができるグループ学習に最適な場所です。



セミナールーム A/B
全席にPCが設置され、講習会や研究発表、勉強会などに利用できます。予約されていない時間帯には、自由にPCを使えます。



カフェ
館内に併設されたカフェ。弁当などの持ち込みもできます。



B1 雑誌や新聞のバックナンバーを配架しています。たくさん雑誌や新聞が収容できるように、電動集書架になっています。



1F 社会科学系と自然科学系の研究用図書、官報・議会資料や判例集を配架しています。一部、電動集書架になっています。



3F 様々な分野の学習用図書を配架するほか、ゼミ発表、プレゼンテーション、ミーティングなどに適したラーニングポッドを設けています。



4F 人文科学系の研究用図書と東洋学や地方史研究に必要な資料があるほか、学生から名誉教授まで使うことができる研究個室があります。

学内全図書館・室利用一覧

中央図書館	理学図書室	宇宙地球環境研究所第二図書室
文学図書室	工学中央図書室	情報基盤センター図書室
教育発達科学図書室	化学・生物図書室	総合保健体育科学センター図書室
教育学部附属学校図書室	電気・情報図書室	国際機構図書室
法学図書室	機械・航空宇宙図書室	創薬科学図書室
アジア法資料室(法学図書室分室)	土木図書室	ジェンダー・リサーチ・ライブラリ
経済学図書室(EU情報センター)	生命農学図書室	医学部分館(鶴舞キャンパス)
国際経済政策研究センター情報資料室	環境医学研究所図書室	(医学部分館)保健学図書室(大幸キャンパス)
情報・言語合同図書室	宇宙地球環境研究所第一図書室	
国際開発図書室	未来材料・システム研究所(宇宙地球環境研究所第一図書室内)	

● 鶴舞キャンパスの図書館



医学分野の図書・雑誌・DVDを揃えているほか、PCコーナーやグループで予約して利用できるゼミ室などがあり、医学部の学生・教職員、附属病院の職員の学習・研究をサポートしています。
医学科の学生は、夜間や休日にも図書館の利用が可能です。また、6年生が年間を通じて利用できる指定席もあります。館内の医学部史料館では、医学の歴史を辿ることができる貴重な資料を展示しています。

● 大幸キャンパスの図書館



中央図書館以外で唯一、ラーニング・commonsを備えた図書室です。大幸キャンパスで学ぶ学生に多様な学習空間を提供するとともに、文献調査に役立つ各種の講習会を開催して、学習や研究をサポートしています。保健医療学分野の図書や雑誌を所蔵しています。

PICK UP

● ジェンダー・リサーチ・ライブラリ (GRL)
GRLは、ジェンダー問題に関する研究、教育、研究者の育成、ならびに男女平等意識の啓発、普及に向けて、フェミニズム、ジェンダー研究に関わる図書、雑誌、リーフレットやパンフレットなど、多様な文献、史・資料を蒐集・保存しています。

VOICE

● 図書館利用者の声

教育発達科学研究科 学生
名古屋大学の中央図書館には、有数の素晴らしい設備が整っています！蔵書は高校の図書館とは比較にならないほど多し、昔の文献から最新の文献まで揃っています。文献の調べ方がわからなければ大学院生のスタッフがやさしく教えてくれますし、論文の書き方をはじめとする講習会も充実していて、研究を進めるためのサポートを様々な角度から受けられます。一人で集中して学習したいときは4階の研究個室へ。まるで自分専用の研究室のような空間があります。逆に仲間と熱く議論したいときは2階のグループラーニングエリアや3階のラーニングポッドへ。議論が白熱して図書館に1日中いてしまうなんてこともあります。恵まれた図書館でぜひ一緒に学びましょう！

経済学部 経済学科 学生
中央図書館では平日・休日に問わず22時まで開館しているため、思い立った時に図書館を利用しやすいです。また大学では、1つの課題に対して数人で作業を行うことが増えるかもしれません。そのような場合に、プロジェクタやホワイトボードを活用しながら課題に取り組むことができるスペースが設けられています。図書館主催の講習会等もあり、学生生活で有用な知識を手に入れられるでしょう。図書館の使い方はそれぞれですが、本を読む場所、勉強をする場所以上の存在になりえるかもしれません。入口にカフェもあり手軽に息抜きができるところも良いところの1つです。

国際高等研究機構

※国際高等研究機構は、名古屋大学の最先端基礎研究を支援する組織として設置され、現在トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)、素粒子宇宙起源研究所(KMI)、高等研究院がその中に位置づけられています。

トランスフォーマティブ生命分子研究所

www.itbm.nagoya-u.ac.jp MAP D2 1

「トランスフォーマティブ生命分子」で世界を変える

トランスフォーマティブ生命分子研究所(ITbM)は、文部科学省の世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)の採択を受けて発足した新しい国際研究所です。ITbMでは、名古屋大学が世界に誇る合成化学と動植物科学の融合により、生命を「知る」「見る」「動かす」分子の開発に取り組み、私たちの生活を大きく変える生命機能分子「トランスフォーマティブ生命分子」の開発を通じて、現代社会が抱える環境問題や食糧問題に「分子」の力で貢献したいと考えています。

ITbMでは、研究グループや分野の枠にとらわれない組織づくりを進めています。壁のないミックスラボ、ミックスオフィスを設置し、若さとエネルギーに満ちあふれた化学者と生物学者が席を並べ、日々「ワクワク」しながら研究に取り組み、自由な議論を通じて斬新なアイデアが次々と生み出されています。アフリカの食糧生産に深刻なダメージを与えている寄生植物ストライガを撲滅する分子、植物の気孔の開閉を制御し、植物の生長を促進する分子、動植物の体内時計を制御する分子、生体内を直接視る分子などの開発が進行中です。ITbMには、外国人主任研究者を初め多数の外国人研究者が世界中から集い、多くの本学の学部生や大学院生もITbMの研究に加わっています。

分子をつなぎ、価値を生み、世界を変える。これが我々の想いです。

※当研究所は理学部・工学部・農学部の学生に対する教育も行っています。



ITbM棟外観



"Mix"をキーワードに、すべての研究者が一体となって研究を行う"Mix-lab"

高等研究院

www.iar.nagoya-u.ac.jp MAP F3 2

世界最高水準の研究活動を推進する

高等研究院は、名古屋大学が学術憲章に基づき、世界最高水準の研究活動を推進し、卓越した研究成果をあげ、さらにそれを社会に還元するため、全国の大学に先駆けて2002年に創設された研究専念組織です(初代院長:野依良治博士)。

【高等研究院のミッション】

- 高等研究院は、名古屋大学の学術の発展のため以下の4つの活動を基本とします。
- 1 名古屋大学の学内アカデミーとして、優れた研究の紹介と発信に努め、それらを名古屋大学の構成員が共有することを促進し、学術の振興をはかる。
- 2 特に優れた研究に対して実質的な支援を行い、名古屋大学の研究の飛躍的向上をめざす。
- 3 若手研究者の自立支援を積極的に推進し、将来名古屋大学の中核を担う研究者を育成する。
- 4 国際的な高等研究院活動を通じ、名古屋大学の国際交流の発展に寄与する。

高等研究院は、優れた研究を幅広く紹介し、それを面白く味わわせる雰囲気醸成は自らの使命の一つと考えています。高校生や一般市民を含んだ幅広い聴衆を対象に、世界トップレベルの研究者による講演会「名古屋大学レクチャー」を年1回程度開催します。さらに、教養教育院と共同で全学教養科目「学問の面白さを知る」も開講しています。この講義は、本学に入学したばかりの学生が、主に高等研究院に所属する(あるいはかつて所属した)優れた研究者の講義を聴講することにより、学問の面白さや研究に対する心構えを知ることを目的としています。



「学問の面白さを知る」で講義を行う益川敏英先生(2008年ノーベル物理学賞受賞)



高等総合研究館

素粒子宇宙起源研究所

www.kmi.nagoya-u.ac.jp MAP C2 4

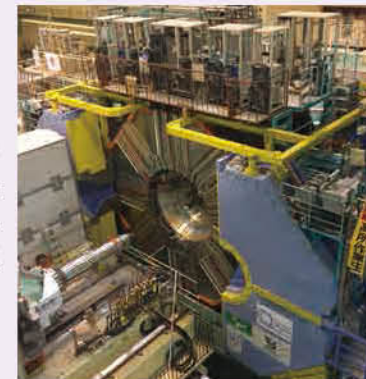
物質の根源・宇宙の起源に挑戦する

物質の根源・宇宙の起源が何であるかは、長く人類が追究して来た命題です。名古屋大学では、大学草創期から独創的な素粒子論研究の礎が坂田昌一博士らによって築かれ、これらが小林・益川理論へと繋がり、小林・益川両博士の2008年ノーベル物理学賞受賞に至りました。また、理論的研究と共に、早い時期から素粒子・宇宙分野の実験研究が進められ、チャーム粒子、タウニュートリノの発見、小林・益川理論の実証など、現在の標準理論を確立する上で鍵となった第一級の世界的成果を生み出しています。

素粒子宇宙起源研究所(KMI)は、名古屋大学におけるこれら輝かしい伝統をさらに発展させるべく、素粒子理論・実験分野、宇宙理論・観測分野、数理物理学分野、宇宙線研究分野の関連研究者を結集し、現代物理学の新たな地平を開拓することを目的としています。

KMIの研究者は、LHC実験、スーパーBファクトリー実験、スーパーカミオカンデなど新しい現象の発見が期待される国際的な実験プロジェクトで中心的役割を果たしています。さらに、標準理論を越える理論模型、弦理論など、独創的な研究で世界をリードしています。理論研究、加速器実験、宇宙観測という様々な手法で研究を進めるこれらの人材を結集し、密接に連携することで、KMIは名古屋大学でのみ可能なダイナミズムを持つ研究組織を目指します。

※KMIは理学部研究科の学生への学習機会を提供しています。



KMIが参画する Belle II 実験 (C) KEK



ES総合館

未来社会創造機構

www.mirai.nagoya-u.ac.jp MAP C2 6 F3 4

産学連携によるイノベーション創出

未来社会創造機構は、平成26年4月に文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)に採択されたことを契機として設立された比較的新しい組織です。本機構では、急速な勢いで高齢化が進行しているわが国において、社会と国民がその活力を継続的に発展させるための将来ビジョンを策定し、そのビジョン実現のために求められる技術と人材を創出するための分野横断型の産学連携研究開発・教育活動を実施しています。

従来大学における研究開発とは異なり、最終的に研究開発の成果を社会実装までつなげることを主目的に置けていますが、大学単独で行う研究開発では限界があるため、民間企業、自治体等とも連携しています。

令和3年4月1日現在、民間企業が9の研究部門/センターを設置し、企業研究者と大学教員が連携しながら研究開発を実施しています。

また、複数の自治体と連携し、実証実験を行うフィールドを提供いただく等、多岐にわたる協働体制を敷いています。

未来社会創造機構では、機能拡充(先端応用研究分野の集約)を進めており、「モビリティ社会研究所」「ナノライフシステム研究所」「マテリアルイノベーション研究所」を設置しました。

また、革新的技術の創出を目指した「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム」の実施部局として研究開発を進めるとともに、「オープンイノベーション機構の整備事業」では、大型共同研究のマネジメントを可能とする体制を構築し、研究成果の社会実装を目指す次世代産業の提案に取り組んでいきます。

※当機構は工学部・情報部の学生に対する教育も行っています。



中山間地での自動走行実験



ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC)

博物館

www.num.nagoya-u.ac.jp MAP D4 1

名古屋大学の窓口ー学問のおもしろさを知る、憩いの場

博物館は社会に開かれた名古屋大学の窓口として、皆さんをいつでもお待ちしております。豊田講堂の向って右にある「博物館・古川記念館(入館無料・開館時間:火~土曜日10時~16時)」では、常設展のほか、特別展・企画展などの展覧会や、講演会、博物館コンサート、ワークショップなども開催しています。常設展示のおもな内容は以下となります。

1.電子顕微鏡:名古屋大学の電子顕微鏡開発歴史の紹介、実機などを展示。2.触れる展示:マッコウジラの骨格標本や岩石標本など。3.フィールドワークと名古屋大学4.濃尾平野の生い立ちと木曾三川流域の自然誌。5.名古屋大学のノーベル賞:2001年化学賞の野依良治博士、2008年物理学賞の小林誠博士、益川敏英博士、2008年化学賞の下村脩博士、2014年物理学賞の赤崎勇博士、天野浩博士の研究内容と研究の背景を紹介。サテライト展示として、ES総合館2階に「2008年ノーベル賞展示室」があります。

また、東山キャンパスの南部購買・食堂のとなりにある「野外観察園(入園無料・開館時間:月~金曜日10時~16時)」では、約800種の植物を生育しています。セミナーハウス2階では友の会サークルのボタニカルアート展などを開催しています。

※当館では全学生に対する学芸員資格科目などの教育も行っています。



マッコウジラの骨格標本展示



博物館(古川記念館)

アジア共創教育研究機構

www.assia.nagoya-u.ac.jp MAP C4 3

経済、法律、教育、国際開発、文学など人文社会科学分野での課題解決への貢献と学術的研究の展開を図るため、学内の関連する学部・大学院や国内外の関連機関との連携を促進し、研究成果のショーケースと分野融合や新たな学問領域の形成に資するプラットフォームを創設しました。これまで「アジアのハブ大学」を目指してこの地域に形成してきた国際ネットワークとの協働や、総合大学である強みを生かして環境学、農学など自然科学分野との学際研究を通じ、アジア共創教育研究機構はクリエイティブな研究を推進しています。



AIネットワーク国際シンポジウム インドネシア南東スラウェシ州におけるUH-NU共同研究サゴヤシパイロットファーム

減災連携研究センター

www.gensai.nagoya-u.ac.jp MAP C2 5

減災連携研究センターは、研究連携部門、社会連携部門および強靱化共創部門の3部門体制により、減災館(平成26年3月完成)を産官学民連携の減災拠点として活動を行っています。平常時は最先端の減災研究や産官学民の連携を基盤とした減災研究はもちろんのこと、防災アカデミーやげんさいカフェ、高校生防災セミナー、防災・減災カレッジなどを定期的で開催するなどの教育・人材育成を行っています。また、大規模自然災害発生時には、大学と関係機関との対応や情報発信などを行ってゆきます。

※当センターは専門を問わず全学部の学生への学習機会を提供しています。



減災館外観 減災ギャラリーの全景

宇宙地球環境研究所

www.isee.nagoya-u.ac.jp MAP F3 3 F3 8 D4 1

宇宙から地球生命圏にいたる壮大なシステムの解明

宇宙地球環境研究所は、宇宙科学と地球科学を結び付ける全国で唯一の研究所として、2015年10月1日に発足しました。本研究所は、地球環境問題の解決と宇宙にひろがる人類社会の発展に貢献することを目的とし、地球・太陽・宇宙を1つのシステムとして捉え、物理学・化学・生物・地学などの分野を融合した研究を推進しています。宇宙・太陽圏・電磁気圏・大気圏・水圏・生物圏・地圏が密接に関係するシステムを包括的に理解することにより、領域間の相互作用を明らかにする幅広い時空間の研究を進めています。

本研究所では、地球温暖化や台風、集中豪雨などの極端気象、PM2.5などの大気汚染や海洋汚染問題、オゾン層破壊、GPS・携帯電話など通信網の障害、電力障害、放射線による人工衛星故障、宇宙線による航空機・宇宙飛行士の被曝など、人類が直面している課題の解明に取り組んでいます。また、我々の住んでいる地球がなぜ居住可能となり、将来どのように変遷していくのかを、数十年から数百万年のタイムスケールで解き明かしています。普遍的かつ未知の物理・化学法則を探索するロマンと好奇心をかきたてる科学研究も展開しています。本研究所は、理学研究科、工学研究科、環境学研究科の学生を協力講座として受け入れて融合的な教育を行っており、また国内外の様々な研究機関と共同研究を行っています。

※当研究所は理学部物理学科、地球惑星科学科及び工学部電気電子情報工学科の学生に対する教育も行っています。



宇宙地球環境研究所における研究対象



研究所共同館Ⅱ(左)と研究所共同館Ⅰ(右)

未来材料・システム研究所

www.imass.nagoya-u.ac.jp MAP F3 8 C1 1 F3 6 D1 1 B2 1

持続発展可能な社会の創成を目指した課題解決型の研究を推進

未来材料・システム研究所(Institute of Materials and Systems for Sustainability, 略称:未来研あるいはIMaSS)は、環境と調和させながら持続発展可能な社会を実現するための材料・デバイスからシステムに至る幅広い領域の研究課題に取り組んでおります。未来研は、未来エレクトロニクス集積センター、高度計測技術実践センター、材料創製部門、システム創成部門、2つの寄附研究部門と、2つのラボラトリを含む10の産学協同研究部門から構成されています。

未来エレクトロニクス集積センターでは、窒化ガリウム等のポストシリコン材料を用いたデバイスに代表される先端のエレクトロニクス研究を推進しており、未来のエレクトロニクス産業の基盤の創成を目指しております。また、寄附研究部門、産学協同研究部門やGaNコンソーシアムを通して、オールジャパン体制でGaNに関する産学官の連携研究も推進しております。

高度計測技術実践センターでは、電子顕微鏡観察をはじめとする先端計測技術の開発と人材育成を行っています。また、文部科学省のナノテクノロジー・プラットフォーム事業により、学内外の研究者・技術者に対してナノテクノロジーに関する技術支援を行っています。

材料創製部門では、省エネルギー、創エネルギーや環境保全に貢献する新規材料の研究に取り組んでおります。また、6大学が連携した国際・産学連携インヴァーسیون材料創出プロジェクトも推進しております。

※当研究所は工学部・工学研究科の学生に対する教育も行っています。

システム創成部門では、環境調和型のエネルギー変換システム、電力や交通のネットワーク、物質循環・リサイクルシステム等に関して、寄附研究部門とも連携して研究を進めております。未来研は、革新的な省エネルギー研究を先導する共同利用・共同研究拠点として、文部科学省から認定されており、国内外の大学や研究機関と共同利用・共同研究を実施しております。



超高圧電子顕微鏡



エネルギー変換エレクトロニクス実験施設(C-TEFs)と研究所共同館Ⅱ



世界へ広がる学びの場

名古屋大学のグローバル化

21世紀、Sustainableな世界を構築するアジアのハブ大学を目指して

◆スーパーグローバル大学創成支援事業

本学は、文部科学省が実施している世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取り組みや、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援するための「スーパーグローバル大学創成支援事業」において、世界レベルの教育研究を行う大学「タイプA(トップ型)」(13大学)の一つに採択され、様々な事業に取り組んでいます。



◆国際交流

本学は59カ国・地域、434の大学・研究機関と学術交流協定を締結しており、海外の大学や研究機関の学生・研究者が毎年多数訪れ、現在115カ国・地域から2,462名の留学生が学ぶ国際色豊かなキャンパスです。(数値は2019年度実績)

本学から交換留学、語学研修、研究等により海外へ留学した学生は、名古屋大学基金による支援等により、1,000名を超えました。海外へ留学する際には、日本学生支援機構海外留学支援制度、外国政府、民間奨学団体などによる様々な種類の奨学金を得ることもできます。

さらに、これまで実施してきた質の高い学部・大学院教育をより広く外国人留学生及び帰国子女等に提供し、留学生と日本人がともに学ぶ新たな環境を構築するため、英語による教育により学部・大学院の学位が取得できる「国際プログラム群(G30)」を開設し、平成23年10月から学生を受け入れています。

詳細は、<http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/>をご覧ください。

2021年度からは、新しい留学の形として「i留学」も開始しています。

◆国際教育交流センター・国際言語センター

国際教育交流センターは、学生の海外派遣、交換留学生の受入、国際プログラム群の企画・運営・広報活動・入試業務、留学生の生活や修学支援、留学生のキャリア教育、インターンシップや就職支援、国際教育交流の大学間連携業務などを行っています。また、国際言語センターは、留学生に対する日本語・日本文化等の教育及び、名古屋大学学生全体の英語力強化などのための教育を行っています。



C O L U M N

留学体験記



渡航先: タイ

経済学部・経済学科2年(1年次に渡航)

今井 美希 さん

出身校: 南山高校女子部



現地の学生とお別れ会

全学教養科目「アジア現代事情III - タイにおける日系企業のグローバル展開とタイ文化 -」

将来海外との関わりのある企業で働いてみたいと漠然と考えていたこと、以前からタイ文化に興味をもっていたことからこの研修に参加しました。研修と一緒に参加したメンバーや先生方だけでなく、現地の学生さんにも恵まれ、とても充実した研修となりました。

私は、今までに何度か短期留学に行ったことがありますが、アジアへ留学に行くのは初めてのことでした。タイに行くまでは、バンコクがあんなにも発展しているということも、和食やアニメなどの日本文化が浸透していることも知りませんでした。現地に行って自分の身で体験して初めてわかることもたくさんあるのだと感じました。タイについて知れば知るほど興味をもったため、現地の学生さんにも積極的に話を聞き、交流を深めることができました。日本では経験できない様々なことにも挑戦することができ、良い経験となりました。

また企業訪問では、日本人駐在員の方から異文化のなかで働くことについてお話を伺いました。日本とは異なる労働環境のなかで働くことの難しさや、コミュニケーションの重要性について学ぶことができました。この経験は今後キャリアプランを考える際に生かしていこうと思います。



渡航先: オランダ

情報学部・人間・社会情報学科3年(2年次に渡航)

鈴木 風羽子 さん

出身校: 愛知県立時習館高校



朝のランニング

全学教養科目「欧州現代事情II - オランダ・トゥエンテ大学サマープログラム CuriousU -」

入学時から目標としている交換留学への第一歩を踏み出したいという思いと、ヨーロッパに興味があったことからプログラム参加を決めました。CuriousUはテント生活であったため、食事は全員で集まってとり、授業後には毎晩イベントやパーティが開催され、各国からの参加学生と関わる機会が多いことが魅力的でした。活動を通して仲良くなれた学生と一緒にランニングをしたり、踊ったり、休日に出かけたりと新鮮な体験をすることができました。

日本では周りの人に頼ることが多かった私ですが、留学中はできるだけ色々な経験をしたいと、自分で考え積極的に行動しました。また留学前は英語で話すことにも消極的でしたが、研修中は他国の学生と仲良くなれるように必死で英語を使い、もっと今の気持ちを表現したい、英語を話せるようになりたいと心から思っている自分に驚きました。日本では気付かなかった自分を知れたことも留学の大きな収穫でした。

プログラムを通じて交換留学を共に目指し支え合うことができる仲間にも出会い、今は充実した長期留学を実現できるよう準備をしています。今回オランダで得た経験や身につけた積極性をこれからの留学生活に活かしていきたいです。



渡航先: アメリカ

工学部・材料工学科4年(3年次に渡航)

深見 勇馬 さん

出身校: 名古屋市立向陽高校



ジャパニーズフェスティバル

全学交換留学プログラム「アメリカ・フロリダ大学」

2年生の冬にスコットランド・エディンバラ大学での短期語学研修に参加し、異文化に触れる楽しさを知りました。そして人種のつぼと云われるアメリカで様々な価値観を学び英語力を磨きたいと考え、エンジニア系とビジネス系科目が履修できるフロリダ大学を志望しました。

渡米当初は英語が聞き取れず苦労し、授業中に質問をしたくても英語に自信がなく発言できずにいましたが、慣れていくうちに発言できるようになり、タスクをこなせるまでになりました。授業はグループディスカッションやグループホームワークが中心で、学生同士でインタラクションをとる機会が多く、毎日が刺激的でした。

5万人の学生を擁する広大なキャンパス内の国際寮で、50ヶ国からの留学生と共に生活しました。ヨーロッパからの留学生とヒスパニック系が多かったです。寮のラウンジで毎日一緒に山積みのお土産をこなしたり雑談して仲を深めました。現地日本人学生に声をかけ、習字・たこ焼き・折紙などを紹介するジャパニーズフェスティバルを開催したのも良い思い出です。

今回の留学で挑戦することの大切さを学び、自分の視野が広がったと感じています。これらの貴重な経験を今後の学生生活と卒業後のキャリアに活かしていきたいです。

※2019年度留学生の体験記で、学年は当時のものです。

世界へ広がる学びの場

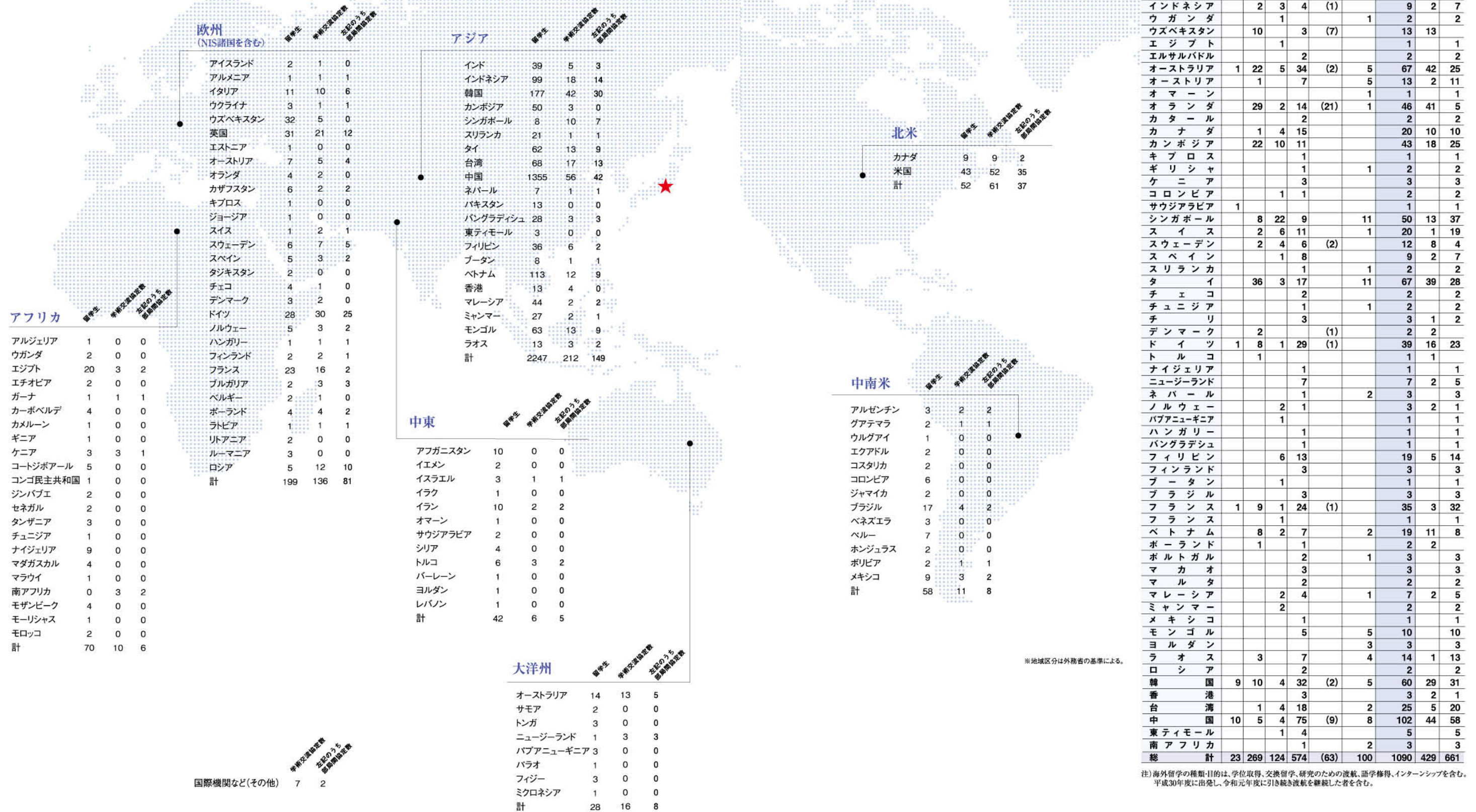
留学生受入状況



ブリストル気球フェスタにて

アデレード大学内のラウンジにて

着付教室



学生の海外留学状況 令和元年度実績

留学先国等名	外国政府奨学金	JASSO	各種奨学金	私費	名古屋大学による奨学金等の支援(左記との重複あり内数)		計	在籍身分別人数	
					海外留学奨学金	その他		学部生	大学院生
アゼルバイジャン							1	1	1
アフガニスタン			1				1	1	1
アメリカ	70	19	105	(13)	18		212	78	134
イギリス	13	8	42	(2)	2		65	27	38
イスラエル							1	1	1
イタリア	2	1	13	(1)	1		17	2	15
イラン			1		1		2	1	1
インド	1		6		2		9	2	7
インドネシア	2	3	4	(1)			9	2	7
ウガンダ			1		1		2	2	2
ウズベキスタン	10		3	(7)			13	13	
エジプト			1				1	1	1
エルサルバドル				2			2	2	2
オーストラリア	1	22	5	34	(2)	5	67	42	25
オーストリア	1		7		5		13	2	11
オマーン					1		1	1	1
オランダ	29	2	14	(21)	1		46	41	5
カタール				2			2	2	2
カナダ	1	4	15				20	10	10
カンボジア	22	10	11				43	18	25
キプロス				1			1	1	1
ギリシャ				1		1	2	2	2
ケニア				3			3	3	3
コロンビア			1	1			2	2	2
サウジアラビア	1						1	1	1
シンガポール	8	22	9		11		50	13	37
スイス	2	6	11		1		20	1	19
スウェーデン	2	4	6	(2)			12	8	4
スペイン			1	8			9	2	7
スリランカ				1		1	2	2	2
タイ	36	3	17		11		67	39	28
チェコ				2			2	2	2
チュニジア				1		1	2	2	2
チリ				3			3	1	2
デンマーク	2				(1)		2	2	2
ドイツ	1	8	1	29	(1)		39	16	23
トルコ	1						1	1	1
ナイジェリア				1			1	1	1
ニュージーランド				7			7	2	5
ネパール				1		2	3	3	3
ノルウェー		2	1				3	2	1
バプアニューギニア			1				1	1	1
ハンガリー				1			1	1	1
バングラディッシュ				1			1	1	1
フィリピン		6	13				19	5	14
フィンランド				3			3	3	3
ブータン				1			1	1	1
ブラジル				3			3	3	3
フランス	1	9	1	24	(1)		35	3	32
フランス				1			1	1	1
ベトナム	8	2	7		2		19	11	8
ポーランド	1		1				2	2	2
ポルトガル				2		1	3	3	3
マカオ				3			3	3	3
マルタ				2			2	2	2
マレーシア		2	4		1		7	2	5
ミャンマー			2				2	2	2
メキシコ				1			1	1	1
モンゴル				5		5	10	10	10
ヨルダン						3	3	3	3
ラオス	3		7		4		14	1	13
ロシア				2			2	2	2
韓国	9	10	4	32	(2)	5	60	29	31
香港				3			3	2	1
台湾	1	4	18		2		25	5	20
中国	10	5	4	75	(9)	8	102	44	58
東ティモール				1	4		5	5	5
南アフリカ				1		2	3	3	3
総計	23	269	124	574	(63)	100	1090	429	661

注) 海外留学の種類・目的は、学位取得、交換留学、研究のための渡航、語学修得、インターンシップを含む。平成30年度に発表し、令和元年度に引き続き渡航を継続した者を含む。



海外留学プログラム

本学では、「卒業までに学部学生全員が留学」することを目標に掲げており、本学学生はNU-OTI (ニュー・オッティ: Nagoya University Overseas Take-off Initiative) をはじめとする多種多様な海外学習に参加することができます。①全学交換留学プログラム、②海外での学習を含む教養科目(教養教育院開講科目)、③所属する学部・研究科が提供する独自のプログラムに加えて、新たな留学スタイルである、④i留学があります。

①全学交換留学プログラム

本学が全学間学術交流協定を結ぶ世界の150校以上に、1学期間～1学年間留学するプログラムです。学内選考は年3回(6月、10月、1月)あります。

- ・自分の専門分野や興味のある分野の講義を現地の学生とともに学びます。
- ・大学の代表として、勉学への真摯な取り組みと、定期的な留学報告などの義務を伴います。
- ・所属学部・研究科の履修ルール、将来計画などを考慮し長期的な留学計画が必要です。

【メリット】

専任教員による手厚い留学サポート:協定校選びや語学対策についての個別相談から、渡航前の出願手続き、危機管理などのオリエンテーション、留学中はメールなどで授業や生活などに関する相談に応じ、留学を全面的に支援します。
 留学先大学の授業料免除:多くの協定校との間で「授業料不徴収」の取り決めを結んでいます。本学に授業料を納めることで、留学先への授業料支払いは不要となるので、通常の私費留学に比べて留学費用を抑えることができます。
 奨学金等の給付:返還不要な奨学金に応募することができます(成績、家計基準等の条件があります)。

②海外での学習を含む教養科目(教養教育院開講)

本学の海外拠点など、全学間学術交流協定校などで、夏休みや春休みに2～4週間程度、学修する科目です。渡航先国は、アメリカ、オランダ、タイ、台湾、オーストラリア、イギリス、フランス、ドイツ、中国などです(年によって異なります)。

●全学教養科目(2単位)

- ・専門講義の履修や現地調査、企業訪問などを行います。
- ・名古屋での学習と海外での学習をあわせ一貫性のある学習目標の達成を目指します。
- ・返還不要な奨学金への応募や留学積立金制度があります(条件あり)。
- ・海外のキャンパスライフを体感できます。また、進路を見据えて、研究や就職に向けた教養を身につけることができます。

●言語文化III-文化事情(1～2単位)

- ・語学研修や文化体験が中心のプログラムです。
- ・現地スタッフや引率教員が研修をサポートします。
- ・返還不要な奨学金への応募や留学積立金制度があります(条件あり)。

③学部・研究科独自のプログラム例

NU-OTI以外にも、所属する学部・研究科等が部局間協定校等に派遣する独自のプログラムがあります。



「友人とニューヨークのブルックリン橋へ」全学交換留学(アメリカ)



「ロンドン・ビッグベンにて」全学交換留学(イギリス)



「環境学習」全学教養科目(アメリカ・オレゴン大学)



「タイ米研究所訪問」全学教養科目(タイ・カセサート大学)



「オランダ企業の社長たちと会食」全学教養科目(オランダ)



「アユタヤ遺跡で民族衣装体験」全学教養科目(タイ)

④i留学

海外に渡航する留学に代わる新たな留学スタイルとして、多数のi留学プログラムを提供しています。

●国内合宿プログラム

- ・留学生と共に学びを深める国際共修研修
- ・集中的に英語運用スキルを高める英語力強化研修

●オンラインプログラム

- ・オンラインで協定大学の授業を受ける海外特別研修
- ・語学試験対策(IELTS)と留学計画ワークショップによる留学準備講座

留学を目指す名大生への指導

○留学を思い立ったら

- ・海外留学入門セミナー(毎週火曜日、昼休みに開催)
- ・名大生向け留学情報(ホームページ、メール、SNS)
- ・留学説明会
- ・個別相談

○留学が決まったら

- ・渡航前/危機管理オリエンテーション
- ・経済的支援

◇名古屋大学による支援

・名古屋大学海外留学奨励制度(名古屋大学基金から拠出)

名古屋大学基金を原資とした交換留学、短期研修における海外渡航に係る費用の一部または全部を支援する制度です。短期研修は、全学教育科目で単位化がされている指定された研修が対象です。また、学業成績優秀者を対象としています。

交換留学 上限20万円 短期研修(事前授業・学習を含む) 上限10万円

・留学積立金制度

任意加入の制度で、毎月1万円を積み立て、本学の実施する留学プログラム参加時に使用することができます。加入者は積み立て金額が留学費用に満たない場合は、本学の貸付金制度を利用して、大学指定の範囲内の金額を無利子で借り受けられます。貸付金の返済は卒業時までに行います。

参加するプログラムによって、日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度による給付奨学金を受けられる場合があります。応募にあたっては、各家庭の家計基準の申告が必要です。また、学業成績優秀者を対象としています。この他に貸付奨学金への応募が可能な場合もあります。

交換留学・短期研修 6～10万円/月
 (金額は派遣先地域により異なります。)

英語で学位が取得できる国際プログラム

G30(グローバル30)国際プログラムは、国籍に関係なく、外国の教育制度に基づいた教育を受けてきた学生を対象に開講され、文系・理系のさまざまな分野のプログラムを学部6プログラム、大学院11プログラム提供しています。英語で行われる講義のみを受講して、卒業単位を取得できる教育体制を整えたことにより、今まで日本語能力が足りずに日本の大学への留学を諦めていた学生も、本学への入学が可能となりました。2011年10月に一期生を迎えて以降、日本国籍の学生を含め、毎年50名前後の学生を世界中から受け入れています。2020年度の学部出願者数は初年度の約4倍に増えて、入学者の10倍以上の応募がありました。なお、日本語能力を持つ学生については、一部の講義を日本語でも受講でき、卒業単位とすることも可能としています。

※G30国際プログラムの講義は日本人学生にも開放されています。参加者のためのサポート体制も充実していて、海外の講義スタイルで実践的な英語力を養い、専門分野も英語で身に付けられるので、留学にも役立ちます。

プログラム	学部(学科)	プログラム	学部(学科)
自動車工学プログラム	工学部(電気電子情報工学科)	物理系プログラム	理学部(物理学科)
	工学部(機械・航空宇宙工学科)		法学部(法律・政治学科)
生物系プログラム	理学部(生命理学科)	国際社会科学プログラム	経済学部(経済学科、経営学科)
	農学部(応用生命科学科)		「アジアの中の日本文化」
化学系プログラム	理学部(化学科)		
	工学部(化学生命工学科)		



少人数教育

各プログラムは、10~15名の少人数制です。全学教育科目では他のプログラムの学生と一緒に講義を受けることにより、異なるプログラムの友人との交流を深めることもできます。また、講義中に教員に直接質問をして、インタラクティブなやり取りの中から、さらに知識を深めることも出来ます。

多文化交流

アジア、アメリカ大陸、ヨーロッパなど世界中から集まった学生と共に学ぶことで、日常的に多文化に触れ、互いに刺激し合い、国際的な広い視野を育むことが出来ます。英語が話せる職員も各学部配置されているので、タイムリーに留学生のサポートを行うことができます。

教養教育・専門教育

一年次には、全学教育科目を履修し、二年次以降の専門教育では、国内外で活躍する教員や研究者から、最新の研究内容や実用的な知識を学ぶことができます。幅広い教養・基礎知識を身につけ、社会に出てからも、様々なフィールドで活躍できるような人材育成を目指します。

卒業後の進路

これまで卒業生はオックスフォード大学、マサチューセッツ工科大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、シカゴ大学、スイス連邦工科大学チューリヒ校、カリフォルニア大学パークレー校などの世界屈指の大学院へ進学したり、オーストラリア中央銀行などの国際企業に就職しています。

G30 国際プログラムに関する問い合わせ先 e-mail: apply@g30.nagoya-u.ac.jp TEL: +81-52-747-6556

名古屋大学の卓越した構想・プログラム



指定国立大学法人

指定国立大学法人とは、「我が国の大学における教育研究水準の向上とイノベーション創出を図るため、世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人」を文部科学大臣が指定した法人です。

名古屋大学は、2018年3月20日に指定国立大学法人に指定され、指定国立大学法人構想では、以下の7つの取組を実行することにより、名古屋大学を世界屈指の研究大学に一気に引き上げることを目指しています。

- ①世界的に卓越した研究拠点の確立等世界屈指の研究成果を生み出す研究大学に向けた取組
- ②博士課程教育推進機構の設置等知識基盤社会をリードする卓越した博士人材の育成
- ③国際的に魅力ある教育プログラムの充実等世界から人が集まる国際的なキャンパス形成と海外展開
- ④「組織」対「組織」の本格的な産学共同研究の推進等名古屋大学が社会と共に躍進するための取組
- ⑤機動的な改革を支えるシェアド・ガバナンスの構築
- ⑥経営資源の好循環による財務基盤の強化
- ⑦持続的発展に向けた新たなマルチ・キャンパスシステムの樹立

世界最先端研究大学
成長するアジアと学ぶハブ大学

戦略1

世界Topレベルを目指す
先端的な研究強化

WPI、学内WPIの実施
若手・女性・外国人支援

戦略2

海外Top大学と
Joint Degree実施

国際共同教育研究ユニット設立
国際共著論文・外国人教員の増加
THE、QS等すべての指標で
Top100の上位を目指す

戦略3

世界を牽引する
人材の育成

留学生受入・定着
日本人学生派遣
国際通用性のある教育

戦略4

アジアにおける
拠点の展開

各国中核人材育成
アジアサテライトキャンパス始動
優秀な留学生の獲得



スーパーグローバル大学創成支援事業

名古屋大学は、平成26年度にスーパーグローバル大学創成支援事業の「タイプA:トップ型」に採択され、世界レベルの教育研究を行う大学となるべく、国際化を徹底して推進してきています。

4つの戦略「国際レベルの研究力強化」、「国際的に魅力ある教育プログラム」、「世界を牽引する人材の育成」、「アジアにおける拠点の展開」を進めることで、成長するアジアと学ぶハブ大学を目指しています。

先端的な研究強化策としての研究者支援の拡充、教育の国際化を目指すアジアサテライトキャンパスの設置、国際機構の設立、大学全体の教育改革としての学事暦の変更、GPA(Grade Point Average:成績評価の国際標準化)の実施、ナンバリング(授業科目のコード化)の拡充、英語による授業科目数の増加、ジョイント・ディグリープログラムの展開など、体系的かつ多彩な取組が意欲的に実施され、大学全体の底上げが進んでいる点が高く評価され、中間評価において「S評価」を獲得しました。

卓越大学院プログラム

卓越大学院プログラムは、文部科学省が2018年に導入した5年一貫の博士課程プログラムです。大学院生は海外の研究チームや産業界との共同研究を通して、化学と生命科学、医療と情報科学のように複数の専門が融合する領域の研究に携わります。

プログラムの修了者はあらゆるセクターを牽引できる卓越した能力を持つ知のプロフェッショナルになることが期待されています。大学院生は卓越したリーダーになるための企画力や統率力などの訓練にも研究と並行して参加します。また、プログラム参加者には海外大学での研修、企業との共同研究などの機会が与えられます。

名古屋大学では4つのプログラムを運営しています。

- 未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム
- トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム
- 情報・生命医科学コンボリューションonグローバルアライアンス卓越大学院
- ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム



Tongali : Tokai Network for Global Leading Innovators

この地から積極的にベンチャー企業等の事業化にチャレンジするリーダーを輩出するために、学生、大学院生、卒業生を対象とするアントレプレナーシップ教育・育成「Tongali(とんがり)プロジェクト」を実施しています。

デザインシンキング、起業のための考え方やスキル等、アイデア創発から起業までを初歩から段階的に学べるシステムとなっています。実際に起業した先輩方(メンター)の支援や、アイデアピッチコンテスト等、在学中でも起業にチャレンジできます。興味がある方は、是非、在学中に起業してみましょ!

就職支援と実績

名古屋大学 キャリアサポートセンター

大学卒業後の進路実現を力強くサポートします

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見だし、そして大きく羽ばたいていけるよう、キャリアサポートセンターが就職活動を支援しています。

キャリアサポートセンターは全学部・研究科、全学年の名大生が利用できます。民間企業・公務員・教員等、卒業後のあらゆる進路を目指す学生に対応できるキャリア支援を行っています。

就職サポート

キャリアサポートセンターでは、就職・進路・インターンシップ等に関する相談受付及び情報提供を行っています。面接やエントリー方法、企業選択、就職活動の方策など、何でもご相談ください。また、学生のニーズに応じて、グループディスカッションや自己分析(自分理解)をはじめ様々なワークショップを開催しています。

◆就職相談員による個別就職相談

就職相談員5名が就職・進路に関して個別相談を行っています。相談員による個別相談は事前予約制です。

◆キャリアサポートセンター主催イベント

キャリアサポートセンターでは「企業研究セミナー」や「業界研究セミナー」、「就職ガイダンス」、「国家公務員・地方公務員、教員を希望する学生のためのセミナー」、「インターンシップ参加を希望する学生のための研修会」、「OB・OG座談会」、「内定者座談会」など、たくさんのイベントを開催します。

◆キャリアサポートセンターメールマガジン

就職関連イベントの案内やインターンシップ情報など、就職活動に役立つ情報をリアルタイムで発信しています。

◆頼もしい「就活サポーター」

毎年進路が決まった先輩が、自らの経験を活かして後輩の就職活動を支援する「就活サポ」として活動しています。

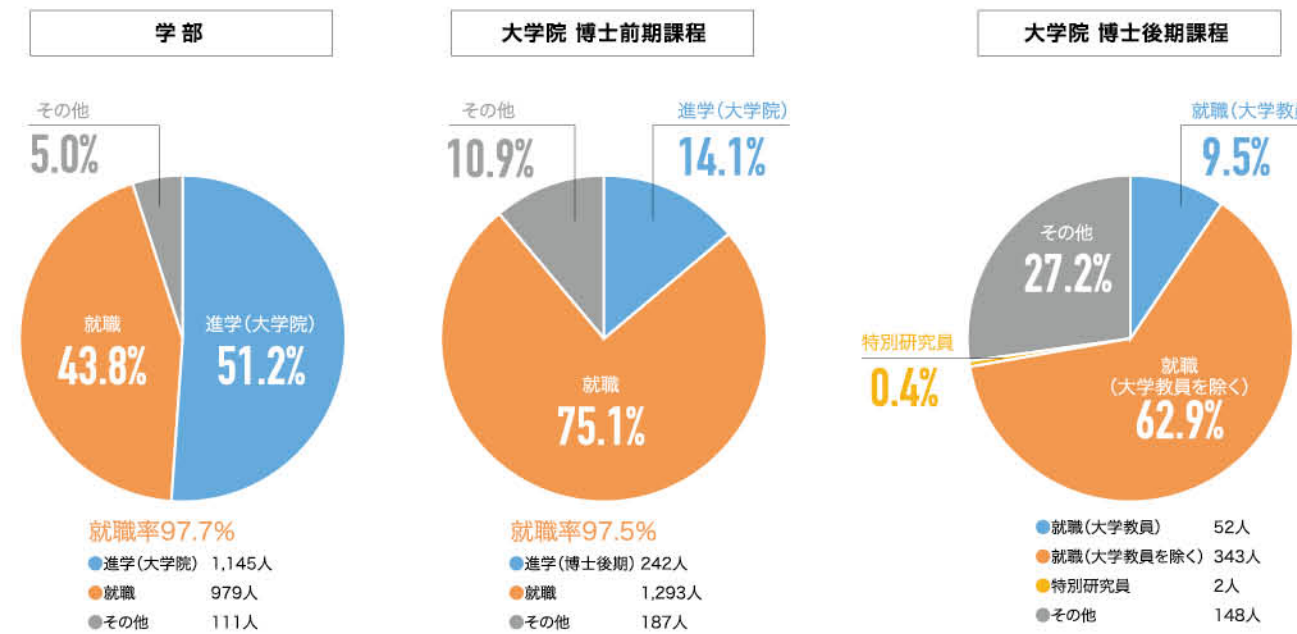
12月から3月頃までの平日の午後に、交代でキャリアサポートセンターに駐在し、就職活動に関する相談に応じてくれる、就活中の学生にとって頼もしい存在です。



就活サポーター

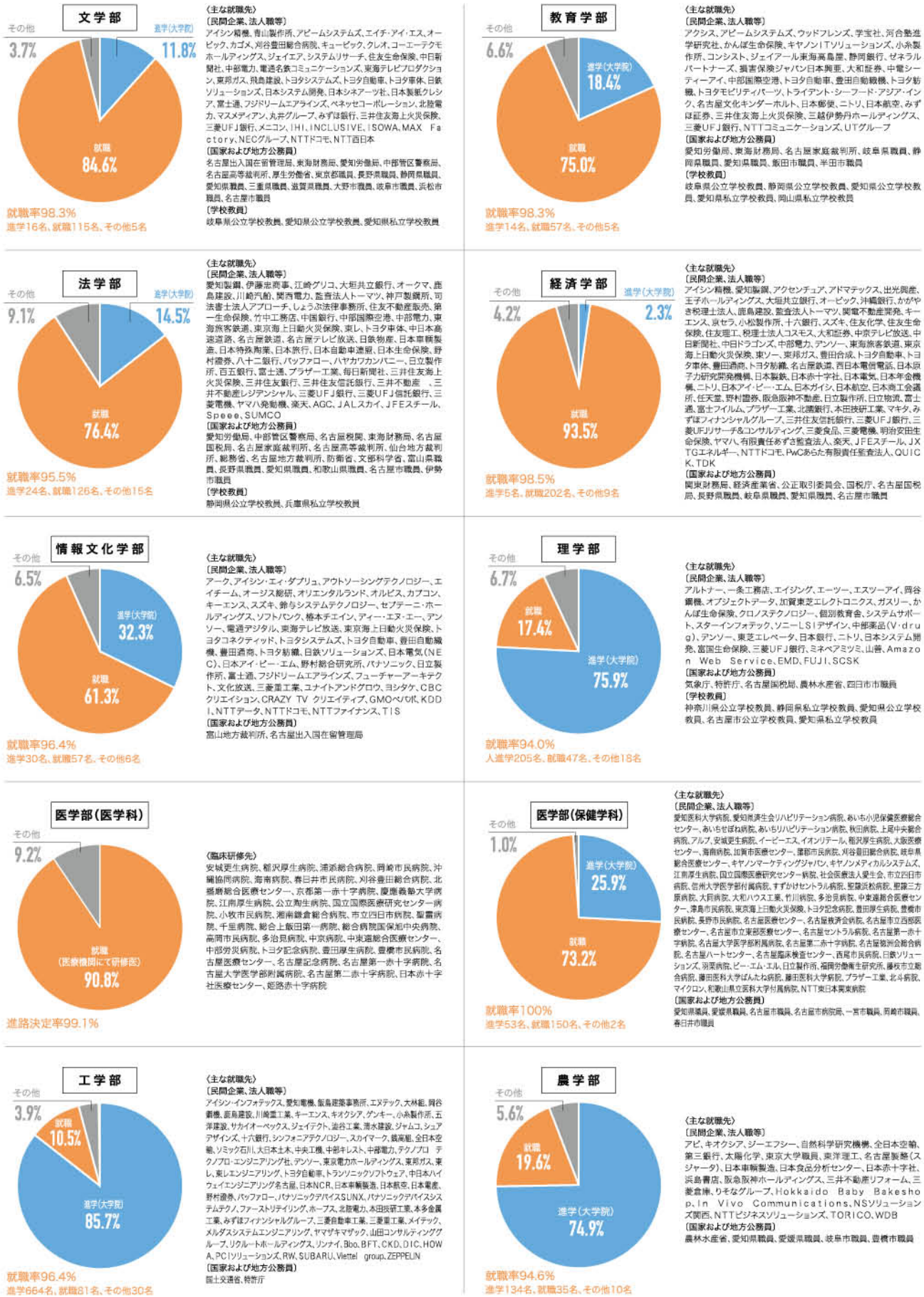
名古屋大学の卒業後の進路、及び就職状況

卒業生の進路データ(学部/大学院) (令和2年3月卒業者)



※「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合を示します。

進路データ(学部)



※一般企業は50音順で掲載し、企業名には(株)等を省略しています。

取得可能な資格

学部名	取得可能な資格	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
文学部	学芸員(資格)	国語、社会、外国語(英語)	国語、公民、地理歴史、外国語(英語)
教育学部	学芸員(資格)、司書教諭(資格、※教諭普通免許状を有する者)、社会教育主事(実務経験後資格取得)、公認心理師(実務経験後資格取得もしくは大学院で所定単位取得)	社会	地理歴史、公民
法学部		社会	公民
経済学部		—	公民、商業
情報学部		数学	数学、情報
理学部	測量士補(資格申請可能)、学芸員(資格)	数学、理科	数学、理科
医学部	医師(受験資格)、看護師(受験資格)、保健師(受験資格)、診療放射線技師(受験資格)、臨床検査技師(受験資格)、理学療法士(受験資格)、作業療法士(受験資格)	—	—
工学部	第1級陸上特殊無線技士(資格)、第3級海上特殊無線技士(資格)、電気主任技術者(一種、二種、三種)(実務経験後資格取得)、ダム水路主任技術者(1種、2種)(実務経験後資格取得)、測量士(実務経験後資格取得)、測量士補(資格)、水道布設工事監督者(実務経験後資格取得)、水道技術管理者(実務経験後資格取得)、建築物環境衛生管理技術者(実務経験後資格取得)、毒物劇物取扱責任者(資格)、ダム管理主任技術者(資格)、特定建築物等調査資格者(実務経験後資格取得)、火薬類製造保安責任者(試験科目一部免除)、特別管理産業廃棄物管理責任者(感染性産業廃棄物以外の特別管理産業廃棄物を生じる事業場)(実務経験後資格取得)、情報処理技術者(受験資格)、第1級陸上無線技術士(卒業後3年以内は試験科目一部免除)、建築士(一級)(実務経験後受験資格取得)、建築士(二級・木造)(受験資格)、建築設備士(実務経験後受験資格取得)、建築施工管理技士(実務経験後受験資格取得)、管工事施工管理技士(1級、2級)(実務経験後受験資格取得)、造園施工管理技士(1級、2級)(実務経験後受験資格取得)、土地区画整理士(実務経験後受験資格取得)、技術士(試験科目一部免除)、建築設備検査資格者(実務経験後資格取得)、危険物取扱者(甲種)(受験資格)、消防設備士(甲種)(受験資格)、自動車整備士(2級・3級)(受験資格)、溶接技術者(SWE、1級、2級)(受験資格)、ガス溶接作業主任者(受験資格)、発電技士(受験資格)、ボイラー技士(特級・1級・2級)(受験資格)、建設機械施工技士(1級・2級)(受験資格)、土木施工管理技士(1級・2級)(受験資格)、ガンマ線透過写真撮影作業主任者(受験資格)、エックス線作業主任者(受験資格)、放射線取扱主任者(1種・2種)(受験資格)、核燃料取扱主任者(受験資格)、原子炉主任技術者(受験資格)、昇降機検査資格者(受験資格)、衛生工学衛生管理者(受験資格)、消防設備点検資格者(受験資格)、インテリア・プランナー(受験資格)、コンクリート技士(受験資格)、コンクリート主任技士(受験資格)、コンクリート診断士(受験資格)	—	—
農学部	食品衛生管理者(資格)、食品衛生監視員(資格)、樹木医補(資格)、家畜人工授精師(試験科目一部免除)、甲種危険物取扱者(受験資格)、自然再生士補(資格)	理科	理科、農業

研究科名	取得可能な資格	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
人文学研究科		国語、社会、外国語(英語)	国語、公民、地理歴史、外国語(英語)
教育発達科学研究科	臨床心理士(受験資格)、学校心理士(関連科目の一部開講)、公認心理師(受験資格)	社会	地理歴史、公民
法学研究科		社会	公民
経済学研究科		—	公民
情報学研究科		数学	数学、情報
理学研究科		理科	理科
医学系研究科		—	—
工学研究科		—	—
生命農学研究科		—	—
国際開発研究科		—	—
多元数理科学研究科		数学	数学
環境学研究科	防災士(受験資格)、専門社会調査士(資格申請可能)	理科、社会	理科、地理歴史、公民
創薬科学研究科		—	—
法科大学院	司法試験(受験資格)	—	—

※上記には、関係科目を単位取得し卒業することにより得られるもの、資格試験の受験資格が与えられるものや試験科目の一部免除されるもの、関係科目の単位取得後、実務経験や講習会受講を経て取得できるものなどが含まれます。また、学科、コース、専攻等により異なる場合があります。詳細については、各学部の教務担当へお問い合わせください。

※中学校・高等学校に関わる免許状については、免許状が記載されていない学部・研究科でも、他学部で開講されている卒業要件外の科目を履修し取得することは可能です。詳細については、各学部の教務担当へお問い合わせください。

就職活動と資格取得に関するQ&A



就職と資格に関する

Q & A

どのぐらいの学生が就職するのですか。

学部によって就職率は異なりますが、文系学部では7~8割程度の学生が就職します。一方で、医学部医学科を除く理系学部は大学院進学者が多く、就職するのは1~2割程度となっています。なお、医学部医学科卒業者の多くは、卒業後2年間の初期臨床研修を受けることが一般的です。

就職に関するアドバイスを受けることはできますか。

名古屋大学ではキャリアサポートセンターが設置されており、窓口で就職・進路・インターンシップ等に関する相談や情報提供を行っています。就職活動・企業選択の方法・エントリーシートの添削など、何でもご相談ください。そのほかにも様々な講座やワークショップを開催していますし、キャリアカウンセラーの資格を持つ専任相談員が個別相談にも対応しています。

先輩の就職活動体験などを聞くことはできますか。

名古屋大学では「就活サポーター(通称:就サポ)」と称し、後輩の就職相談に応じています。自己分析や業界研究の方法のほか、就活の失敗談なども聞くことができます。その他にもOB・OG座談会や、本学主催の企業研究セミナーでは「OB・OG交流コーナー」が設けられます。また、キャリアサポートセンターの就職資料コーナーでは、先輩が体験した就職試験の内容がわかる就活レポートを自由に閲覧することができます。

将来、大学院に進学するか就職するか迷います。

希望する職に就くために、総合的に検討してみてください。入学学部の教員や、研究室の教員に相談してみるのも一つの手だと思います。就職相談員による個別相談においても、進学を含めた今後の進路についての相談にも応じています。なお、名古屋大学では、博士後期課程の学生にも就職支援をしています。

インターンシップについて教えてください。

インターンシップとは、「学生・生徒が、自らの専攻や将来希望する職業に関連した職場で業務を体験すること」とされており、自分の適性や希望に照らし、企業等において就業体験をすることです。各学生は、具体的に進路を考える機会として活用しています。名古屋大学では、インターンシップへの参加を希望する学生に対し、事前研修会を実施して、インターンシップの概要やビジネスマナーについての研修を行っています。

中学校の教員志望です。例えば、名古屋大学教育学部に入学して「英語」の教員免許を取得することは可能でしょうか。左のページの「取得可能な資格」では、「社会」しか書いてありませんが・・・。

教育学部生で中学校や高校の英語の教員免許を取得することは可能です。この場合、他学部(例えば文学部)で開講している関連講座を受講します。同様に国語も可能になります。他学部の授業を受講しますので、履修する授業は増えます。



入学料/授業料

初年度……入学料(282,000円) + 授業料(535,800円)
 2年次以降……授業料(535,800円) ※半期(267,900円)

免除制度について

入学前1年以内において学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、入学料の納入が困難であると認められる学生に対して、申請により、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。また、留学生を除く学部学生を対象とした高等教育の修学支援新制度により、入学料及び授業料の全額、2/3又は1/3を免除する制度もあります。※この高等教育の修学支援新制度を受けるには、以下の2つの手続きが必要です。
 ①日本学生支援機構の給付奨学金に申請し採用されること ②授業料減免の認定申請手続きを完了すること。

奨学金制度

名古屋大学独自の奨学金



下駄の鼻緒奨学金

「お礼は次の困っている人に」。下駄の鼻緒が切れた際、替えの鼻緒をくれた女性の言葉を胸に、本学卒業生が設立した奨学金です。成績優秀でありながら経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を授与しています。

学部又は大学院の最終学年の者
 4名程度 60万円(給付型)



ホシザキ奨学金

フードサービス機器メーカー・ホシザキ株式会社の会長ご夫妻が設立した「坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社」の株式をご寄附いただき設立したものです。本奨学金は、「ものづくりを学ぶ、将来ある学生を支援したい」とのご夫妻の意向を受け給付型奨学金として、経済的に困窮した学生に対して給付します。

工学部(情報学部の学科のうち、工学部に関連する学科を含む)3年次、工学研究科(情報学研究科及び環境学研究科の専攻のうち、工学研究科に関連する専攻を含む)博士前期課程1年次及び博士後期課程1年次又は2年次

10~22名程度 144万円を2年間(給付型)

給付奨学金 月額(令和3年度入学者適用)

認定区分	所得要件	通学形態	給付月額
第I区分	本人と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること	自宅	29,200円
		自宅外	66,700円
第II区分	本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が100円以上25,600円未満であること	自宅	19,500円
		自宅外	44,500円
第III区分	本人と生計維持者の支給算定基準額の合計が25,600円以上51,300円未満であること	自宅	9,800円
		自宅外	22,300円

※高等教育の修学支援新制度により、給付奨学金の採用者は上記認定区分によって、入学料及び授業料が免除されます。(入学後に給付奨学金を申し込む場合は事前に授業料等減免の認定申請手続きが必要です)

民間による奨学金制度

日本学生支援機構の他、本学学生が給・貸を受けている奨学金事業団体として、年間約130団体からの募集があります。多くは2月から5月に募集が集中しますので、本学のホームページや所属学部の掲示板にも注意してください。

学術奨励賞

名古屋大学学術奨励賞は、大学院博士後期課程に在学する学生(原則として標準修業年限内に在学している学生に限る。)で、人物・研究水準ともに特に優秀、かつ、研究科長及び指導教員から推薦のあった者を対象に受賞者を決定し、表彰します。受賞者には、賞状及び副賞として学業奨励金50万円が贈呈されます。P68に学術奨励賞受賞者の研究が紹介されています。

アルバイト

学業を犠牲にしてアルバイトをすることは、好ましいことではありません。しかし、経済的理由でアルバイトを希望する学生が少なくないため、大学生協で家庭教師のアルバイトを紹介しています。学部学生のうち約8割が何らかのアルバイトに従事しています。なお、本学のホームページからもアルバイト情報を提供しています。

●家庭教師標準報酬月額表

学生別	小1~中2	中3~高2	高3・浪人/一般
1回	22,000円	25,000円	28,000円
2回	34,000円	38,000円	44,000円
3回	44,000円	49,000円	57,000円

その他の事項

- ・1回の指導時間は2時間とする。
- ・交通費は、実費支給とする。
- ・本学学生の学部・学年(大学院生)では、報酬額の差はつけない。
- ・2人以上同時の場合は、高学年の5割増とする。
- ・月額は、4週間を基準とする。

学生宿舎

本学の東山キャンパスから南へ約700mの位置に「国際喫煙館」があります。日本人学生と外国人留学生との混住型学生宿舎で、1室1人部屋となっていますが、リビング、キッチン及び洗濯室は共用です。通学に2時間以上かかるなどの入居条件があります。

●経費(令和3年4月)

寄宿料 月額16,000円(共益費を含む)/光熱水費/その他雑費

●施設の概要

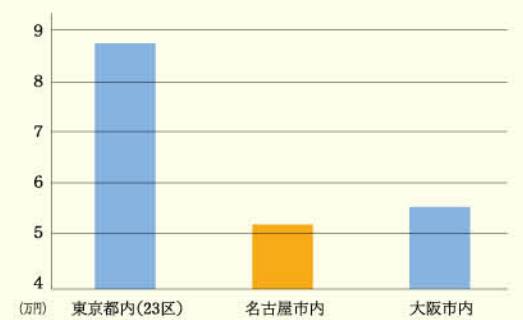
A棟(9階、1部8階)		B棟・C棟(3階)	
居室	239室	居室	52室
リビング	15室	リビング	3室
キッチン	15室	キッチン	3室
洗濯室	15室	洗濯室	3室
交流テラス/多目的ホール/事務室/メールコーナー		談話室	1室



アパート

アパート等の斡旋・紹介は、大学生協で取り扱っています。入居者は、キャンパス周辺に集中しており、部屋の設備は、バス、トイレ、キッチンを完備した物件が大半を占めています。生協の調査による家賃は、月額3万円以下が約2割、4~5万円が約7割近くであり、6万円以上が約1割といった状況です。

なお、学生が主に利用するワンルーム・1K・1DKの比較では、名古屋は東京に比べ4割程度の金額帯となっています。



学生支援本部

学生のみなさんの様々な支援を総合的に行う場所として学生支援本部があります。学生相談センター、キャリアサポートセンター、アビリティ支援センターという3つのセンターからなり、専任相談員が、学生生活、修学、健康維持、就職活動などにおける様々な問題や悩みについて相談に応じ、支援を行っています。



学生支援棟

ジェンダー研究の推進

名古屋大学は、学内保育所及び学童保育所を全国の先頭を切って設置したこと、女性限定の公募枠の設定したこと、女子学生や研究者が研究を続けるための支援、学内外における環境整備への取り組みの積極的な推進などが評価され、HeForSheキャンペーンのパイロット事業「Impact 10x10x10」のもと、女性活躍に先進的な世界の10大学として、名古屋大学が日本から唯一選ばれました。また、平成29年度には男女共同参画室を男女共同参画センターに改組した他、ジェンダー研究関係図書2万冊以上を所蔵する「Gender Research Library(GRL)」が建設されました。



名古屋の町を知ろう

交通アクセス -主要都市の中心に位置する-



名古屋のイベント

- 2月 尾張徳川家のひな祭り
- 3月 名古屋ウィメンズマラソン
- 7月 世界コスプレサミット
..... 大相撲名古屋場所
..... 名古屋港 みなと祭
- 8月下旬 にっぽんど真ん中祭り
- 9月~11月 東山公園秋祭り
- 10月中旬 名古屋まつり

●世界コスプレサミット

世界最大規模のコスプレサミット。審査会を勝ち抜いた精鋭達があつまるチャンピオンシップのほか、パレードや名古屋市長のコスプレなど見ることが出来る。



●にっぽんど真ん中祭り

「どまつり」の名前で親しまれている日本最大級の踊りの祭典。もとは1999年、鳴子踊りを学生が模倣し、踊り始めたことがきっかけで始まりました。今では開催期間にのべ約200万人が来場する一大イベントに成長しています。



産業 -ものづくり産業の集積地-



城下を中心にはじめられたものづくりは、日本産業革命を代表する綿糸紡績業を経て、名古屋圏を自動車産業の一大地域へ発展させた。航空産業も活発であり、ボーイング787の部品の35%を製造している。その関係もあり、中部国際空港にボーイング787初号機を展示する複合商業施設「Flight of Dreams」がオープンし、フライトシミュレーターでボーイング787などの操縦体験ができる。

名古屋圏では、総生産の内、製造業の生産が36%をしめ、全国平均20.8%や東京圏(13%)、関西圏(19.3%)に比べて高く、製造業が名古屋圏経済を牽引している。

※資料:産業の名古屋2016「産業別総生産3大都市圏の産業構造」

名古屋市町案内

日本唯一の環状地下鉄名城線が名古屋大学構内へ乗り入れしている。東山線では金曜日及び休日の前日に、最終電車の時刻を延長し日本一遅い時間まで運行されています。



●名古屋駅

リニア開通前に大型ビル、商業施設が建ち並び、ショッピング等幅広く楽しめます。



●栄

名古屋の中心地であり、百貨店他、オアシス21、テレビ塔、100m道路などでイベントが開催。



●大須

下町の雰囲気を残す商店街。名古屋圏内のサブカルチャーの中心地。食べ歩きも楽しめます。

食文化 -なごやめし-

●味噌かつ



名古屋では定食等で定番のメニュー。しかし、意外と家庭では食べる機会がない。家庭では、つけてみそかけてみそという商品の方が愛用されている。

●味噌煮込み



生麺、インスタントでも売られており、赤味噌ベースの濃厚な味が特徴。普通の鍋でも作ることができるため手軽に食べることができる。

●ひつまぶし



ご馳走に相応しい一品。甘みのあるタレで蒲焼にしたウナギの身を切り分けた上でご飯の上に。薬味やだしを組み合わせることで、色々な食べ方を楽しめる。

●台湾ラーメン



台湾の名称がつけられているが、名古屋が発祥の食べ物。辛さが効いたラーメンでこちらも定食の定番。アメリカン、イタリアンというバリエーションもある。

●手羽先



パリパリとした食感のスパイスの効いた味が特徴。2大店舗がしのぎを削る中、名古屋では色々な店でも食べることができる。

●あんかけスパゲッティ



胡椒辛さたっぷりのあんが太麺のスパゲッティにほどよく絡んでいる。喫茶店でも食べることができバリエーションも多い。派生したなかに甘口のスパゲッティもあり。

名古屋の歴史 -三英傑に代表される城下町-

●名古屋城



名古屋城は、徳川家康が天下統一の最後の布石として築いた城です。金のシャチホコが輝いています。

●三英傑



織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3名。名古屋まつりでは毎年10月にこの3人にちなんで郷土英傑行列が行われている。

●熱田神宮



全国から信仰をあつめ、草薙神剣がご神体。11月の全日本大学駅伝のスタート地点でもある。

名古屋の気候 -温暖な地域-

	2017年熱帯夜日数 (最低気温25度以上)	2017年猛暑日 (最高気温35度以上)
東京	18日	2日
大阪	47日	15日
名古屋	30日	3日

東京、大阪、名古屋同じような気候ですが、夏の熱帯夜日は大阪に比べ少なく、猛暑日は二割程度。なお、日照時間は、東京と比べ年間で1割増しであり、大阪と比べると冬は2割増しであり、冬は気温以上に過ごしやすく感じます。

受験生のための名古屋大学発見サイト
Nagoya University Cheers!

在学生在が取材し作成した記事を掲載する、学生による学生のための名古屋大学情報サイトです。受験生のみならず名古屋大学の魅力を知って、より身近に感じていただくために、在学生の生の声を集めています。



年間行事 キャンパスを彩る様々な年間行事



入学式



名古屋大学・大阪大学対抗競技大会



東海地区国立大学体育大会



全国七大学総合体育大会



名大祭



卒業式

春学期 04 05 06 07 08 09 秋学期 10 11 12 01 02 03

- 春学期開始(4月1日)
- 入学式(4月5日)
- 名古屋大学記念日(5月1日)
- 名古屋大学・大阪大学対抗競技大会(5月下旬~6月下旬)
- 東海地区国立大学体育大会(5月~7月)
- 名大祭(6月)
- 全国七大学総合体育大会(7月上旬~9月中旬)
- 夏季休業(8月8日~9月30日)
- 秋学期開始(10月1日)
- 冬季休業(12月28日~1月7日)
- 卒業式(3月25日)
- 学年終了(3月31日)
- 名古屋大学入学試験
前期日程(2月25日・26日・27日(27日は医学部医学科のみ))
後期日程(3月12日(医学部医学科のみ))

サークル活動

体育系公認クラブ(53団体)

- | | | | | | |
|--------------|---------|-----------|-------------|------------|------------|
| アーチェリー部 | 剣道部 | 準硬式野球部 | 体操部 | 男子バレーボール部 | ヨット部 |
| 合気道部 | 航空部 | 少林寺拳法部 | 卓球部 | 女子バレーボール部 | ライフル射撃部 |
| アイスホッケー部 | 硬式庭球部 | 水泳部 | トライアスロン部 | ハンドボール部 | ラグビー部 |
| アメリカンフットボール部 | 硬式野球部 | スキー部 | 軟式野球部 | フィギュアスケート部 | 男子ラクロス部 |
| 居合道部 | ゴルフ部 | 相撲部 | 日本拳法部 | フォーミュラチーム | 女子ラクロス部 |
| 応援団 | サイクリング部 | ボート部 | 馬術部 | FEM | 陸上競技部 |
| オリエンテーリング部 | サッカー部 | ソフトテニス部 | 男子バスケットボール部 | フライングディスク部 | 陸上ホッケー部 |
| 空手道部 | 自動車部 | 男子ソフトボール部 | 女子バスケットボール部 | 舞踏研究会 | 和式馬術部 |
| 弓道部 | 柔道部 | 女子ソフトボール部 | バドミントン部 | ボクシング部 | ワンダーフォーゲル部 |

文化系公認サークル(62団体)

- | | | | |
|----------------------|-------------------------------|----------------------|---------------------------|
| アカペラサークル JP-act | 軽音楽部 Edel Rôte Jazz Orchester | 将棋部 | フリーペーパー「粋」iki |
| アマチュア無線研究会 | 軽音学部 Fusion Section | 新聞社 | ブルーグラスサークル |
| E.S.S | 芸音学部 | 人力飛行機製作サークル Aircraft | 文芸サークル |
| 医学部混声合唱団 | 劇団新生 | 水彩部 | 放送文化研究会 |
| 囲碁部 | 交響楽団 | 吹奏楽団 | 漫画研究会 |
| 裏千家茶道部 | 古楽研究会 | 聖書研究会 | 民族舞踊団 音舞 |
| 映画研究会 | 混声合唱団 | 生物研究会 | よさこいサークル常磐 |
| SF・ミステリ・幻想小説研究会 | 混声合唱団 コール・グランツェ | 哲学同好会 | ラグドントバーン |
| 名古屋大学「快踊乱舞」 | 作曲サークル Anti-Aging Record | 鉄道研究会 | 落語研究会 |
| 化石・鉱物同好会 (NUFM) | 茶道部(松尾流) | 天体研究会 | 宇宙開発チームNAFT |
| かるたサークル | 児童福祉研究会 | ピアノ同好会 | アコースティックギター同好会 |
| 環境サークル Song of Earth | 児童文化研究会 ほーきぼし | 美術部 | 筆曲部 |
| 観世会 | 社会科学研究会 | 評論社 | 書道サークル「和」 |
| 奇術研究会 | 写真部 | フォークソング同好会 | Nagoya Univ. Chess Circle |
| ギターマンドリンクラブ | ジャズ研究会 | folklore同好会 | N3ON(ネオン) |
| クイズ研究会 | Shana Club | | |



アメリカンフットボール部

アメリカンフットボール部は、部員の多くが未経験者の中、東海一リーグ常連校であり、2017年度には東海一リーグ優勝、全日本大学選手権出場を果たしました。アメフトは、全米人気No. 1のスポーツであり、ボールを進めて陣地を奪得していく「陣取り合戦」です。ぶつかり合うだけの危険なスポーツだと思われがちですが、ぶつかり合う中にも、緻密な戦略や駆け引き、意図が含まれ、練りに練られた戦術のもと、一人一人に役割が決まっています。緻密な駆け引きに勝つためには、敵のチームを分析する「スカウティング」が重要となり、明晰な頭脳を活かすことができます。こうした理由からアメフトは「頭半分半分」のスポーツと言われる、名古屋大学ならではの強みを発揮しています。



フォーミュラチームFEM

フォーミュラチームFEMは全日本学生フォーミュラ大会で総合優勝することを目的として活動している部活です。カートよりも本格的なレーシングカーを自分たちの手で設計し、製作して走行させています。私たちのチームは2014年にガソリンエンジン車で初優勝を果たし、2017年から電気自動車にシフトしてEVクラス2連覇を成し遂げ、総合でも3位に食い込みました。この大会の特徴として車両を走らせる競技だけでなく、設計やコスト、車両プレゼンを審査する車両を走らせない競技もあり、ものづくりの総合力を身に付けることができます。また100社を超える企業に協力してもらっているため実務も多く、この活動でしか経験できない貴重な体験ができます。



弓道部

弓道部は現在60人で活動しています。男子はII部リーグ、女子はI部リーグに所属しており、リーグ優勝を目標に日々練習中です。練習中は全員が集中して弓道に取り組み、厳しい雰囲気があります。ですが夏には5泊6日の合宿、冬には仮装して弓を引くクリスマス射会などのイベントもあり、楽しめるのは全力で楽しむのがこの部の特徴です。また、いつでも道場が使えるため空きコマなど自分の好きな時間に弓を引くことができます。大学から弓道を始める人も多く、選手として活躍する人もいます。弓道は日本古来の伝統文化であると同時に、年齢に関係なく一生続けられるスポーツでもあります。あなたも大学生活を弓道部の一員として過ごしてみませんか？



フライングディスク部

フライングディスク部BLOOMSは、アルティメットという競技を行っています。アルティメットとは、ディスク(フリスビー)を使って行う外競技です。各7人の2チームが攻守に分かれ、攻め側はディスクをパスしながらゴールを目指し、守る側はディフェンスをして相手にゴールするのを防ぎます。コートの上側にゴールエリアがあり、その中でキャッチすると得点が入ります。月に1回ほど大会があり、夏の全国大会出場を目指して練習しています。2019年には男子は夏の全国大会、女子は冬のU21の全国大会に出場しました。部員みんな仲が良く、練習がないときでもご飯に行ったり旅行したり、とてもにぎやかで楽しい部活です。私たちと一緒に新しいスポーツを始めてみませんか？



硬式野球部

硬式野球部は全国でも最も大きな野球連盟である、愛知大学野球連盟の2部Aリーグに所属しています。この連盟は3部27大学からなり、プロ野球選手が時々輩出されるなど、非常にハイレベルなリーグとなっています。毎年、春、秋の2シーズンを戦います。2019年秋まで3部リーグに所属していましたが、その秋に2部に昇格しました。そのため現在、チームでは2部上位の強豪と十分に戦い、2部で優勝し1部に昇格することを目標として、一丸となって日々練習を行っています。学生のうちに真剣に何か打ち込むことができるのも大学が最後です。野球が好き、何かに本気で打ち込みたいという選手・マネージャーは初心者でも大歓迎です。一緒に野球をやりましょう！



奇術研究会

ようこそ！奇術の世界へ！！皆さんもテレビなどでマジックを見たことがあるのではないのでしょうか？トランプを使ったマジック、コインマジック、あるいはステージ上でハトを出したり、そういった不思議な手品を、自分も演じてみたいと思いませんか？マジックって難しそう、器用な人じゃないとできない、なんて思っている人もいるかもしれませんが、心配いりません。毎年、新入部員のほとんどは大学からマジックを始めています！サークルではマジックを習うほか、夏の合宿、他大学との交流会など楽しいイベントもたくさんあります！手品に興味のある人、どのサークルに入ろうか迷っている人、手品マニアの人、新しい趣味が欲しい人、これを読んでしまった人、お待ちしています！！



人力飛行機製作サークルAircraft

Aircraftは、人力飛行機の性能を競う人間コンテストに出場して優勝するために活動しています。私たちの人力飛行機は、最先端の航空機に使われている素材を用いて作られています。動力伝達部品にはジュラルミン、機体のフレームには炭素繊維強化プラスチックを用いています。設計にはコンピュータを使用し、CADソフトやプログラミングによって、極限の性能を追求しています。より軽く、より性能の高い機体を作るために日々仲間とともに研究しています。そして、人力飛行機の製作を通して専門的な技術を身につけて、ものづくりの達成感を味わうことができ、将来大きな財産となる経験を得られます。



名古屋大学「快踊乱舞」

私たち名古屋大学「快踊乱舞」は、毎年夏に開かれるにっぽん真ん中祭りの大賞を目指し、日々練習に励んでいるよさこいサークルです。名古屋だけでなく、東海三県の様々なお祭りに出場させていただいています。にっぽん真ん中祭りと、愛知県内様々な会場で開催され、出場チーム数210、観客動員数220万人を超える大規模なお祭りです。快踊乱舞も1チームとして出演させていただいています。昨年度はセミファイナル、今年度は12チームのみが出演を許されるファイナル進出を果たしました。一年生から三年生の総勢130人で創り上げる演舞は活気と情熱溢れる素晴らしいものです。今後もこれまでの先輩方の思いを胸に、さらなる高みを目指して精一杯活動していきます！



名古屋大学交響楽団

当楽団は名古屋大学を中心にその近隣の大学の学生からなり、約130人で活動しています。毎年春と冬の定期演奏会と、夏に4日間わたって東海・北陸地方の小中学校を訪問し直接オーケストラを届ける音楽教室を行っています。定期演奏会は100回を超え、先輩方が重ねた歴史の重みを痛感するとともに、それを引き継ぎさらなる向上を目指して日夜練習に励んでいます。各パートに個性豊かな団員が揃っており、楽器を演奏するのが好きな人、皆と合わせるのが好きな人、初心者、経験者、様々な人が「良い音楽をつくる」という共通の目標を持っています。大人数で演奏を作り上げるという経験はかけがえのないものです。少しでも興味を持ってくださったそのあなた、私達と一緒に音楽をしてみませんか？

名古屋大学 CAFE 情報

1 CAFE BLANC
CAFE BLANC
ドリンクの他に、パンやサンドウィッチが充実しています。



2 プランツ
Pranzo
焼きたてパンやコーヒー、デザート類が充実。




3 スターバックス
Starbucks Coffee
コーヒーから軽食、充実のカフェメニューが揃っています。



4 IBカフェ
IB Café
コーヒー、ジュース、軽食ほか、パフェやクレープなどスイーツも提供。



5 シアトルエスプレスカフェ
Seattle Espresso Cafe
コーヒーほか、ピザ、パニーニ、ドルチェが堪能できる。



6 カフェフロンテ
Café Fronte
無線LANの整備、オリジナルメニューほか、本購入で割引あり。



7 クレイグスカフェ
Craig's Cafe
コーヒー豆専門店の直営カフェ。広めのソファでくつろげます。



8 Cafe de MON CIRFE
Cafe de MON CIRFE
ランチタイムは100均の新しいカフェです。



学生募集要項

1 選抜要項及び募集要項の配布時期（※配布時期は変更になる可能性があります。）

- 7月中旬から配布……………入学者選抜要項
- 7月中旬からダウンロード……大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜学生募集要項(文学部)
- 9月中旬から配布……………私費外国人留学生募集要項
- 11月下旬からダウンロード……一般選抜、学校推薦型選抜学生募集要項
前期日程:全学部
後期日程:医学部医学科
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜:教育学部、法学部、経済学部、情報学部、理学部、医学部、工学部、農学部

名古屋大学ホームページ(<http://www.nagoya-u.ac.jp/>) → 入学案内 → 学部募集要項/大学案内など →
→ 大学案内・選抜要項・募集要項・インターネット出願 からダウンロードしてください。

なお、インターネット出願のため、一般選抜学生募集要項及び学校推薦型選抜学生募集要項について冊子体での配布は行いません。

- 9月上旬からダウンロード……国際プログラム群学部学生募集要項
名古屋大学国際プログラム群のホームページ(<http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp/>)からダウンロードしてください。

2 選抜要項、募集要項及び大学案内並びに学部紹介冊子の請求方法

●モバっちよから請求（日本国内のみ）




携帯電話、スマートフォン、パソコンから請求できます。
<https://djc-mb.jp/nagoya-u2/>

●私費外国人留学生募集要項を日本国外から請求（日本国外への送付を希望する場合）

以下の2点を入試課あてに送付してください。

- 1.送付先(郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレス)と、必要部数を明記した用紙(住所・氏名はアルファベット表記で正確に記載してください)
- 2.募集要項冊子(1部約250グラム)の郵送に必要な料金分の国際返信切手券
※上記は日本郵便を利用する場合ですが、その他のサービス(FedEx、DHLなど)を利用する場合は事前に入試課にメールで連絡の上、ご自身で集荷・支払いの手続きをお願いします。

日本国外からの郵送による申込先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 D4-4 (100) 名古屋大学 教育推進部 入試課
TEL : 052-789-5765 E-mail : nyuusi@adm.nagoya-u.ac.jp

東山キャンパス HIGASHIYAMA CAMPUS

野依記念学術交流館

野依良治特別教授のノーベル賞受賞を記念して、2003年に建設。国際会議等を開催できるカンファレンスホールや宿泊施設などを備えている。設計は飯田善彦氏。



豊田講堂

1960年トヨタ自動車工業株式会社から寄贈。設計は隈文彦氏で、日本におけるDOCOMOMO100選に選定(2003年)、登録有形文化財に登録(2011年)された。



総合案内所
TEL 052-789-5111

赤崎記念研究館

2006年青色LEDを開発した赤崎勇特別教授の研究業績を顕彰するために建設された研究館。1階のギャラリーでは同特別教授の業績を紹介。平日10-16時オープン

総合案内・公開施設等

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| C4.0 総合案内所 | D4.2 広報プラザ |
| D4.1 博物館(古川記念館) | B5.2 博物館外観展望園 |
| B3.2 附属図書館(中央図書館) | C2.6 2008ノーベル賞展示室(ES総合館) |
| B2.0 赤崎記念研究館 | D2.10 ケミストリーギャラリー(豊依記念物質科学研究館) |
| C2.0 減災館 | C4.0 ジェンダー・リサーチ・ライブラリ |

コンベンション施設

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| D3.0 豊田講堂・シンポジオン | E3.1 野依記念学術交流館 |
| B4.4 カンファレンスホール(文系総合館) | D4.3 キタンホール(法・経本館共用館) |
| D2.7 坂田・平田ホール(理学南館) | C2.4 ESホール(ES総合館) |
| C1.1 大講義室(18電子情報館) | C5.0 アジアコミュニティフォーラム(アジア交流館) |
| C2.7 オークマホール(オークマ工作機械工学館) | |

本部事務局

- | | |
|-------------------------------|------------|
| D3.7 本部1号館 | D4.0 本部2号館 |
| E4.0 本部3号館 | D4.6 本部4号館 |
| C4.1 国際開発棟 | D3.0 学生支援棟 |
| C2.0 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC) | |

部局事務部

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| B4.4 文系事務部(文系総合館) | B4.1 情報学部・情報科学研究科事務部(全学教育棟本館) |
| D2.10 理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務部(理学南館) | C2.4 工学部・工学研究科事務部(理学南館) |
| C1.1 工学部・工学研究科事務部(18電子情報館) | E2.1 農学部・生命農学研究科事務部(農学部管理棟) |
| D2.2 環境学研究科事務部(環境総合館) | F3.7 国際学連携・国際学連携センター事務部(国際学連携センター) |
| F3.0 研究所事務部(研究所共同館1) | B3.2 附属図書館事務部(中央図書館) |

文学部・人文学研究科・文学研究科・国際言語文化研究科

- | | |
|--------------|-------------|
| B4.3 文学部本館 | A4.2 人文学共用館 |
| B4.1 全学教育棟本館 | B4.4 文系総合館 |
| C4.1 国際開発棟 | |

教育学部・教育発達科学研究科

- | | |
|-------------|---------------------|
| B4.5 教育学部本館 | A2.1 教育学部附属中学校・高等学校 |
|-------------|---------------------|

法学部・法学研究科

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| C4.4 法学部・法学研究科(法・経本館共用館) | B5.5 法科大学院(アメニティハウス) |
| C5.0 アジア法交流館 | |

経済学部・経済学研究科

- | |
|----------------------------|
| C4.2 経済学部・経済学研究科(法・経本館共用館) |
|----------------------------|

情報学部・情報科学研究科・情報化学学部・情報科学研究科

- | | |
|-------------------------------|--------------|
| A4.3 情報学研究科棟 | B4.1 全学教育棟本館 |
| C1.1 18電子情報館 | D3.0 理学部5館 |
| C2.0 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC) | |

理学部・理学研究科

- | | |
|----------|-------------|
| D3.2 A館 | D3.0 B館 |
| D2.1 C館 | D2.0 D館 |
| D2.6 E館 | D2.6 F館 |
| D2.0 G館 | C3.0 理学部共用館 |
| D2.0 理農館 | D2.7 理学南館 |
| D2.0 理学館 | D3.1 極低温実験室 |

工学部・工学研究科

- | | |
|------------------|------------------------|
| C2.4 ES総合館 | C3.1 18電子情報館 |
| B5.5 1号館 | B3.3 2号館 |
| B5.1 3号館 | C2.3 5号館 |
| F2.1 6号館 | C2.1 7号館A棟 |
| C1.0 8号館北棟 | C1.4 8号館南棟 |
| C1.2 9号館 | B2.2 航空・機械実験棟 |
| B2.7 機械科学実験棟 | C3.1 創造工学センター(18電子情報館) |
| C2.7 オークマ工作機械工学館 | |

農学部・生命農学研究科

- | | |
|----------|----------|
| E1.1 A館 | E2.5 B館 |
| E2.4 講義棟 | E2.1 管理棟 |
| D2.6 理農館 | |

国際開発研究科

- | |
|------------|
| C4.1 国際開発棟 |
|------------|

多元数理科学研究科

- | |
|--------------|
| C4.0 多元数理科学棟 |
|--------------|

環境学研究科

- | | |
|------------|--------------|
| D2.2 環境総合館 | B4.1 全学教育棟本館 |
| C2.4 ES総合館 | D2.6 理学部E館 |
| F4.0 環境共用館 | |

創薬科学研究科

- | | |
|--------------|-------------|
| F3.0 創薬科学研究館 | F2.1 工学部6号館 |
|--------------|-------------|

教養教育院

- | | |
|--------------|--------------|
| B4.1 全学教育棟本館 | A4.1 全学教育棟A館 |
|--------------|--------------|

アジアサテライトキャンパス学院

- | |
|------------|
| E4.0 本部3号館 |
|------------|

高等研究院

- | |
|--------------|
| F3.2 高等総合研究館 |
|--------------|

トランスフォーマティブ生命分子研究所

- | |
|-----------|
| D2.1 ITbM |
|-----------|

総合保健体育科学センター

- | | |
|-------------------|------------|
| E5.1 総合保健体育科学センター | C3.3 保健管理室 |
|-------------------|------------|

未来社会創造機構

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| C2.0 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC) | F3.4 グリーンビークル材料研究施設 |
|-------------------------------|---------------------|

アジア共創教育研究機構

- | |
|---------------|
| C4.3 法・経本館共用館 |
|---------------|

素粒子宇宙起源研究所

- | |
|------------|
| C2.4 ES総合館 |
|------------|

附置研究所・全国共同利用施設

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| E3.2 環境医学研究所 | F3.0 宇宙地球環境研究所(研究所共同館1) |
| F3.0 宇宙地球環境研究所(研究所共同館2) | D4.1 宇宙地球環境研究所(古川記念館) |
| F3.0 未来材料・システム研究所(研究所共同館2) | C1.1 未来材料・システム研究所(先端技術共同研究施設) |
| D1.1 // (超高压電子顕微鏡施設) | F3.0 // (総合研究実験棟) |
| F3.0 // (エネルギー変換エレクトロニクス実験施設) | F3.0 // (エネルギー変換エレクトロニクス研究棟) |
| C3.2 情報基盤センター | |

学内共同教育研究施設等

その他教育研究施設

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| D1.2 大学図書資料室(本部別館) | D1.2 男女共同参画センター(本部別館) |
| A4.1 情報メディア教育システムセンターラボ(全学教育棟) | B4.1 アビリティ支援センター(全学教育棟本館) |
| B4.4 高等教育研究センター(文系総合館) | B4.5 心の発達支援研究実践センター(教育学部本館) |
| D2.4 遺伝子実験施設(理学部E館) | C1.4 シンクロトロン光研究センター(工学部6号館南棟) |
| C1.1 国際教育センターアドバンス部門(18電子情報館) | F2.1 細胞生理学研究センター(工学部6号館) |
| E1.1 農学国際教育研究センター(農学部A館) | B2.1 高効率エネルギー変換研究施設 |
| B2.0 赤崎記念研究センター(赤崎記念研究館) | C1.0 全学支援センター(学生支援棟) |
| C2.0 災害対策室(減災館) | C2.0 減災連携研究センター(減災館) |
| C2.0 学術研究・産学官連携推進本部(NIC) | C2.0 予防早期医療創成センター(NIC) |
| C5.0 国際教育交流センター(国際棟) | C5.0 国際言語センター(国際棟) |
| C5.0 法政国際教育協力センター(アジア法交流館) | D2.0 物質科学国際研究センター(豊依記念物質科学研究館) |
| D3.0 学生相談センター(学生支援棟) | C3.0 キャリアサポートセンター(学生支援棟) |
| E2.2 生物機能開発利用研究センター | E2.0 アイソトープ総合センター |
| E3.4 ナショナルコンポジットセンター | |

産学官連携関連施設

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| B2.0 インキューベーション施設 | B2.4 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー |
| F3.4 グリーンビークル材料研究施設 | C2.0 ナショナルイノベーションコンプレックス(NIC) |

スポーツ関連施設

- | | |
|----------------|---------------|
| B5.1 体育館・屋内プール | E5.2 新体育館 |
| F4.1 体育倉庫 | B5.1 総合運動場複合棟 |

食堂・売店等

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| B3.2 スターバックス(中央図書館) | D3.6 エコパルク(豊田講堂・シンポジオン) |
| B4.1 プランツ(全学教育棟本館) | B4.1 reg reg(全学教育棟本館) |
| D2.9 クレイグスカフェ(理学部E館) | C1.1 18カフェ(18電子情報館) |
| C2.4 シェジョー(ES総合館) | C2.0 シアトルエスプレッソカフェ(NIC) |
| F3.7 ラボショップ(創薬科学研究館) | B2.8 北部厚生会館 |
| B4.2 C1.1 ファミリーマート | B5.3 南部食堂 |
| B5.4 南部厚生会館 | B5.5 アメニティハウス |
| D1.3 フォレスト | D1.4 グリーンサロン東山 |
| C4.0 CAFE BLANK(ジェンダー・リサーチ・ライブラリ) | F3.0 Cafe de MON CIRFE(C-TECS) |

その他

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| C3.0 保健管理室 | B1.1 学生会館 |
| C5.2 名大八雲会館 | E4.2 インターナショナルレジデンス東山 |
| F2.2 リサーチーズ・ビレッジ東山 | |

鶴舞キャンパス TSURUMAI CAMPUS 医学部 医学科



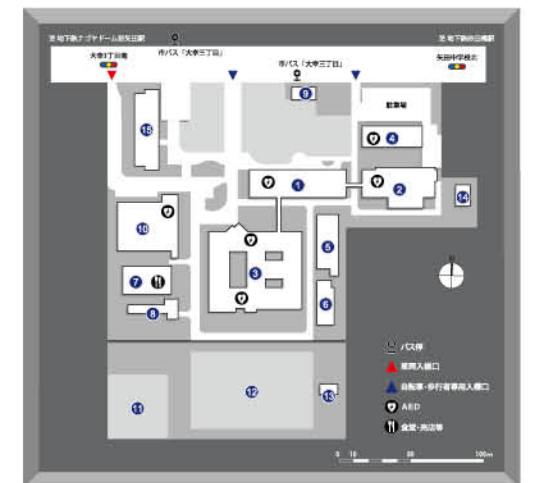
医学部・医学系研究科

- | |
|--------------------------|
| A 医系研究棟1号館 |
| B 医系研究棟2号館 |
| C 医系研究棟3号館 |
| D 基礎研究棟(講義棟) |
| E 基礎研究棟別館 |
| F 附属医学教育研究支援センター(実験動物部門) |
| G 附属図書館・学生食堂 |
| H 福利施設 |
| I 職員会館 |

医学部附属病院

- | |
|------------------|
| ● 外来棟 |
| ● 中央診療棟A |
| ● 中央診療棟B |
| ● 病棟 |
| ● 看護師宿舎A棟 |
| ● 看護師宿舎B棟 |
| ● オアシスキューブ(福利施設) |
- ※ ドナルド・マクドナルド・ハウスなど

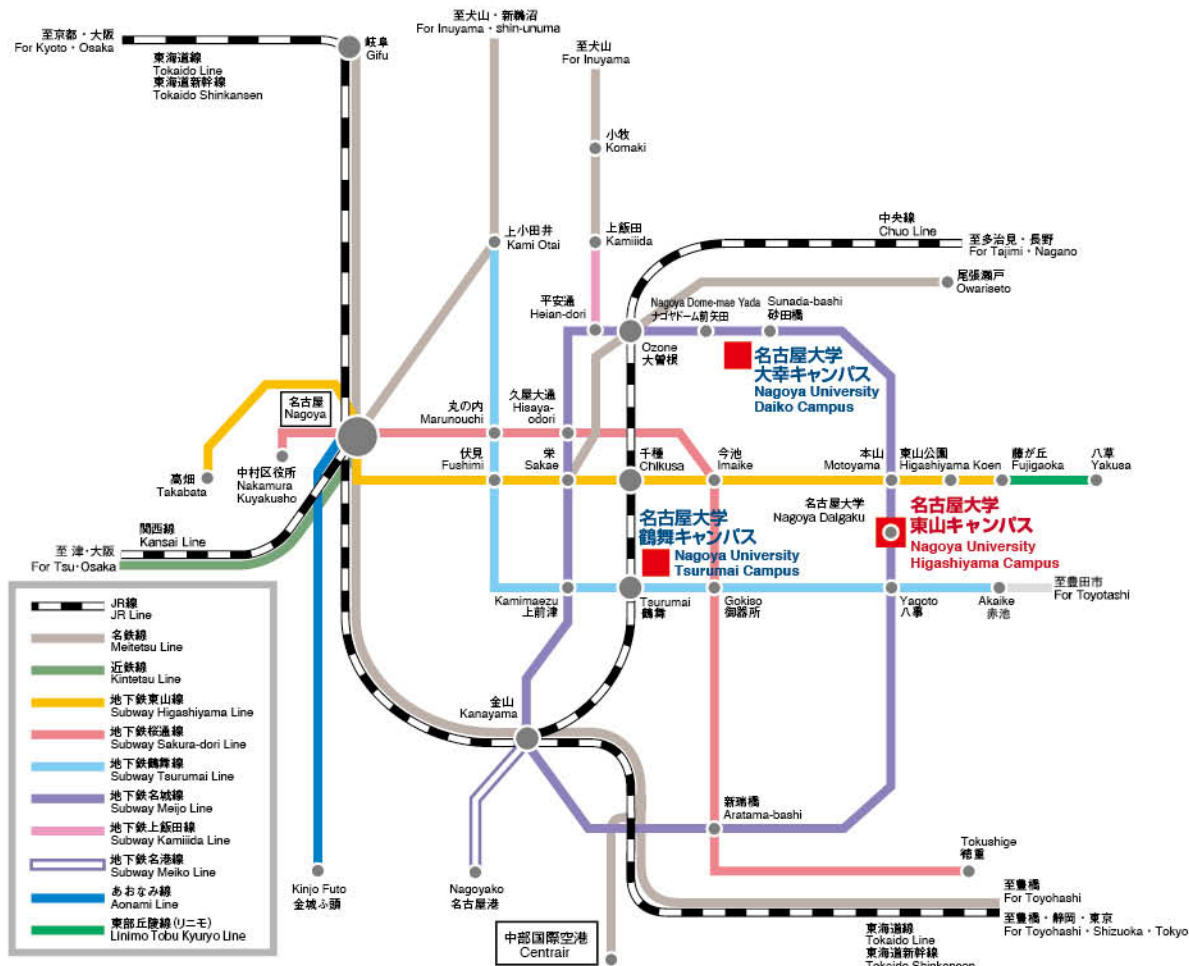
大幸キャンパス DAIKO CAMPUS 医学部 保健学科



施設名称

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 医学部保健学科本館 | 9 業務支援室・車庫 |
| 2 医学部保健学科東館 | 10 体育館 |
| 3 医学部保健学科南館 | 11 硬式庭球場 |
| 4 医学部保健学科別館 | 12 運動場 |
| 5 エネルギーセンター | 13 弓道場 |
| 6 研究棟 | 14 大幸ガラス温室 |
| 7 厚生会館 | 15 インターナショナルレジデンス大幸 |
| 8 リサーチーズビレッジ大幸 | |

ACCESS



東山キャンパス

地下鉄名城線「名古屋大学駅」下車すぐ

鶴舞キャンパス

JR中央線「鶴舞駅」下車 徒歩3分
地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車 徒歩5分

大幸キャンパス

地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車 徒歩5分

東山キャンパス

- 名古屋駅からは、地下鉄東山線(藤が丘行き)に乗りし、「本山」駅で地下鉄名城線(右回り)に乗り換え、「名古屋大学」駅下車すぐ(所要時間 約20分)
- 中部国際空港からは、名鉄空港線に乗りし、「金山」駅で地下鉄名城線(左回り)に乗り換え、「名古屋大学」駅下車すぐ(所要時間 約1時間)



名古屋大学ホームページ(携帯サイト)
<https://daigaku.jc.nagoya-u/>



名大動画サイト「受験生のための学部紹介」
<https://ocw.nagoya-u.jp/teens/>



名古屋大学案内 GUIDE TO NAGOYA UNIVERSITY 2022
http://www.nagoya-u.ac.jp/admission/upload_images/guideto_2022.pdf